



ユーザーズガイド

三菱カーナビゲーションシステム

NR-MZ007 NR-MZ077

はじめに	●
基本操作	●
ナビゲーション基本操作	●
検索	●
ルート	●
登録・編集	●
設定	●
調整・補正	●
情報	●
オーディオ基本操作	●
放送受信	●
音楽ディスク	●
映像ディスク	●
メモリーメディア	●
iPodを使う	●
Bluetooth Audioを使う	●
AUXを使う	●
音質の設定・調整	●
その他の機能	●
その他の機器	●
困ったときは	●
付録	●

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意(警告を含む)しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止(やってはいけないこと)の内容です。		

HN-002-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付け
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。



強制

説明書に従って接続・取り付けする説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



禁止

分歧配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法



警告



禁止

注意

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けけない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコー
ドや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに
従って走行すると、実際の交通規制に反する
場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見ると
きは、必ず停車してパーキングブ
レーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示
されません。

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火
災や故障の原因となります。



注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることが
あります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因
となることがあります。



指のケガに

注意

モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う



警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手
の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表
示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれいな
水で洗ったあと、ただちに医師にご相談く
ださい。



注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加
熱をしたり、火や水の中に入れて
ない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因
となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることが
あります。

指定以外の電池の使用や、新しい電
池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店がサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

はじめに

本書の見かた.....	13
本書の表記のしかた.....	13

基本操作

基本操作.....	14
-----------	----

タッチパネルで操作する.....	14
ボタンで操作する.....	14
画面の切り換えかた.....	14
AV画面への割り込みを設定する.....	14
画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)...	14
リスト画面の操作.....	15
基本的なリストの操作.....	15
50音タブの操作.....	15
チェックリストの操作.....	15
インジケーター付きリストの操作.....	15
ポップアップメニューの操作.....	15
サイドマップリストの操作.....	16
並べ替えの操作.....	16

メニューの操作.....	17
--------------	----

セントラルメニューの操作.....	17
NAVIメニュー.....	17
AVメニュー.....	17
ビューメニュー.....	18
情報メニュー.....	18
設定・編集メニュー.....	19
携帯電話メニュー.....	19
ルートメニュー.....	19
ショートカットメニューの操作.....	19

文字の入力操作.....	20
--------------	----

入力パレットを切り換える.....	20
文字の入力操作の流れ.....	20
文字の種類を切り換える.....	20
文字を入力する.....	21
予測変換、漢字変換を行う.....	22
文字入力を終了する.....	23
かな漢字変換できる記号.....	23
学術記号.....	23
ギリシア文字.....	23
括弧.....	23
記号・マーク.....	23
単位.....	23
点.....	24
矢印.....	24
その他.....	24

ナビゲーション基本操作

地図画面の操作.....	25
--------------	----

現在地画面を表示する.....	25
画面下部に表示される情報.....	25
現在地画面の見かた.....	26
地図の設定をする.....	27
地図色切換を設定する.....	27
走行軌跡表示を設定する.....	27
地図を動かす.....	28
アクティブインフォについて.....	28
スクロール画面の見かた.....	29
スクロール時のビューモードを設定する.....	29
地図のスケールを変える.....	29
地図の表示方法を変える.....	30
地図の表示方法の設定をする.....	30
ツインビュー左画面アングルを設定する.....	30
ハイウェイサイドマップを設定する.....	31
ハイウェイモードサイドマップアングルを設定する.....	31
ドライバースビューサイドマップアングルを設定する.....	31
AVサイドビューアングルを設定する.....	32
シティマップを設定する.....	32
スカイシティマップを設定する.....	32
シティマップ境界表示を設定する.....	33
オートアングルチェンジを設定する.....	33
ターゲットマップを設定する.....	33
地図の向きを変える.....	34
100 mスケールで一方通行マークを表示する.....	34
ロゴマークを選んで地図上に表示する.....	34
ロゴマーク表示スケールを設定する.....	35
地図スケールを登録する.....	35
サイドマップについて.....	36
ハイウェイモード.....	36
リスト画面.....	36
候補表示画面.....	36
情報画面.....	36
一時停止マークを表示する.....	37
冠水注意地点を表示する.....	37
走行速度制限エリア(ゾーン30)を表示する.....	38

走行中の地図画面.....	39
---------------	----

走行中の音声案内.....	39
有料道注意地点・県境案内を設定する.....	39
踏切案内を設定する.....	39
右左折専用レーン案内を設定する.....	40
リフレッシュ案内を設定する.....	40
ライト点灯案内を設定する.....	40
駐車場に入ると.....	41
交差点に近づくとき.....	41

方面案内表示を設定する	41
有料道を走行すると	41
オートハイウェイモードを設定する	41
ボトルネック踏切表示	42
ボトルネック踏切マーク表示を設定する	42
情報ウィンドウの設定	42
エコステータスについて	43
ハイウェイモード	44
ハイウェイモードの現在地画面の見かた	44
出口情報を表示する	45
先の施設情報を見る	45
分岐施設の分岐先の情報を見るには	45
サービスエリアやパーキングエリアで	
表示される情報	46
施設のイラストを表示する	46
VICS情報表示について	46

検索

場所を探す	47
地図で探す	47
名称で探す	47
ジャンルやエリアで絞り込むときは	48
住所で探す	48
電話番号で探す	49
ジャンルで探す	49
検索できるジャンル	49
周辺施設を探す	51
周辺検索により表示されたロゴマークを消す	52
登録地・検索履歴から探す	52
目的地ランキングから探す	53
詳細情報を見る	54
詳細情報を表示する	54
マップクリップ(2次元バーコード)	55
マップクリップに変換する	55

ルート

ルート探索と案内	56
ルート案内のはじめかた	56
案内開始画面の見かた	57
ルート案内中の現在地画面	58
一般道の案内画面の見かた	59
有料道の案内画面の見かた	60
サイレントガイドについて	60
ルート案内中の機能について	60
ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する	60
進行方向の案内	61
都市高速道路の入口に近づく	61
有料道の分岐に近づく	61
ETCレーン案内表示について	62
ETCレーン案内表示を設定する	62
有料道の出口や料金所を通過すると	62

ルート案内の中止	63
ルートを消去して案内を中止させる	63
ルート探索条件の設定	64
ルート探索の基準を設定する	64
有料道の考慮方法を設定する	64
フェリー航路の考慮方法を設定する	65
学習したルートの考慮方法を設定する	65
渋滞の考慮方法を設定する	65
時間規制の考慮方法を設定する	66
スマートICの考慮方法を設定する	66

ルート案内時の設定	67
到着予想時刻表示を設定する	67
到着予想時刻の算出車速(一般道)を設定する	67
到着予想時刻の算出車速(有料道)を設定する	68
案内地に近づく	68
交差点案内時の表示ビューを設定する	68
オートフリーズームを設定する	69
エコ運転評価案内を設定する	69
料金案内を設定する	70
信号機ジャスト案内を設定する	70
一般道シンプルガイドを設定する	70
オートサイレントガイドを設定する	71
サイレントガイドアングルを設定する	71
ルートアドバイザーを設定する	72
ルートアドバイザー自動決定ルートを設定する	72
リクエスト案内を設定する	73
オートパーキングメモリー(駐車場履歴)について	73
右左折考慮オートパーキングメモリーについて	74
左折のみで進入したことがある施設を目的地にした場合	74
右折のみまたは右左折の両方で進入したことがある施設の場合	74
オートパーキングメモリーを設定する	74

ルート情報	75
ルートスクロールを使う	75
ルートプロフィールを使う	75
デモ走行を使う	76
デモ走行を終了する	76
ルート地図を使う	76
6ルート地図を使う	77
6ルートリストを使う	78

ルート編集	79
案内中のルートに別の探索条件を設定する	79
案内中のルートとは別のルートを探索する	79
ルートに立寄地を追加する	80
立寄地の順番を並べ替える	80

立寄地を削除する.....	81
目的地や立寄地、出発地の情報を確認する.....	81
立寄地の滞在時間を設定する.....	82
出発地を指定する.....	82
日時を指定する.....	83
乗降IC(インターチェンジ)を指定する... ..	84
乗降IC指定を解除する.....	85
立寄地をキャンセルする.....	85
ドライブプラン.....	86
ドライブプランの作成について.....	86
ドライブプランとして登録できる条件.....	86
ドライブプランを実行する.....	86
ドライブプラン指定時刻になると.....	87
ドライブプランを確認する.....	87
ドライブプランを編集する.....	87
ドライブプランを消去する.....	88

登録・編集

場所(地点)の登録.....	89
自宅を登録する.....	89
場所を登録する.....	89
登録した場所の編集.....	90
登録した場所の名称を変更する.....	90
登録した場所のヨミを編集する.....	90
登録した場所の電話番号を設定する.....	91
登録した場所の2Dマークを設定する....	92
登録地マーク簡易表示を設定する.....	92
登録した場所の名称を地図上に表示させる.....	93
登録した場所の3Dマークを設定する....	93
登録した場所の効果音を設定する.....	94
登録した場所に方向指定を設定する....	95
登録した場所のグループを編集する.....	96
登録した場所のグループ名を編集する... ..	97
登録した場所の位置を修正する.....	97
登録した場所を個別に消去する.....	98
登録した場所をまとめて消去する.....	99

オートパーキングメモリー(駐車場履歴)の編集.....	100
入口を指定する.....	100
駐車場データを消去する.....	101

その他のデータ編集.....	102
目的地ランキングを消去する.....	102
検索履歴を消去する.....	102
文字入力履歴を消去する.....	103
オートルート履歴を消去する.....	103
ルートの学習内容を消去する.....	103
走行軌跡を消去する.....	104
走行軌跡自動消去を設定する.....	104

設定

簡単セットアップ.....	105
簡単セットアップを行う.....	105
簡単セットアップを開始する.....	105
音量の調整.....	106
自宅の設定.....	106
燃費推定/車両情報の設定.....	106
リモコンの設定.....	107
ETC/ETC2.0取付状態の設定.....	107
Bluetooth接続設定.....	108
簡単セットアップを終了する.....	108

燃費・車両設定.....	109
燃費推定機能を使って燃費を設定する... ..	109
燃費推定機能を使わずに燃費を設定する... ..	111
その他車両情報を設定する.....	112

Bluetooth接続設定.....	114
Bluetooth機器を準備する.....	114
対応するBluetoothプロファイルについて... ..	114
Bluetooth機器を登録する.....	114
Bluetooth機器を切り換える.....	115
登録したBluetooth機器を削除する... ..	116
自機名称を設定する.....	117
パスキーを変更する.....	117
電波発射をON/OFFする.....	118

その他の設定.....	119
オープニング画像を設定する.....	119

設定初期化.....	120
各種設定を初期化する.....	120

機能設定.....	121
設定を変更する.....	121
設定内容の詳細.....	121
地図表示.....	121
ルート・案内.....	123
渋滞情報.....	126

調整・補正

ナビゲーションの補正・調整.....	127
音量設定をする.....	127
消音設定をする.....	127
音声出力先設定をする.....	128
自車位置を修正する.....	129
一般道または有料道へ自車位置を修正する... ..	129

画質調整.....	130
画質を調整する.....	130

タッチパネル調整.....	131
タッチパネルのタッチ位置を調整する... ..	131

渋滞情報の利用 132

VICS情報を利用する 133
 VICS情報の表示形態 133
 地図上でVICS情報を見る 134
 VICSマークの種類 135
 VICS情報マークの詳細を見る 135
 緊急情報の自動表示 135
 VICS情報の表示を設定する 135
 渋滞情報表示対象道路を設定する 135
 渋滞情報表示を設定する 136
 順調表示を設定する 136
 点滅表示を設定する 136
 規制表示を設定する 137
 駐車場情報マーク表示を設定する 137
 区間旅行時間表示を設定する 138
 ビーコン情報の自動表示 138
 ビーコン即時表示の表示内容を設定する 138
 ビーコン即時表示の表示時間を設定する 139
 ルート上の渋滞情報を自動で案内させる 139
 渋滞オートガイドを設定する 139
 ルート上の渋滞情報を手動で案内させる 140
 VICSの文字・図形情報を見る 140
 FM多重VICSの図形情報を表示する 140
 FM多重VICSの文字情報を表示する 140
 FM多重VICSのセンター情報を表示する 141
 ビーコン情報を表示・再生する 141
 放送局を選ぶ 142
 放送局の受信感度を確認する 142

各種情報の利用 143

エコステータス詳細情報を見る 143
 エコステータスの表示色について 143
 センサー学習の状況を確認する 143
 トリップ/パルス数/速度 143
 センサー学習 144
 前後G/回転速度計 144
 傾斜計 144
 距離/方位/傾斜(3D)の学習度 144
 接続状態を確認する 144
 車速パルス 144
 電源電圧 144
 イルミネーション 144
 バック信号 145
 パーキングブレーキ 145
 GPSアンテナ 145
 測位状態 145
 取付位置 145
 Bluetooth機器1・Bluetooth機器2 145
 ETCユニット/ETC2.0ユニット 145
 車載器管理番号 145
 カード有効期限 145
 SDカード情報を確認する 145
 バージョン情報を確認する 146
 プログラムバージョン(ナビゲーション) 146
 地図データ 146
 検索データ 146

オーディオ基本操作

オーディオ基本操作 147
 AVソースを切り換える 147
 AVソースをOFFにする 147
 映像系AVソースについて 147
 映像画面の時計表示を設定する 147

放送受信

ラジオを聞く 148
 ラジオを受信する 148
 ユーザープリセットとエリアプリセットを切り換える 148
 バンドを切り換える 149
 放送局を自動で登録する 149
 放送局を手動で登録する 150
 プリセットチャンネルを切り換える 150
 受信可能な放送局を探す 150

交通情報を受信する 151

交通情報を受信する 151
 交通情報の周波数を切り換える 151

地上デジタルテレビ放送(DTV)

を見る 152
 地上デジタルテレビ放送(DTV)を見る 152
 アイコン一覧 152
 プリセットの種類を切り換える 152
 放送局を手動で登録する 153
 チャンネルを切り換える 153
 プリセット済みのチャンネルを切り換える 153
 3桁チャンネルを切り換える 154
 番組表の操作のしかた 154
 番組表の日付を切り換える 154
 番組表の時間を切り換える 154
 番組表の表示方法を切り換える 155
 ジャンル検索で見たい番組を選ぶ 155
 視聴予約をする 156
 番組内容を表示する 157
 予約済み番組を確認/編集する 157
 番組の予約を消去する 158
 番組情報を取得する 158
 放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン) 159
 受信可能な中継局を探す 159
 データ放送画面の操作のしかた 159
 パネルタッチキーの操作 159
 データ放送を見る 160
 字幕を切り換える 160
 音声を切り換える 161
 映像を切り換える 161
 音声多重を切り換える 161

バンドを切り換える	161
ワイドモードを設定する	162
バージョン情報を表示する	163
サービスリストを表示する	163
サービスを切り換える	163
TVの機能設定を行う	164
設定内容の詳細	164

音楽ディスク

音楽CDを聴く 166

音楽CDを再生する	166
トラックを切り換える	166
早戻し/早送りする	166
リストから曲を選んで再生する	167
リピート再生する	167
ランダム再生する	168
再生を一時停止する	168

音楽CDを録音する 169

CDから録音するには	169
録音を停止する	169
録音についてのご注意	170
CD録音の制限について	170
タイトル表示について	170
録音設定をする	171
オート録音モードを設定する	171
録音音質を設定する	171

ROM-Audioを聴く 172

ROM-Audioを再生する	172
トラックを切り換える	172
フォルダーを切り換える	172
リストから曲を選んで再生する	173
リピート再生する	173
ランダム再生する	174
早戻し/早送りする	174
再生を一時停止する	174

映像ディスク

DVDビデオを見る 175

DVDビデオを再生する	175
チャプターを切り換える	175
タイトルを切り換える	175
リピート再生する	175
ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する	176
ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する	176
CMを飛ばして再生する	177
コマ送り再生する	177
スロー再生する	177
早戻し/早送りする	178

再生を一時停止する	178
ダイレクトタッチ画面を表示する	178
再生を停止する	178
字幕言語を切り換える	179
音声言語を切り換える	179
指定位置まで戻って再生する	179
ワイドモードを設定する	179
アングルを切り換える	180
音声出力を切り換える	181
見たい場面を指定して再生する	181
ブックマークを登録する	182
DVDビデオの初期設定を行う	182
基本字幕を設定する	182
基本音声を設定する	183
メニュー言語を設定する	183
マルチアングルを設定する	184
テレビアスペクトを設定する	184
視聴制限を設定する	185
オートプレイを設定する	186
言語コード表	187

DVD-VRを見る 188

DVD-VRを再生する	188
チャプターを切り換える	188
タイトルを切り換える	188
リストからタイトルを選んで再生する	188
リピート再生する	189
見たい場面を指定して再生する	189
CMを飛ばして再生する	190
コマ送り再生する	190
スロー再生する	190
早戻し/早送りする	191
再生を一時停止する	191
再生を停止する	191
字幕言語を切り換える	191
音声言語を切り換える	192
音声多重を切り換える	192
ワイドモードを設定する	193
DVD-VRの初期設定を行う	194
テレビアスペクトを設定する	194

メモリーメディア

SD/USBを使う 195

グループ、アルバム、トラックについて	195
グループの種類について	195
録音した楽曲または音楽ファイルや映像ファイルを再生する	195
トラック(ファイル)を切り換える	196
アルバム(フォルダー)を切り換える	196
リストからトラック(ファイル)を選んで再生する	196
リピート再生する	197
ランダム再生する	198
再生モードを切り換える	198

早戻し/早送りする.....	198
再生を一時停止する.....	199
再生を停止する.....	199
マイミックスにトラック(ファイル)を 追加する.....	199
SDの初期設定を行う.....	200
映像出力を設定する.....	200

アルバム/トラックの編集・消去.....201

アルバム/トラック名を編集する.....	201
オリジナルグループのアルバムを消去する...201	
アルバムの消去.....	201
トラックを消去する.....	202
マイミックスのトラックを消去する...203	
録音データをすべて消去する.....	204

タイトル情報の取得.....205

タイトル情報について.....	205
取得できる情報.....	205
No Title表示について.....	205
タイトルの編集について.....	205
タイトル情報を取得する.....	205
タイトルを取得する.....	205

iPodを使う

iPodを使う.....207

iPodを再生する.....	207
iPodミュージックとiPodビデオを 切り換える.....	207
チャプターまたはソング/ファイル を切り換える.....	207
聴きたい曲や見たい映像を探す.....	208
リピート再生する.....	208
シャッフル再生する.....	209
早戻し/早送りする.....	209
再生を一時停止する.....	209
ワイドモードを設定する.....	210
コントロール/アプリモードを設定する...211	

Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioを使う.....212

Bluetooth Audio機器の登録.....	212
Bluetooth Audioを再生する.....	212
トラックを切り換える.....	213
グループを切り換える.....	213
聴きたい曲を探す.....	213
リピート再生する.....	214
ランダム再生する.....	214
早戻し/早送りする.....	215
再生を一時停止する.....	215
手動で再生する.....	215
Bluetooth Audio機器を接続する.....	216

Bluetooth Audio機器を切り換える...216

AUXを使う

AUX(外部機器)を使う.....217

AUX設定をする.....	217
AUXを再生する.....	217
ワイドモードを設定する.....	217

音質の設定・調整

オーディオ設定.....219

基本設定を行う.....	219
詳細設定を行う.....	219
フェーダー/バランス設定.....	219
リスニングポジション設定.....	220
グラフィックイコライザー設定.....	220
タイムアライメント設定.....	221
ハイパスフィルター設定.....	222
サブウーファー設定.....	222
スピーカー出力設定.....	223
ソースレベルアジャスター設定.....	223
音場設定(VSC).....	224
バスブースター設定.....	224
ラウドネス設定.....	225
アイドリングアッテネーター設定.....	225

その他の機能

カスタム機能.....226

カスタムキーを使う.....	226
カスタムキーに機能を割り当てる.....	226
カスタム設定できる機能(コマンド)一覧...227	

ステアリングリモコンを設定する...228

ステアリングリモコンに車両メーカー を指定して設定する.....	228
ステアリングリモコンに好みの機能を 設定する.....	228
ステアリングリモコンの設定を初期化する...230	

その他の機器

ETC2.0対応ユニット.....231

5.8 GHzVICSサービスについて.....	231
安全運転支援情報.....	231
道路交通情報(ダイナミックルートガイ ダンス).....	231
5.8 GHzVICS情報を受信したとき...231	
案内情報を受信したとき.....	231
渋滞情報を受信したとき.....	232
ETCサービスの利用.....	232
アップリンク機能を設定する.....	233
ETC2.0起動時音声案内を設定する...233	

ETCユニット	234	本体をリセットする	259
ETC関連の情報案内について	234	再生できるディスクの種類	260
ETCカード・エラー関連音声案内.....	234	再生できるディスクの種類とマーク... 260	
ETCカード有効期限切れ関連音声案内.....	234	ハイビジョン画質 (AVCHD/AVCREC	
予告ビーコン通過時音声案内.....	234	規格)で記録されたディスクについて... 261	
ETCレーン通過時音声案内.....	234	「DualDisc」の再生について	261
料金所通過時音声	234	DVDに表示されているマークの意味... 261	
ETC利用履歴を確認する	234	ディスクの操作について.....	261
ETC起動時音声案内を設定する	235	ディスクの構成について	262
ETCカード有効期限切れ通知について ... 235		DVDビデオ	262
通常時の例	235	映画など	262
有効期限切れが当月の場合の例	235	カラオケディスク	262
有効期限がすでに切れている場合の例.....	235	CD	262
携帯電話 (ハンズフリー)	236	再生できるファイルとメディアの種類 ... 263	
エコー (残響音) が気になるときは	236	音声コーデックについて.....	263
エコーを軽減するには	236	対応音声コーデック一覧	263
電話を受ける.....	236	映像コーデックについて	264
電話のかけかた.....	237	対応映像コーデック一覧	264
電話番号を入力して電話をかける	237	音声コーデックと映像コーデックの	
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける... 237		組み合わせについて.....	264
発着信履歴から電話をかける	237	ナビゲーションのしくみ	265
地図に登録された電話番号に電話をかける... 238		現在地がわかるしくみ	265
通話中メニューの操作	238	GPSによる測位	265
メモリダイヤルを読み込む	238	自立航法による測位	265
メモリダイヤル読み込み済みの場合.....	239	測位の精度を高めるためのしくみ	265
メモリダイヤルを消去する	239	3Dハイブリッドセンサーの役割	265
発着信履歴を消去する	240	マップマッチング	265
汎用バックカメラ	241	誤差について	266
バックカメラを設定する	241	GPS測位不可による誤差	266
バックカメラの入力設定をする	241	GPS衛星自体による誤差	266
バックカメラの極性を設定する	241	有料・高架道路での誤差について	266
駐車アシスト線表示を設定する	242	低速時の自車位置精度について	266
駐車アシスト線を調整する	242	駐車場マップについて	266
バックカメラ映像を表示する	243	その他の誤差について	266
バックカメラの画質を調整する	244	その他の情報	269
リアモニター	245	検索におけるデータベースについて... 269	
リアモニターに表示される映像について... 245		タウンページデータについて	269
リアモニターの設置場所について	245	自然物に関するデータについて	269
		季節の味覚スポット検索のデータについて... 269	
		電話番号検索のデータについて	269
		ロゴマーク表示について	269
		営業時間考慮周辺検索について	269
		ルートに関する注意事項	269
		ルート探索の仕様	269
		ルート探索のしかた	269
		ルートの道塗りについて	270
		音声案内について	270
		交差点拡大図について	270
		ルート候補選択画面での有料料金について... 270	
		オートルートについて	270
		VICS情報に関する注意事項	270
		FM多重放送について	270
		ビーコンについて	270
		VICSセンターのお問い合わせ先	270
困ったときは			
故障かな?と思ったら	246		
メッセージと対処方法	253		
付録			
センサー学習	258		
センサー学習状態のリセットが必要な場合... 258			
オールリセットが必要な場合	258		
距離学習リセットが必要な場合	258		
センサー学習状態のリセットのしかた... 258			
本体リセット	259		

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア...	271
整備面積95%以上(458都市).....	271
整備面積80%以上(70都市).....	271
整備面積50%以上(160都市).....	271
整備面積50%未満(646都市).....	272
阪神高速道路株式会社からのご連絡...	273
収録データベースについて.....	273
地図データについて.....	273
道路データについて.....	275
交通規制データについて.....	275
有料道料金データについて.....	275
ハイウェイモード対象路線.....	275
VICSサービスエリアについて.....	276
放送局リストのデータについて.....	277
訪問宅(個人宅)電話番号データについて...	277
渋滞予測データについて.....	277
ボトルネック踏切データについて.....	277
冠水注意地点データについて.....	277
一時停止データについて.....	277
ゾーン30エリアデータについて.....	277
その他情報提供元.....	277

索引.....278

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
❗	注意マーク 操作上、注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
📌	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
MENU	ナビゲーション本体のボタンを表します。 例：MENUを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→P47の「場所を探す」
長く押す/長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける/タッチし続ける	押し続けている(タッチしている)間だけ動作することを示します。

📌メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

基本操作

本機の基本操作について説明します。

本機の操作は、タッチパネル操作、ボタン操作で行います。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作します。



終了	現在開いているメニューなどを終了して、元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面から、1つ前の画面に戻ります。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などができます。

画面の切り換えかた

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）を切り換えることができます。

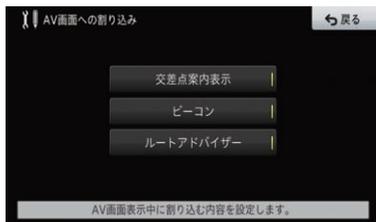
■ AV画面への割り込みを設定する

AVソース画面表示中に、各種ナビゲーション情報を一時的に割り込み表示させることができます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする
- 2 **AV画面への割り込み**にタッチする



3 割り込み表示させる項目にタッチする



交差点案内表示	交差点案内表示を割り込み表示します。
ビーコン	ビーコン情報を割り込み表示します。
ルートアドバイザー	ルートアドバイザーの情報を割り込み表示します。

メモ

- 割り込み表示させる項目は、複数選択できます。項目を何も選択しなかった場合は、OFFとなります。工場出荷時は、すべて選択状態となっています。
- OFFに設定していても、緊急情報やデータ更新メッセージなどが割り込み表示される場合があります。
- **ビーコン**は、ETC2.0対応ユニットを接続した場合に選択できます。

画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

- 1 **(現在地)** を長く押し

画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチするか、**(現在地)**、**(AV)**、**(MENU)** を押し、ナビスタンバイが解除されます。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- ナビスタンバイ中に以下の機能が働いた場合は、一時的にナビスタンバイを解除します。
 - バックカメラ映像表示
 - 電話着信時
 - 緊急警報放送受信時

- バックカメラ映像表示の場合のみ、機能解除後は自動的にナビスタンバイモードに戻ります。

■チェックリストの操作

リスト画面の操作

操作中表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

■基本的なリストの操作



▲、▼にタッチする	ページ送り 1画面ずつ移動します。
タブ (例: ルート・案内) にタッチする	タブ選択 タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。

◆メモ

- 表示しているタブ付きリスト画面によっては、タブにタッチすることで、それぞれのタブに分類されたリストの先頭行を表示するものがあります。

■50音タブの操作



タブ (あ~わ) にタッチする	行選択 リストの先頭に表示する行を選択できます。
タブ (例: あ) に繰り返しタッチする (例: あ→い→う→え→お)	音送り リストを音送りできます。



基本操作

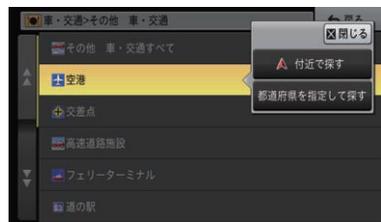
チェックリストでは、リスト左側のチェックボックスにタッチすると (チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度チェックボックスにタッチするとが消え、選択が解除されます。項目自体にタッチすると、表示される地図の内容が選んだ項目の内容に切り換わります。

■インジケータ付きリストの操作



項目にタッチするとリスト右側のインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度同じ項目にタッチするとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

■ポップアップメニューの操作



リスト画面によっては、項目にタッチすると、ポップアップメニューが表示される場合があります。表示されたポップアップメニューから機能を選んでタッチできます。

■サイドマップリストの操作

サイドマップリストでは、項目にタッチするとタッチした地点や施設を中心としたサイドマップが表示されます。



▲前の施設、▼次の施設 リスト項目の選択状態を切り替えることができます。

メモ

- 地図にタッチするか、同じリスト項目に再度タッチすると、選択中の地点や施設の地図を全画面表示します。
- 情報にタッチすると、選択中の地点や施設に情報がある場合は詳細情報画面を表示します。
- サイドマップについて、詳しくは→P36の「サイドマップについて」をご覧ください。

■並べ替えの操作



リスト画面によっては、項目の並べ替えができます。

並べ替えにタッチするごとに、ヨミ順や近い順などのようにリスト表示を並べ替えます。並べ替えの種類は、表示している画面によって異なります。

メニューの操作

本機のメニューの基本的な操作方法を説明します。

セントラルメニューの操作

セントラルメニューとは、本機の各種メニューが集められたメニューです。各種機能を利用するには、セントラルメニューの表示が基本です。

1 MENUを押す

セントラルメニューが表示されます。



AV OFF	AVソースをOFFにします。
ビュー	ビューメニューを表示します。
情報	情報メニューを表示します。
設定・編集	設定・編集メニューを表示します。
携帯電話	携帯電話メニューを表示します。
ルート※1	ルートメニューを表示します。

※1: 案内中ルートがある場合

NAVIメニュー

場所や行き先を探すメニューです。



←AV	AVメニューに切り換えます。
名称	行き先をひらがなで入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込んで検索することもできます。
住所	行き先の住所を入力して検索します。
周辺施設	自車の位置または地図をスクロールさせた位置や、ルート周辺から特定の施設を検索します。
電話番号	行き先の電話番号を入力して探すことができます。
登録地/履歴※1	登録した場所や今までに検索した場所の履歴から検索します。

目的地 ランキング※2	目的地ランキングのリストから検索します。
ジャンル	行き先のジャンルから検索します。
自宅	自宅までのルートを探します。

※1: 登録地点や検索履歴がある場合

※2: ランキング情報がある場合

AVメニュー

音楽や映像を楽しむメニューです。



NAVI→	NAVIメニューに切り換えます。
DISC※1 (例: CD)	挿入されているディスク(DVD、CD、ROMなど)を再生します。挿入したディスクによって、表示が異なります。
MSV/SD ※1 ※2	SDカード内の音楽・映像データを再生します。 SDカードに録音した音楽データも再生できます。
FM	FMを受信します。
AM	AMを受信します。
DTV	テレビ放送を受信します。
Bluetooth Audio※3	Bluetooth Audio機器の音楽データを再生します。
iPod※1 ※4	iPodの音楽・映像データを再生します。
USB※1 ※5	USBメモリー内の音楽データを再生します。
AUX※1 ※6	本機に接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声再生します。
交通情報	AMの交通情報を受信します。

※1: 接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースは選択できません。

※2: SDカードが挿入されている場合

※3: Bluetooth Audio機器が接続されている場合

※4: iPodが接続されている場合

※5: USBメモリーが接続されている場合

※6: ソース別設定でAUX設定の入力設定をONにした場合→P217の「AUX設定をする」

メモ

- 以下の場合、セントラルメニューはAVメニューの状態に表示されます。
 - AVソース再生中に(AV)を長く押す
 - AVソースOFFの状態、ナビゲーション画面で(AV)を押す

基本操作

ビューメニュー

地図の表示方法や地図の向きなど、地図の表示の設定を行うメニューです。



ノーマルビュー	平面的な地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。
スカイビュー	上空から見ているような地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます(スカイシティマップ)。
ドライバーズビュー	ドライバーの目線のような地図を表示します。小画面には平面的な地図が表示されます(サイドマップ)。サイドマップの地図は、スケール変更やスクロールができます。ルート案内中は、オートアングルチェンジ機能により、視点が自動的に変化します。
ツインビュー	地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。
AVサイドビュー	地図画面とAVソース画面を同時に表示します。AVソース画面にタッチすると、AVソースの操作画面に切り換わります。
ハイウェイモード※	有料道専用画面を表示します。前方の有料道施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐方面看板などが表示されます。有料道走行時のみ有効です。
通常表示	通常の地図が表示されます。
文字拡大	文字情報を拡大した地図が表示されます。
道路重視	道路情報を強調した地図が表示されます。
地図方位	地図の向きを設定します。
100mスケール一方通行表示	100 mスケール時の一方通行マークの表示を設定します。
ロゴマーク表示設定	地図上に表示するロゴマークを設定します。
スケール登録	スケールの登録を行えます。

周辺検索結果消去 周辺検索によって表示されたロゴマークを消します。

※：有料道路走行中の場合

情報メニュー

ルート情報、VICS情報など、本機で利用できる各種情報の表示を行うメニューです。



ルート情報※1	現在案内中のルートを確認・編集します。
渋滞情報	文字や図形のVICS情報を確認できます。
エコステータス詳細	エコステータスの内容をグラフや指数などで、詳しく表示します。
システム情報	センサー学習の状況や接続した機器の状態、SDカードの空き領域の情報を確認します。
バージョン情報	本機に収録されたデータのバージョン情報を表示します。
マップクリップ	表示中の地図情報を、2次元バーコード(QRコード)に変換します。
ETC利用履歴※2	本機に接続した別売のETCユニットまたはETC2.0対応ユニットにETCカードを挿入した場合、ETCカードに記録された利用履歴データを表示できます。履歴は、新しいものから最大100件表示できます。

※1：案内中ルートがある場合

※2：ETCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合

■設定・編集メニュー

ナビゲーションやオーディオの各種設定、編集を行うメニューです。



データ編集	登録地や各履歴、ドライブプランなどのデータを編集します。
ルート編集 ※1	現在案内中のルートを確認・編集します。
オーディオ設定 ※2	オーディオの音質や出力のスピーカーなどを設定します。
ソース別設定	各AVソース特有の設定をします。
機能設定	ナビゲーション機能を設定します。
燃費・車両設定	燃費推定機能の使用有無やパラメーター（燃費単位や排気量などの設定）、車両情報の入力設定ができます。
調整・補正	音量や自転車位置などを調整します。
システム設定	Bluetoothやカスタムボタンなどの各機能を設定します。
案内・ハンズフリー音量設定	ナビゲーションの案内音量やハンズフリーの音量、操作音のON/OFFを設定します。
簡単セットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。

※1：案内中ルートがある場合

※2：AV機能利用中の場合

■携帯電話メニュー

携帯電話を接続し、ハンズフリー通話などを行うメニューです。



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。
メモリダイヤル	本機に読み込まれたメモリダイヤルのリストを表示します。
発信履歴	発信履歴のリストを表示します。
編集・消去	メモリダイヤルのデータや発信履歴の履歴を編集・消去できます。

■ルートメニュー

探索されたルートや案内中のルートの変更や消去を行うメニューです。



再探索	ルートを再探索します。
別ルート	別ルートを探します。
消去	案内中のルートを消去します。
立寄地送り	次の立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直します。

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したりしたあとに表示されるメニューです。ルート探索や地点登録、周辺施設の検索などができます。



周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設を、ジャンルを選んで検索します。
マップクリップ	カーソル位置をマップクリップ(2次元バーコード)で表示します。
ここを登録する	カーソル位置を本機に登録します。
ここへ行く	カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。
ショートカットメニュー非表示	画面に表示されているショートカットメニューを非表示にします。ショートカットメニューを非表示にしている間は、地図スクロール時のロックオン動作は行いません。
ショートカットメニュー表示	ショートカットメニューを画面に表示します。ロゴマークや施設の詳細情報を見る場合は、ショートカットメニューを表示します。

☑メモ

- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、**戻る**にタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、**(現在地)**を押します。

文字の入力操作

検索時や編集時に必要な、文字の入力操作について説明します。
本機では、英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。

メモ

- 入力項目により、使用できる文字の種類が制限されることがあります。
- 本機は、文字入力変換システムに株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

入力パレットを切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法（キーボード方式、携帯電話方式）から選ぶことができます。

1 または にタッチする

選んだ入力方法に切り換わります。

キーボード方式



携帯電話方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。
文字の種類を切り換える→文字を入力する→無変換、変換を行う→文字入力を終了する

■文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります



■全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は、全角・半角を切り換えることができます。

1 全角または半角にタッチする



タッチすることにより全角と半角が切り換わります。

大文字・小文字を切り換える

英字の場合は、大文字・小文字を切り換えることができます。

1 a/Aにタッチする



タッチするごとに大文字と小文字が切り換わります。

濁点・半濁点、大文字・小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えたりすることができます。

1 °小文字にタッチする



タッチするごとにカーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字に戻る

例1: ツ → ツゝ → ツゞ → ツ

例2: ハ → パ → バ → ハ

■文字を入力する

キーボード方式で入力する

1 入力したい文字にタッチする



携帯電話方式で入力する

1 入力したい文字が表示されるまで、キーを繰り返しタッチする



カーソルの位置を動かす

1 画面右上の←|・|→にタッチする



タッチした分だけカーソルの位置を移動できます。

メモ

- タッチし続けている間、カーソルを移動できます。
- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 一部の文字入力画面では、←|・|→でカーソルを移動できない場合があります。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、スペースにタッチする



タッチした分だけスペースが挿入されます。21

メモ

- 入力した文字が変換中の場合は、スペースを挿入できません。変換または無変換を確定してから、スペースを挿入してください。

基本操作

文字を挿入する

- 1 **←**・**→**にタッチして、文字を挿入したい位置の右側にカーソルを移動させる



カーソルの位置に文字を挿入できます。

文字を削除する

- 1 **←**・**→**にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、**ⓧ**にタッチする



タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右隣の文字が削除されます。必要なだけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- **ⓧ**に長くタッチすると、すべての文字を一括で削除できます。

ひらがなをそのまま入力する

- 1 ひらがなで文字を入力し、**無変換**にタッチする



入力した文字がひらがなで確定されます。

予測変換、漢字変換を行う

本機では、予測変換機能を使うことができません。入力した文字に応じて表示される変換候補から選択できます。

- 1 ひらがなを入力する

入力された文字に応じた変換候補が表示されます。

- 2 変換候補にタッチする



文字が入力されます。

メモ

- 表示された変換候補に該当する文字がない場合は、**一覧**にタッチすると変換候補の一覧を表示して選ぶことができます。一覧を閉じるには**閉じる**にタッチしてください。
- **変換 - 次候補**にタッチして候補を切り換えることができます。最後の変換候補が表示された状態で、**次候補**にタッチすると、候補一覧が表示されます。

文字入力を終了する

1 入力終了にタッチする



文字入力を終了できます。

かな漢字変換できる記号

■学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ぼつ	×
ふうごう	≠、<、>、≦、≧、<<、>>
ぶらす/たす	+
まいなす/ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∵
かける	×
わる	÷

■ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ/あるふぁー	A, α
いーた	H, η
いおた	I, ι
いぷしろん	E, ε
うぷしろん	Y, υ
おーむ/おめが	Ω, ω
おみくろん	O, ο
かい/きー	X, χ
かっぱ	K, κ
がんま/がんまー	Γ, γ
くしー/ぐざい	Ξ, ξ
しーた	Θ, θ
じーた	Z, ζ
しぐま	Σ, σ
たう	T, τ

でるた	Δ, δ
にゅー	N, ν
ぱい/ぴー	Π, π
ふあい/ふいー	Φ, φ
ぶさい/ぶしー	Ψ, ψ
べーた	B, β
みゅー	M, μ
らむだ	Λ, λ
ろー	P, ρ

■括弧

読み	記号
かっこ	“、”、()、[]、{ }、< >、《 》、「 」、【 】

■記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△、▲、▽、▼
しかく	◇、◆、□、■
ずけい	☆、★、○、●、◎、◇、◆、□、■、△、▲、▽、▼
まる	○、●、◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇、◆
ほし	☆、★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

■単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	°、′、″、℃、¥、\$、¢、£、%
ど	°、℃
どる	\$
ぱーせんと	%
ぱーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

■点

読み	記号
だくてん	°
てん	…、…、…
はんだくてん	°
まる	○

■矢印

読み	記号
やじるし	→、←、↑、↓

■その他

読み	記号
あすたりすく/あす てりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぷ	♪
から/ないし	～
こめ/ほし	※
しゃーぶ	#
しゃせん	/、\ ／、＼
せくしょん	§
だが一	†
だぶるだが一	‡
ふらっと	b

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と、見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 「現在地」を押す

現在地画面が表示されます。



メモ

- 現在地画面を表示している状態で「**現在地**」を押すと、登録してある地図のスケールに切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。→P35の「地図スケールを登録する」

画面下部に表示される情報

本機の使用状況に応じて、画面下部には各種アイコンが表示されます。

アイコン例	表示条件
	サイレントガイドでルート案内中に表示されます。
	本機に挿入されたSDカードを認識している場合に表示されます。
	地図データ等の更新時に表示されます。更新中は、進捗状況が%で表示されます。更新マークが表示されているときは、SDカードを抜かないでください。
	音楽CDからSDカードへ録音中に表示されます。
	別売のETCユニットやETC2.0対応ユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合に表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。
	Bluetooth機器がハンズフリー接続されているときに表示され、基地局とBluetooth機器間の電波強度を示します。

	音声案内をOFFにすると表示されません。
	Bluetooth機器が接続されているときは青色で表示され、未接続の場合は灰色で表示されます。電波発射がOFFに設定されている場合および音声案内がOFFの場合は表示されません。

メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1種類しか表示されないものもあります。

■現在地画面の見かた

ノーマルビュー

スケール表示

現在の時刻

方位マーク

方位マークの赤い三角が北を示します。



自車マーク

軌跡表示

情報ウィンドウ表示

VICSLレベル3情報提供時刻表示

メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約1 000 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウの表示内容は変更できます。→P42の「情報ウィンドウの設定」

地図の設定をする

■ 地図色切換を設定する

地図色が切り換わるタイミングを設定します。
工場出荷時は「時刻連動」です。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする
- 2 **地図色切換** にタッチする



- 3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	走行軌跡が表示されます。
OFF	走行軌跡は表示されません。

- 3 設定したい項目にタッチする



時刻連動	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
イルミ連動	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
昼色固定	常に昼画面のままです。

■ 走行軌跡表示を設定する

走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする
- 2 **走行軌跡表示** にタッチする



地図を動かす

見たい場所を表示させます(スクロール)。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチしてから、**微調整**したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチすると、地図が少しずつ動きます。
もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
地図上ではフリック/ドラッグ操作ができます。

フリック操作



画面を指で払うようにすると、指を払った方向に地図が移動します。(フリックスクロール)

ドラッグ操作



画面にタッチしたまま指を動かすと、指の動きに従って地図が動きます。(ドラッグスクロール)

メモ

- 画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。

■アクティブインフォについて

地図をスクロールさせたり、検索結果の地図で [] が表示され、スクロール地点周辺に存在するマークや施設情報を自動的に画面に表示します。(アクティブインフォ)



表示対象となるのは、以下のマークや情報です。

- VICSの規制マーク
- ロゴマーク
- 目的地や立寄地などの誘導マーク
- 施設情報
- 登録地
- 速度標識
- 冠水地点

メモ

- スクロールした地点を目的地にセットしたい場合は、**+**の場所にタッチしてください。
- 周辺または同一家形内に複数の対象情報がある場合は、**▼**にタッチするとリスト表示されます。

■スクロール画面の見かた

スクロール画面は、地図を動かしたときに表示されます。

ノーマルビュー

現在地から十字カーソルを結んだ線



十字カーソル位置の地名

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

■スクロール時のビューモードを設定する

スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** 機能設定にタッチする
- 2 **2D (ノーマルビュー) 固定スクロール** にタッチする



- 3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	スクロール画面をノーマルビューに固定します。
OFF	スクロール画面をノーマルビューに固定しません。

地図のスケールを変える

10 m ~ 500 km の範囲で地図のスケールを変更できます。

- 1 現在地画面で、**詳細** または **広域** にタッチする



詳細	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
広域	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。
ダイレクトスケールキー (例: 100 m)	広域/詳細にタッチすると表示され、タッチしたスケールで地図を表示できます。
	ダイレクトスケールキーおよびスケールゲージを消します。

メモ

- タッチすることにより、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 kmとスケール表示が変わります。
- 詳細や広域にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 地図を2画面(ツインビュー)で表示している場合、それぞれの画面でスケールを変更できます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変更できます。

1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



2 表示方法にタッチする



ノーマルビュー	平面的な地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。
スカイビュー	上空から見ているような地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます(スカイシティマップ)。

ドライバースビュー	ドライバーの目線のような地図を表示します。小画面には平面的な地図が表示されます(サイドマップ)。サイドマップの地図は、スケール変更やスクロールができます。ルート案内中は、オートアングルチェンジ機能により、視点が自動的に変化します。
ツインビュー	地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。
AVサイドビュー	地図画面とAVソース画面を同時に表示します。AVソース画面にタッチすると、AVソースの操作画面に切り換わります。
ハイウェイモード	有料道専用画面を表示します。前方の有料道施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐方面看板などが表示されます。有料道走行時のみ有効です。

メモ

- スカイシティマップではスケールが50 mまで、スカイビューでは200 mまで登録地点に設定した立体ランドマーク(3Dマーク)が表示されます。
- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界線付近ではシティマップのみが表示され、境界線の外側は何も表示されません。
- ドライバースビューでは、エリア・天気予報・時刻に応じて空のイメージが変化します。ただし、実際の風景とは異なります。
- 音楽CDをミュージックサーバー(MSV)に録音中の場合は、AVサイドビューを表示してもMSV/SDおよびSDソースの映像は表示されません。

地図の表示方法の設定をする

■ ツインビュー左画面アングルを設定する

ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。
工場出荷時は「3D」です。

1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**機能設定にタッチする

2 ツインビュー左画面アングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	左画面をノーマルビューで表示します。
3D	左画面をスカイビューで表示します。

■ハイウェイサイドマップを設定する

ハイウェイモードのサイドマップの表示を設定します。
工場出荷時は「高速マップ」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする

2 **ハイウェイサイドマップ**にタッチする



3 **高速マップ**または**通常マップ**にタッチする



高速マップ	高速マップが表示されます。
通常マップ	通常マップが表示されます。

■ハイウェイモードサイドマップアングルを設定する

ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。
工場出荷時は「2D」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする

2 **ハイウェイモードサイドマップアングル**にタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

■ドライバズビューサイドマップアングルを設定する

ドライバズビューのサイドマップのアングルを設定します。
工場出荷時は「2D」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする

2 ドライバズビューサイドマップ アングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

■ AVサイドビューアングルを設定する

AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。
工場出荷時は「2D」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 AVサイドビューアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

■ シティマップを設定する

シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 シティマップにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	市街地図が表示されます。
OFF	通常の地図が表示されます。

■ スカイシティマップを設定する

シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

メモ

- シティマップ設定が「ON」のときに操作できます。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 スカイシティマップにタッチする**3 ONまたはOFFにタッチする**

ON	市街地図の建物が立体的に表示されます。
OFF	市街地図の建物が平面的に表示されます。

■シティマップ境界表示を設定する

シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- ・シティマップ設定が「ON」のときに操作できます。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする**2 シティマップ境界表示にタッチする****3 ONまたはOFFにタッチする**

ON	シティマップの境界が表示されます。
OFF	シティマップの境界を表示せず、通常地図に切り換えます。

■オートアングルチェンジを設定する

案内地点でのドライバズビューの視点変更を行うかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする**2 オートアングルチェンジにタッチする****3 ONまたはOFFにタッチする**

ON	ドライバズビューの視点を自動的に高くします。
----	------------------------

OFF	ドライバズビューの視点を自動的に変更しません。
-----	-------------------------

ターゲットマップを設定する

ターゲットマップとは、地図に表示されているさまざまな情報のうち、特定の情報を強調して表示する機能です。

1 現在地画面で、ビューにタッチする

2 文字拡大または道路重視にタッチする



文字拡大	地名や施設名の文字を拡大表示できます。
道路重視	道路に関する情報を重視して表示します。

メモ

- 文字拡大は20 kmスケール以下、道路重視は1 kmスケール以下で表示されます。

地図の向きを変える

ノーマルビューでは、2種類の地図の向き(地図方位)から選ぶことができます。

(ヘディングアップ)	進行方向が常に上になるように、地図が自動的に回転します。
(ノースアップ)	北が常に上になるように表示されます。

1 現在地画面で、ビューにタッチする



2 地図方位にタッチする



ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

100 mスケールで一方通行マークを表示する

シティマップ(10 m ~ 50 mスケール)で自動的に表示される一方通行マークを、100 mスケールでも表示させることができます。

1 現在地画面で、ビューにタッチする



2 100mスケール一方通行表示にタッチする



ON/OFFが切り換わります。

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの場合は表示できません。
- 地図のスケールを100 m以外に設定している場合、本機能をONにすると自動的に100 mスケールに切り換わります。

ログマークを選んで地図上に表示する

さまざまな施設(コンビニなど)のログマークを地図上に表示させることができます。

1 現在地画面で、ビューにタッチする



2 ログマーク表示設定にタッチする**3** ログマークを表示させたいジャンルにタッチする**4** 施設にタッチする

選択した施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。

5 戻るにタッチする**6** 終了にタッチする

選んだジャンルや施設のログマークが地図上に表示されます。地図画面へのログマーク表示を一括でやめたい場合は、手順3の画面でOFFにタッチしてください。

メモ

- 他の施設を選ぶには、手順3・4を繰り返してください。
- 選択したジャンルに施設のデータがない場合は、そのジャンルのログマークが地図上に表示されます。

■ ログマーク表示スケールを設定する

ログマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。

工場出荷時は「1 kmスケール以下」です。

1 **MENU** を押し、設定・編集機能設定にタッチする**2** ログマーク表示スケールにタッチする**3** 設定したい項目にタッチする

100 m スケール以下	100 m以下のスケールでログマークが表示されます。
200 m スケール以下	200 m以下のスケールでログマークが表示されます。
500 m スケール以下	500 m以下のスケールでログマークが表示されます。
1 km スケール以下	1 km以下のスケールでログマークが表示されます。

地図スケールを登録する

現在地 を押したときに地図画面で表示されるスケールを、それぞれの地図の表示方法ごとに登録することができます。

- ツインビューでは、左画面のスケール登録ができます。
- ドライバーズビューやAVサイドビュー、ハイウェイモードでは、サイドマップのスケール登録ができます。

1 登録したいスケールで地図を表示する

2 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



3 **スケール登録**にタッチする



4 **登録**にタッチする



登録したスケールで地図画面に戻ります。

メモ

- ノーマルビューまたはスカイビューの状態では本操作を行うと、**ハイウェイモードスケール登録**が表示されます。ノーマルビューまたはスカイビューで有料道を走行している場合は、**ハイウェイモードスケール登録**にタッチすると、ハイウェイモードのサイドマップに対するスケール登録ができます。

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。

メモ

- サイドマップ内に地図や情報が表示された場合、タッチすると全画面地図や選択中の施設の詳細情報を表示できます。

リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設周辺の地図がサイドマップに表示されます。



候補表示画面

周辺検索時の候補表示画面などでは、選択されている施設に矢印マークが付きます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自転車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



一時停止マークを表示する

地図上に一時停止マーク(▼)を表示できます。



また、マークに近づいた際に音で案内することもできます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする
- 2 **一時停止表示** にタッチする



- 3 **設定したい項目** にタッチする



ON(音あり)	地図上に一時停止マークが表示されます。また、一時停止マークに近づくと音で案内されます。
ON(音なし)	地図上に一時停止マークが表示されます。
OFF	一時停止マークは表示されません。

メモ

- 一時停止マークは自車位置から近い順に最大3カ所まで表示されます。
- 一時停止マークに近づくと、マークの表示が強調されます。

冠水注意地点を表示する

近年多発する集中豪雨により、アンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点にマーク(◆)を表示できます。



- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする
- 2 **冠水注意地点マーク表示** にタッチする



- 3 **設定したい項目** にタッチする



ON	地図上に冠水注意地点マークが表示されます。
OFF	冠水注意地点マークは表示されません。

走行速度制限エリア(ゾーン30)を表示する

都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限されたエリア「ゾーン30」を地図上に表示できます。



- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする
- 2 **ゾーン30エリア表示**にタッチする



- 3 **設定したい項目**にタッチする



ON	地図上にゾーン30エリアが表示されます。
OFF	ゾーン30エリアは表示されません。

走行中の地図画面

走行中は、いろいろな音声案内や地図表示が行われます。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内します（セーフティインフォメーション）。

有料道注意地点、県境案内	ここからおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、合流があります（右からの合流があります）（左からの合流があります）、ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300 m先、右折専用レーンがあります（左折専用レーンがあります）。ご注意ください。 およそ300 m先、右折専用、及び左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。ルート案内中でなくても案内されます。
- ルート案内中、交差点案内地点の1 km以内に右左折専用レーン案内対象のレーンが存在する場合は、音声案内は行われません。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。

■有料道注意地点・県境案内を設定する

有料道走行時に、注意地点と県境を案内するか設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **有料道注意地点・県境案内** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

■踏切案内を設定する

前方に踏切がある場合に案内をするか設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **踏切案内** にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

■右左折専用レーン案内を設定する

前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 右左折専用レーン案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

■リフレッシュ案内を設定する

2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 リフレッシュ案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

■ライト点灯案内を設定する

日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 ライト点灯案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

駐車場に入ると

データが収録されている大規模駐車場に入ると、階数や入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。



メモ

- 駐車場マップの表示スケールは、6 mです。

交差点に近づくと

交差点の手前約300 mに近づくと、場所によって通過する交差点名、レーン情報、方面案内、信号機のマークなどが表示されます。



■ 方面案内表示を設定する

一般道走行時に方面案内看板を表示するか設定します。
工場出荷時は「ON」です。

メモ

- データ収録されている交差点のみ、表示されます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** 機能設定にタッチする
- 2 **方面案内表示** にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



- | | |
|------------|------------------|
| ON | 交差点で方面案内が表示されます。 |
| OFF | 方面案内は表示されません。 |

有料道を走行すると

有料道を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります(オートハイウェイモード)。



メモ

- 一部表示対象外の有料道もあります。

■ オートハイウェイモードを設定する

有料道に入ったとき、自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。
工場出荷時は「ON」です。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** 機能設定にタッチする
- 2 **オートハイウェイモード** にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ハイウェイモードに切り換えます。
OFF	ハイウェイモードに切り換えません。

ボトルネック踏切表示

10 m ~ 100 mスケールでは、「ボトルネック踏切」および「開かずの踏切」がマークで表示されます。



メモ

- ボトルネック踏切とは、踏切交通遮断量（自動車1日あたりの交通量 × 1日あたりの踏切遮断時間）が5万台時/日以上以上の踏切のことです。
- 開かずの踏切とは、ボトルネック踏切のうち、ピーク1時間あたりの遮断時間が40分以上以上の踏切のことです。
- 開かずの踏切は、赤枠で表示されます。

■ ボトルネック踏切マーク表示を設定する

ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。
工場出荷時は「ON」です。

- 1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 ボトルネック踏切マーク表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ボトルネック踏切のマークが表示されます。
OFF	ボトルネック踏切のマークは表示されません。

情報ウィンドウの設定

情報ウィンドウには、現在地情報（市区町村名、走行道路名、緯度経度）、エコ関連情報、AV情報のいずれかを表示できます。
工場出荷時は「市区町村名」です。

- 1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 情報ウィンドウ表示にタッチする



3 表示したい情報にタッチする



市区町村名	現在地の市区町村名が表示されます。
走行道路名	現在走行している道路名が表示されます（道路名がない場合は市区町村名が表示されます）。
緯度経度	現在地の緯度経度が表示されます。
AV情報	選択中のAVソースや曲のタイトル、アーティスト名が表示されます。
エコステータス	燃費などエコに関する情報が表示されます。

■エコステータスについて

情報ウィンドウに表示する情報をエコステータスにすると、以下の情報が表示されます。

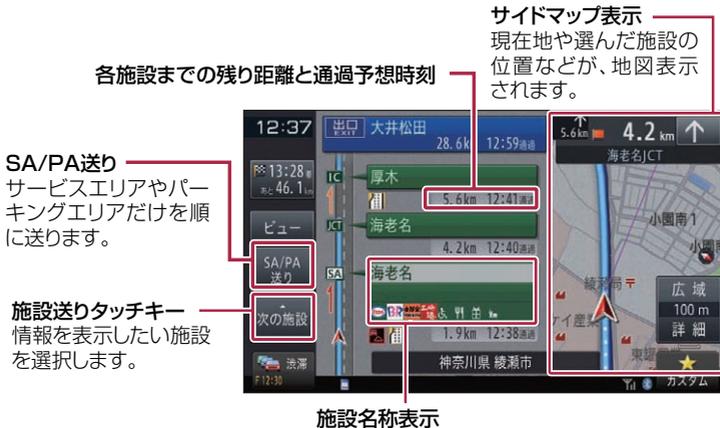


推定燃料費	ドライブの燃料消費量と燃料単価から算出して金額を表示します。
平均燃費	過去の平均燃費を表示します。
燃費インジケータ	累計平均燃費と直近平均燃費を比較して、燃費が良いか悪いかをインジケータで表示します。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

■ハイウェイモードの現在地画面の見かた



メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定です。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類 (IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC) と施設名が表示されます。
- 現在地からの距離と予想到着 (通過) 時刻が表示されます。渋滞予測と渋滞情報を考慮して表示させることもできます。→P65の「渋滞の考慮方法を設定する」
- 次の施設には、施設のサービス情報と料金 (IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合) が表示されます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設名称を選択すると、イラストが表示されます。
- 次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択できます。
- VICS情報を取得している場合は、故障車や車線規制などのVICS情報がマークで表示されます。→P135の「VICSマークの種類」
- ルート案内中は、有料道出口のおよそ1 km手前になると有料道出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- 有料道上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道です。
- 各種ETC割引料金については対応していません。

■ 出口情報を表示する

ルート案内中は、出口の施設情報（料金や距離、予想到着（通過）時刻）を表示できます。

1 現在地画面で、出口施設にタッチする



メモ

- 出口情報の表示にタッチすると、出口周辺の地図が表示されます。
- 有料道上に目的地を設定した場合と、ルートのない場合には、出口施設の表示はできません。
- 出口施設情報で表示される到着予想時刻は、ルートプロフィールの到着予想時刻と異なる場合があります。

■ 先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 現在地画面で、次の施設にタッチして表示したい施設を選ぶ



メモ

- 先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップには選択中の施設周辺の地図が表示されます。

- ルート案内中は、ルート上の施設を順に送ります。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- 100施設先まで見ることが出来ます。
- **SA/PA 送り**にタッチすると、SA/PAだけを順に送ることができます。
- 選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。
- **〔現在地〕**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

■ 分岐施設の分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。ルートの有無に関係なく途中に分岐施設がある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 現在地画面で、分岐施設を選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



地図にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、**戻る**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。



また、**決定**にタッチすると、選択した分岐先の路線を表示します。確認後、**終了**にタッチすると、現在地画面に戻ります。



■サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

☞メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できない施設はグレーアウトの状態(例：)で表示されます。(営業時間考慮表示)
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

■施設のイラストを表示する

SAやPAにイラスト情報が収録されている場合は、施設にタッチすると表示されます。

1 現在地画面で、SAまたはPA施設にタッチする



☞メモ

- **地図表示**にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。
- 分岐施設がある場合は、**路線選択**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面が表示されます。

■VICS情報表示について

VICS情報を取得している場合は、自転車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)および規制情報が近い順に3件まで表示されます。



☞メモ

- 規制区間の規制情報とサイドマップ上の規制情報は異なる場合があります。

場所を探す

ナビゲーションの操作は、場所（行き先、立寄りなどの目的地）を探すことから始まります。目的地の地図を表示できれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴に300件まで保存されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば、高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 場所（施設など）を検索したときに、十字カーソルから少し離れた場所に旗のマークが表示されることがあります。そのような施設では、スクロールせずにそのまま目的地に設定すると、表示されている旗のマークの場所が目的地に設定されます。（駐車場ポイントリンク）

検索

地図で探す

地図を動かして、場所・地点・施設を探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的地の場所に十字カーソルを合わせる



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

名称で探す

探したい場所の名称をひらがなで入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込んで検索することもできます。

- 1 **(MENU)** を押し、**名称** にタッチする
- 2 行き先をひらがなで入力し、**候補表示** にタッチする



入力した名称に一致する候補のリストが表示されます。

3 目的地の施設にタッチする



選択した場所が表示されます。

メモ

- 入力した文字と名称検索データとの比較により、次に入力する文字が候補データにない場合は、文字がタッチできなくなります。また、候補件数が表示されます。
- 入力した名称の検索履歴がある場合、入力中に一瞥をタッチすると、予測履歴候補が表示されます。
- 並べ替えにタッチすると、リスト項目を近い順、50音順で並べ替えることができます。
- 一致順の検索結果を距離の近い順に並べ替え、最大10,000件表示します。

ジャンルやエリアで絞り込むときはジャンルやエリアを指定して、名称検索の結果を絞り込むことができます。

1 名称を入力し、ジャンルまたはエリアにタッチする



ジャンルまたはエリアのリストが表示されます。

2 絞り込みたいジャンルまたはエリアにタッチし、ポップアップメニューの候補表示にタッチする



絞り込んだ結果が一覧表示されます。

3 目的の施設にタッチする



メモ

- キーワードにタッチすると、ジャンルのキーワードを入力して候補を絞り込むことができます。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 1 (MENU) を押し、住所にタッチする
- 2 都道府県、市区町村名、(大字、小字)、丁目を指定する



3 番地、号を指定する



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

メモ

- 主要部にタッチすると、選んだ地域の代表地点が地図に表示されます。
- 番地入力にタッチすると、番地を入力できます。
- 探した施設の情報が複数収録されている場合は、情報が表示されます。一瞥にタッチすると、施設情報をリストで表示できます。

- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチすることにより、選択する駐車場を切り換えます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

- 1 **(MENU)** を押し、**電話番号** にタッチする
- 2 電話番号を入力する



電話番号を全桁入力すると自動的に検索をはじめます。

自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了** にタッチします。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます(090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- 携帯電話、短縮ダイヤルは対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。
- 登録地点に登録された電話番号でも、0以外から始まる電話番号や#のついた短縮ダイヤルは検索されません。
- 訪問宅(個人宅)の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村の代表地点が表示されます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフード、充電スポットを検索すると、営業時間が考慮され、利用できない施設は例のように表示されます(例:)。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

- リスト項目右側には、施設の詳細情報(アイコン)や施設までの距離などが表示されます(選んだ検索種別(タブ)や施設により、アイコンが表示されない場合もあります)。

- 駐車場あり: **P**
- ATMあり: **ATM**
- お酒の取り扱い(コンビニ): **酒**
- タバコの取り扱い(コンビニ): **たばこ**
- ドライブスルー(ファストフード):
- 距離情報(スクロール位置からの距離、自転車位置からの距離など)

- 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限(車種)」、「駐車制限(車両寸法)」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)

- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチすることにより、選択する駐車場を切り換えます。

検索

ジャンルで探す

ジャンルのリストから各種施設を探すことができます。

■検索できるジャンル

- 1 **(MENU)** を押し、**ジャンル** にタッチする
- 2 **ジャンル(大分類)** にタッチする



車・交通(タブ)	ガソリンスタンド、急速・普通充電スポット、急速充電スポット、普通充電スポット、カーディーラー、カー用品店、自動車修理・整備、駐車場、レンタカー、駅、バイク販売店、その他 車・交通
買う(タブ)	コンビニエンスストア、ショッピングモール、スーパーマーケット、ディスカウントストア、デパート、衣料品店、おもちゃ屋、ベビー用品店、家電店、携帯電話販売店、スポーツ用品店、ホームセンター、家具・インテリア店、リサイクルショップ、薬局、その他 買う
生活(タブ)	病院、学校、郵便局、ATM、都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他 金融機関、トイレ、住宅展示場、公共施設、冠婚葬祭、その他 生活

遊ぶ・泊まる(タブ)	観光スポット、宿泊施設、身障者用トイレのある宿泊施設、サウナ・健康ランド、ゴルフ場、ゴルフ練習場、キャンプ場、公園、水族館、動物園、遊園地、映画館、ボウリング場、体育館・アリーナ、トレーニングセンター、ペットと楽しむ施設、味覚狩り、巡礼、その他遊ぶ・泊まる
食べる(タブ)	ファストフード、ファミリーレストラン、身障者用トイレのあるレストラン、寿司屋、回転寿司店、うどん・そば店、パスタ店、ラーメン店、カレー店、中華料理店、焼肉・韓国料理店、喫茶店・カフェ、その他食べる
新規スポット(タブ)	追加データ

3 ジャンル(中分類)にタッチする



4 ジャンル(小分類)にタッチする



5 付近で探すまたは都道府県を指定して探すにタッチする



ジャンルで駅などを選択した場合は、**路線順で探す**が表示されます。

6 目的の施設にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

メモ

- ジャンルを絞り込んだ場合は、リスト項目先頭に表示される「**〇〇〇すべて**」を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- キーワードにタッチすると、ジャンルのキーワードを入力して候補を絞り込むことができます。
- 付近で探すにタッチすると現在地付近またはスクロール先付近で、**路線順で探す**または**都道府県を指定して探す**にタッチするとそれぞれのリストから検索の条件を指定できます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチすると、選択する駐車場を切り換えます。
- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフード、充電スポットを検索すると、営業時間が考慮され、利用できない施設は例のように表示されます(例:)。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報(アイコン)や施設までの距離などが表示されます(選んだ検索種別(タブ)や施設により、アイコンが表示されない場合もあります)。
 - 駐車場あり: **P**
 - ATMあり: **ATM**
 - お酒の取り扱い(コンビニ): **酒**
 - タバコの取り扱い(コンビニ): **たば**
 - ドライブスルー(ファストフード): **🚗**
 - 距離情報(スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など)
 - ルートに対して施設が右側か左側に位置するかのマーク(ルート案内中のみ)

- ・ 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限(車種)」、「駐車制限(車両寸法)」を考慮して検索されます。利用できない駐車場はと表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- ・ 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。

メモ

- ・ ジャンルを絞り込んだ場合は、リスト項目先頭に表示される「**〇〇〇すべて**」を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- ・ **キーワード**にタッチすると、やりたいことまたはジャンルのキーワードを入力して候補を絞り込むことができます。
- ・ **並べ替え**にタッチすると、道のり順または近い順で並べ替えることができます。
- ・ 道のり順の場合は、道のり前方約30 kmの範囲、かつ道のりの両側約200 m以内で検索を行い、最大50件表示します。
- ・ 近い順の場合は、自転車位置周辺の半径約10 kmまたは30 kmの範囲から検索を行い、表示します。
- ・ 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- ・ **▲前の施設**、**▼次の施設**にタッチすると、施設を送ることができます。
- ・ 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフード、充電スポットを検索すると、営業時間が考慮され、利用できない施設は例のように表示されます(例:)。 (営業時間考慮検索)
- ・ 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- ・ リスト項目右側には、施設の詳細情報(アイコン)や施設までの距離などが表示されます(選んだ検索種別(タブ)や施設により、アイコンが表示されない場合もあります)。
 - 駐車場あり：**P**
 - ATMあり：**ATM**
 - お酒の取り扱い(コンビニ)：**酒**
 - タバコの取り扱い(コンビニ)：**タバコ**
 - ドライブスルー(ファストフード)：
 - 距離情報(スクロール位置からの距離、自転車位置からの距離など)
 - ルートに対して施設が右側か左側に位置するかマーク(ルート案内中のみ)
- ・ 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限(車種)」、「駐車制限(車両寸法)」を考慮して検索されます。利用できない駐車場はと表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- ・ ルート案内中に検索したときは、前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。ルート案内中でないとき、またはスクロール位置で検索したときは、自転車位置または十字カーソル位置の半径約10 kmまたは約30 kmの範囲から検索されます。

検索

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探すことができます。

- 1 **メニュー**を押し、**周辺施設**にタッチする
- 2 **やりたいことから探す(タブ)** または **ジャンルから探す(タブ)** にタッチする



- 3 **やりたいことにタッチする、またはジャンルを絞り込む**



キーワードにタッチすると、やりたいことまたはジャンルのキーワードを入力して候補を絞り込むことができます。

- 4 **目的の施設にタッチする**



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

■周辺検索により表示されたロゴマークを消す

周辺施設を探すと、探したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したい場合は、以下のように操作します。

1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



2 周辺検索結果消去にタッチする



ロゴマークが消えます。

📌メモ

- **(MENU)** を押し、**周辺施設-結果消去** と操作することもできます。
- 車のエンジンスイッチをOFFにしても、ロゴマークを消去できます。

登録地・検索履歴から探す

登録されている場所や過去に検索したり目的とした場所から探すことができます。

- 1 **(MENU)** を押し、**登録地/履歴** にタッチする
- 2 目的の登録地または履歴にタッチする



登録地 (タブ) または **検索履歴** (タブ) にタッチするとリスト項目が切り替わります。以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

📌メモ

- **グループ名** にタッチすると、そのグループに属する登録地のリストを表示します。
- **並べ替え** にタッチすると、平日・土日祝日順 (検索履歴のみ)、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。
- 近い順の場合は、範囲を限定せず、全ての登録地を自転車から近い順に並べます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口** が表示され、タッチすると、選択する駐車場を切り換えます。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報 (アイコン) や施設までの距離などが表示されます (選んだ検索種別 (タブ) や施設により、アイコンが表示されない場合もあります)。
 - 駐車場あり: **P**
 - ATMあり: **ATM**
 - お酒の取り扱い (コンビニ): **酒**
 - タバコの取り扱い (コンビニ): **タバコ**
 - ドライブスルー (ファストフード): **ドライブスルー**
 - 距離情報 (スクロール位置からの距離、自転車位置からの距離など)
- 検索履歴 (タブ) のリスト項目には、検索した日時や現在地またはスクロール先からの距離が表示されます。

目的地ランキングから探す

訪問回数の多い上位10件の場所から探すことができます。

1 (MENU)を押し、目的地ランキングにタッチする



訪問回数の多い順に、場所のリストが表示されます。

2 目的の場所にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→P19の「ショートカットメニューの操作」

メモ

- 自宅はランキングの対象になりません。
- デモ走行による訪問は、訪問回数としてカウントされません。

詳細情報を見る

検索した場所や、地図上の施設や地点の詳細情報を見ることができます。また、目的地や立寄地を選ぶと、ルート情報を表示できます。

詳細情報を表示する

1 場所を探して**情報**にタッチする



詳細情報が表示されます。



メモ

- 周辺または同一家形内に複数の対象情報がある場合は、**一覧**にタッチするとリスト表示されます。
- 詳細情報が複数ページある場合は、**次ページ**にタッチして表示を切り換えます。
- **▲前の施設**、**▼次の施設**にタッチすると、施設を送ることができます。
- 電話番号データを収録している場合は、**発信**にタッチすると電話をかけることができます。
- 情報に画像が含まれている場合は、**画像**にタッチして画像を表示できます。
- **地図**にタッチすると、全画面の地図を表示できます。
- 駐車場満空情報またはガススタ価格情報の詳細情報を表示させると、検索した時点の詳細情報が表示されます。
- NAVI メニューの検索機能を使って表示させた地点の場合、以下の情報も表示されます。
 - 駐車場やATMなどのマーク
 - 混雑予測情報のテキスト情報
例) 12:00 ~ 混雑 3分程度
 - 駐車場(P)マークの色分け

マップクリップ(2次元バーコード)

現在地やスクロール地点の情報を、マップクリップ(2次元バーコード)に変換し、バーコードリーダー対応携帯電話で読み取って利用できます。また、ルート案内中の場合は、現在地と目的地などを選択して、ルート情報としてマップクリップに変換することもできます。

メモ

- 最大2地点の情報をマップクリップに変換できます。
 - ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もあります。
 - 2次元バーコードの読み取り方法は、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
 - 2次元バーコードで読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。(通信費はお客様負担となります。)
 - 有料会員の方は、地図の縮尺変更や移動ができます。
 - NTTドコモ：iMapFan(アイマップファン)月額300円(税別)※地図1画面の閲覧は無料
au/ソフトバンク：ケータイ地図MapFan月額300円(税別)※地図1画面の閲覧は無料
 - MapFan(iMapFan)、MapFan(ケータイ地図MapFan)とは、携帯電話で利用できる、地図検索サイトです。簡単な操作で、日本全国の詳細な地図をすぐに見ることができます。住所や駅名から検索したり、レストランやコンビニ、公共施設、トイレ、駐車場など、「この近くで探したい」場所を検索できます。
- ※iモード、EZweb、Yahoo!ケータイの公式メニュー内に登録されています。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更・中断・中止される場合があります。

検索

マップクリップに変換する

1 場所を探してマップクリップにタッチする



セントラルメニューを表示し、**情報**→**マップクリップ**と操作することもできます。

2 大、中、小にタッチして作成するマップクリップの範囲を指定する 選択したタッチキーは、インジケーターが点灯します。



	現在地を示します。
	スクロール地点を示します。
	目的地/立寄地を示します。

2地点を選択した場合は、携帯電話で2地点間の徒歩ルートが表示されます。また、以下の組み合わせ以外は選択できません。

- 現在地とスクロール地点
- 現在地と直近の立寄地(ルート有り時のみ)
- 現在地と目的地(ルート有り時のみ)

3 大、中、小にタッチして大きさを決める



4 携帯電話で2次元バーコードを読み取る

ルート探索と案内

探した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートを探ることができます。ルート探索結果は、一定の設定条件に基づき探索されたものです。探索条件の設定については→P64の「ルート探索条件の設定」

ルート案内のはじめかた

1 場所を探して「ここへ行く」にタッチする



探した場所の近くに有料道があるときは、一般道または有料道のどちらに面しているか確認する画面が表示される場合があります。すでにルートを設定している場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかを選択する画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探します。

ルートの探索が終了すると、案内開始画面が表示されます。

2 案内開始にタッチする



走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内は終了します。**案内開始**にタッチせずに走行を開始しても、ルート案内は行われます。

メモ

- 探索したルートをキャンセルしたい場合は、案内開始画面で**終了**にタッチします。

■案内開始画面の見かた

距離

選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間

目的地までの予想所要時間が表示されます。

料金

利用する有料道の料金が表示されます。

推定燃料費

使用する燃料費が推定で表示されます。

推定CO2排出量

渋滞を考慮しないルートと比較した場合のCO2排出量の増減率が推定で表示されます。

IC(インターチェンジ)表示

利用する有料道路の入口ICと出口ICが表示されます。それぞれのIC名をタッチすると、乗降ICを変更できます。

凡例表示

ルート上の渋滞混雑などの表示例を説明しています。

探索条件



ルート表示

メニュー表示

ルート確認	ルートをスクロールさせたり、ルートのプロフィールを見たりして確認・選択できます。
6ルート地図	目的地までのルートを最大6本、地図上で確認・選択できます。
6ルートリスト	目的地までのルートを最大6本、距離や所要時間、料金などで確認・選択できます。
ルート再探索	探索されたルートに、一時的に別の探索条件(ルート探索基準、有料道路使用条件、フェリー航路使用条件)を付加して再探索できます。
詳細設定	目的地までのルート上に、立寄り地、出発地、日時、乗降ICなどを指定・選択できます。

ルート確認機能および詳細設定機能は、ルート案内開始後にも操作できます。

☞メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ固定です。
- 料金非対応路線を含むルートの場合、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。
- 表示される料金は、ETC利用による各種料金割引サービスおよび首都高速・阪神高速のETC車料金には対応していません。また、本機で表示される距離とNEXCO各社が料金割引サービスの基準としている距離が異なることがあります。詳しくはNEXCO各社にお問い合わせください。
- 推定燃料費は、燃費・車両情報で車両情報の各項目と、燃料単価を設定している場合のみ表示されます。ただし、燃料単価のみ設定している場合は、平均的な車両情報に基づいて算出します。
→P109の「燃費・車両設定」
- エコなルートは、6本のルート探索が行われ選んだルートの燃料消費量が最少だった場合に表示され、推定燃料費、推定CO2排出量が強調表示されます。
- 通常のルート探索では、渋滞予測情報を考慮して複数のルートを探索します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択できます。→P65の「渋滞の考慮方法を設定する」
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」、「フェリー航路使用条件」の探索条件に従ったルートになります。
- 有料道路を走行中にルートの再探索を行った場合、料金の前払いなどですでに支払った料金があるときは、元ルートの料金はその料金を差し引いた金額が表示されます。
- 走行距離に応じて料金が変化する有料道路を走行中にルート変更を行った場合、料金が「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路の入口IC/出口ICを通過した直後にルート探索/案内を行うと、すでに通過したICが表示される場合があります。
- 有料道路の支払いシステムによっては、料金が正しく表示されない場合があります。

ルート案内中の現在地画面

到着予想時刻 目的地までの距離 ルートインフォメーション



案内中のルート

方面看板 レーン情報

メモ

- 案内中のルートは、一般道は緑色で有料道は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所により道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻に表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。また、渋滞予測と渋滞情報を考慮させた時刻で表示することもできます。→P65の「渋滞の考慮方法を設定する」
- 立寄地に滞在時間を設定している場合、目的地までの到着予想時刻は、未通過の立寄地の滞在時間が考慮された時刻で表示されます。
- ルート案内中にデモ走行を行うと、経過時間はリセットされます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向、および交差点名が表示されます。また、左側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点により、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。また、案内地がフェリーターミナルの場合は、“フェリーターミナル”と表示されます。
- 次に通過する交差点のレーン情報、方面看板がルートインフォメーション下に表示されます。交差点により情報が表示されない場合があります。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが一般道は緑色、有料道は青色で表示されます。推奨の誘導レーンは緑色に黒の矢印で表示されます。方面看板表示は、誘導中の進行方向が緑色で表示されます。
- 距離・到着予想時刻は、目的地または立寄り地で切り換えることができます。
- 経過時間は、99時間59分まで表示されます。
- 案内中の案内音声や表示内容を、必要最小限にできます。→P60の「サイレントガイドについて」
- 案内中の案内音声をシンプルにできます。→P67の「ルート案内時の設定」
- エコステータスを表示するには、「パラメーター設定」が必要です。→P109の「燃費・車両設定」

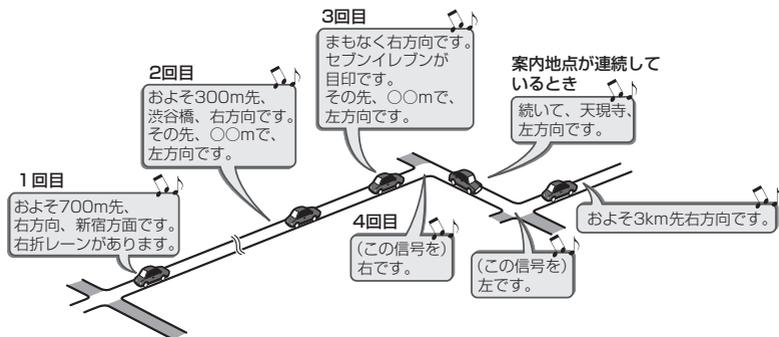
■一般道の案内画面の見かた

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

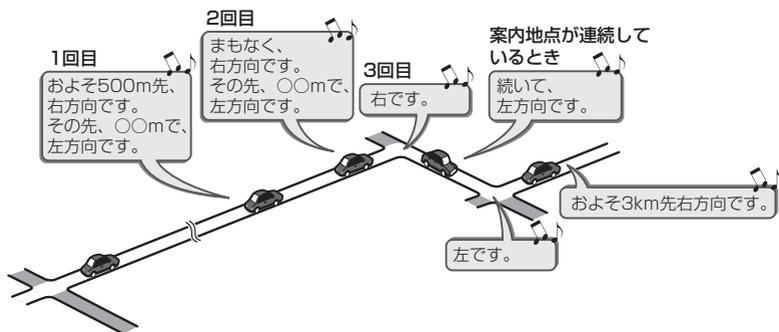
メモ

- シンプルガイド時は、案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内されません。→P70の「一般道シンプルガイドを設定する」

通常時



シンプルガイド時



■有料道の案内画面の見かた

ルート上の有料道分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

出口施設

出口の情報(料金や距離、予想到着(通過)時刻)を表示することができます。

案内中のルート

有料道は、明るい青色で表示されます。



渋滞マーク

自車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)が表示されます。

規制マーク

自車位置に最も近い規制情報が表示されます。

メモ

- 料金表示は、車両設定により中型車、普通車、軽自動車に切り換えができます。→P112の「その他車両情報を設定する」
- 料金案内では、有料道に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。



サイレントガイドを使うには、ルート探索前に設定を行う必要があります。→P71の「オートサイレントガイドを設定する」

メモ

- サイレントガイドで誘導中は、画面下部にが表示されます。
- サイレントガイドの地図画面は、2D(ノーマルビュー)と3D(スカイビュー)から選ぶことができます。

- サイレントガイド中でも別ルートへの案内(ルートアドバイザー)やオートリルート、駐車場マップやビーコン割り込み情報(ETC2.0ユニット接続時)の表示は行われます。

ルート案内中の機能について

■ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

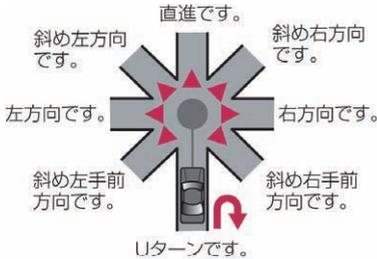
メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。
- オートリルートが働くと、探索されたルートはオートリルート履歴に保存され(最大300件)、ルートアドバイザーで使用されます。300件を超えた場合は、使用されていない履歴から順番に消去されます。

- ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください。

■進行方向の案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。進行方向(8方向)は、以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
方面案内	およそ〇〇m先、左方向、練馬方面です。
有料道入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。〇〇が目印です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

■メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機にアンテナ分離型ETCユニット「EP-8312B/S」(別売)、「EP-7314B/BRK」(別売)またはETC2.0対応ユニット「EP-A015SB」(別売)を接続する必要があります。

■都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくと、イラストが表示されます。



■有料道の分岐に近づくと

ルート上の有料道分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



また、都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。場所により、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



■メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- 分岐方面看板は、サイドマップ(右画面)に表示されます。

ETCレーン案内表示について

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。



ON	有料道の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
OFF	ETCレーン案内は表示されません。

有料道の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。

メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

ルート

メモ

- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 別売のETCユニットやETC2.0対応ユニットを接続している場合は、料金表示などを行うことができます。→P234の「ETCユニット」
- ETCレーン案内表示は、ETCユニットが接続されていなくても表示されます。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

ETCレーン案内表示を設定する

有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする
- 2 **ETCレーン案内表示**にタッチする



- 3 **ON**または**OFF**にタッチする



ルート案内の中止

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

ルートを消去して案内を中止させる

1 **MENU** を押し、**ルート** にタッチする



2 **消去** (はい) にタッチする



案内中のルートが消去されます。

メモ

- ルート編集メニューまたはルート情報メニューからも操作できます。
- 消去されたルートは復活できません。

ルート探索条件の設定

本機のルート探索の条件を設定できます。

ルート探索の基準を設定する

ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。工場出荷時は「推奨」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集機能設定** にタッチする
- 2 **ルート探索基準** にタッチする



- 3 設定したい項目にタッチする



推奨	信号機の数が多く、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
エコ優先	推定燃料費が少なくなるようなルートが探索されます。
幹線優先	幹線道路を優先してルートが探索されます。

メモ

- 幹線優先時の高速道路の使用は、「有料道路使用条件」の設定が「標準」の場合に行われます。
- エコ優先は、燃費・車両情報設定の各情報から、推定消費燃料を考慮してルート探索します。車両情報が登録されていない場合は、標準的な車両を想定して算出されます。
→P109の「燃費・車両設定」

有料道の考慮方法を設定する

ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。

工場出荷時は「標準」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集機能設定** にタッチする
- 2 **有料道路使用条件** にタッチする



- 3 設定したい項目にタッチする



標準	有料道が標準的な基準でルート探索されます。
回避	有料道を回避したルートが探索されます。

メモ

- 有料道路使用条件を「回避」に設定しても、有料道を利用する探索結果を表示する場合があります。

フェリー航路の考慮方法を設定する

ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。

工場出荷時は「標準」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **フェリー航路使用条件** にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



標準	フェリー航路を標準的な基準で使うルートが探索されます。
優先	フェリー航路を優先的に使うルートが探索されます。
回避	フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習したルートの考慮方法を設定する

本機は自動的に、よく使う道を、過去に通った曜日別(平日、土日祝日の別)に記憶します。この学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **学習ルート探索** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	学習したルートを考慮します。
OFF	学習したルートを考慮しません。

渋滞の考慮方法を設定する

渋滞情報が取得できているときは、その情報を考慮してルート探索ができます。

工場出荷時は「渋滞情報・天気考慮渋滞予測」です。

メモ

- FM多重放送の渋滞情報のみ取得しているときは、規制情報のみが考慮されます。
- 実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- 本機能を**考慮しない**に設定しても、交通規制情報は考慮されます。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **渋滞考慮ルート探索** にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



渋滞情報・渋滞予測	渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報のみ	渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
考慮しない	規制情報のみを考慮してルートが探索されます。

時間規制の考慮方法を設定する

日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。

工場出荷時は「ON」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **時間規制考慮ルート探索** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	時間規制の情報を考慮してルートが探索されます。
OFF	時間規制の情報を考慮しません。

メモ

- 時間規制は出発時刻を元に考慮します。

スマートICの考慮方法を設定する

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことです。スマートIC考慮ルート探索を「ON」に設定している場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索します。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- 簡単セットアップの「ETC/ETC2.0取付状態設定」で「車に取り付けている」を選択した場合、スマートIC考慮ルート探索の設定は、自動的に「ON」になります。
- スマートIC考慮ルート探索では、ルート探索を行った時点での時刻を基準にしているため、実際にスマートICを通過するときには営業時間外であったり、通過時には営業していてもルート探索時には対象外となる場合があります。その場合は実際のスマートICの状況に従ってください。
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **スマートIC考慮ルート探索** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	スマートICを考慮してルートが探索されます。
OFF	スマートICを考慮しません。

ルート案内時の設定

ルート案内中の画面や音声の設定、操作ができます。

到着予想時刻表示を設定する

ルート案内時の到着予想時刻表示を、目的地（立寄り地）までの距離・予想到着時刻にするか、出発時刻・経過時間にするかを設定します。

工場出荷時は「目的地（到着時刻・残距離）」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **到着予想時刻表示** にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



目的地(到着時刻・残距離) 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

立寄り地(到着時刻・残距離) 次の立寄り地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

出発時刻・経過時間 出発時刻および現在までの経過時間が表示されます。

地図画面に表示されている [到着予想時刻表示] にタッチすると、表示を「目的地(到着時刻・残距離)」→「立寄り地(到着時刻・残距離)」→「出発時刻・経過時間」の順に一時的に切り換えることもできます。

メモ

- 目的地に到着すると、到着予想時刻は出発時刻と到着までの経過時間を表示します。

到着予想時刻の算出車速(一般道)を設定する

渋滞考慮ルート探索の設定を「渋滞情報のみ」または「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

工場出荷時は「30 km/h」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **到着予想時刻速度 (一般道)** にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



20 km/h	平均速度 20 km/h として到着予想時刻が計算されます。
30 km/h	平均速度 30 km/h として到着予想時刻が計算されます。
40 km/h	平均速度 40 km/h として到着予想時刻が計算されます。
50 km/h	平均速度 50 km/h として到着予想時刻が計算されます。
60 km/h	平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻の算出車速(有料道)を設定する

渋滞考慮ルート探索の設定を「渋滞情報のみ」または「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。工場出荷時は「80 km/h」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 **到着予想時刻速度(有料道)** にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



60 km/h	平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。
80 km/h	平均速度 80 km/h として到着予想時刻が計算されます。
100 km/h	平均速度 100 km/h として到着予想時刻が計算されます。

案内地に近づく

案内地の手前約 300 m (シンプルガイド時は約 500 m) に近づく、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

ドライバーズビュー



拡大図



アローガイド



メモ

- 「拡大図」に設定している場合、目印になる施設がある場合は、ランドマークが強調表示されます。「アローガイド」の場合は、強調表示されませんが、目印であることを知らせる表示が出ます。
- 進行方向に立体交差になる側道がある場合、交差点拡大図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示される場合があります。
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークやランドマークが表示されます。
- サイレントガイドで案内中は、交差点案内表示は表示されません。→P71の「オートサイレントガイドを設定する」
- 都市高速道路の入口手前約 300 m に近づくと、イラストが表示されます。

交差点案内時の表示ビューを設定する

一般道のルート案内時に表示される交差点案内の種類を設定します。

工場出荷時は「ドライバーズビュー」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**機能設定** にタッチする

2 交差点案内表示にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



ドライバーズビュー 交差点付近をドライバーズビューで表示します。

拡大図 平面的な交差点拡大図で表示します。

アローガイド 進行方向を見やすい矢印で表示します。

オートフリーズームを設定する

オートフリーズームとは、ルート案内中に次の案内地点が地図に表示されるよう、現在地と次の案内地の距離を考慮して地図スケールを自動的に変化させる機能です。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されることがあります。案内地点に近づくと、適切なスケールに変更されます。
- オートフリーズーム中にスケール変更の操作をすると、オートフリーズームは一時停止します。案内地点が近づいた場合、または現在地画面で「**現在地**」を押すと、オートフリーズームが再開します。
- 目的地付近で本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、地図は登録されたスケールで表示されます。
- ドライバーズビュー（左画面）、ツインビュー（右画面）、サイレントガイドのときは動作しません。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 オートフリーズームにタッチする



3 設定したい項目にタッチする



100 mスケール 自動的に100 mスケールまで地図スケールを切り換えます。

50 mスケール 自動的に50 mスケールまで地図スケールを切り換えます。

OFF オートフリーズームを行いません。

エコ運転評価案内を設定する

エコ運転評価案内とは、目的地に到着して案内が終了すると、ルート案内中の運転操作から前回と今回のeスタート率、一定速度率、アイドル率を比較したエコ運転評価の結果を表示させる機能です。

工場出荷時は「ON」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 エコ運転評価案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

結果は以下のように表示されます。



詳細	エコステータス詳細画面を表示します。
終了	エコ運転評価案内を終了します。

料金案内を設定する

ルート案内時に、音声を使った料金に関する案内を設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 MENU を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 料金案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を案内します。
OFF	料金を案内しません。

信号機ジャスト案内を設定する

信号機ジャスト案内とは、ルート案内中、信号機にさしかかる直前に音声を使って案内を行う機能です。
→P61の「進行方向の案内」
工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 一般道シンプルガイドの設定が「OFF」のときに操作できます。

1 MENU を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 信号機ジャスト案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	音声案内します。
OFF	音声案内を行いません。

一般道シンプルガイドを設定する

一般道シンプルガイドとは、通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行う機能です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 MENU を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 一般道シンプルガイドにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
OFF	シンプルガイドを行いません。

メモ

- シンプルガイド時は、案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内されません。

オートサイレントガイドを設定する

ルート案内を開始した時点で、自動的にサイレントガイド(→P60)で案内を行うかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 オートサイレントガイドにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	次回新規ルート探索もしくは再探索時に、自動的にサイレントガイドを開始します。
OFF	次回新規ルート探索もしくは再探索時に、サイレントガイドを開始しません。

メモ

- サイレントガイド中は、ハイウェイモード、ETCレーン案内、交差点案内などの各表示は行われません。
- サイレントガイド中に次の案内地点を確認したい場合は、ルートインフォメーションの矢印にタッチすると、音声や画面表示で案内されます。→P58の「ルート案内中の現在地画面」
- カスタムに「サイレントガイドをON/OFFする」機能を割り当てておくことで、ルート案内中にサイレントガイドをON/OFFできます。
- オートサイレントガイドがOFFの状態ではルート探索(オートリルートを除く)を行うと、サイレントガイドはOFFになります。

サイレントガイドアングルを設定する

サイレントガイドのアングルを設定します。工場出荷時は「2D」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 サイレントガイドアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイレントガイドの地図画面がノーマルビューで表示されます。
3D	サイレントガイドの地図画面がスカイビューで表示されます。

ルートアドバイザーを設定する

ルートアドバイザーとは、ルート案内中に渋滞や通行止めなどの交通情報やリルート履歴を考慮して、新しい候補ルートを提供する機能です。新しいルートが見つかったと、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、**新ルート**と**元ルート**にタッチして選択できるようになります。新しい候補ルートを提供する場合に、どんな情報を考慮するかを設定します。工場出荷時は「すべて考慮」です。

1 (MENU)を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 ルートアドバイザーにタッチする



3 設定したい項目にタッチする



すべて考慮	渋滞/通行止め情報と過去のリルート履歴を考慮してオートリルートを行います。
渋滞考慮のみ	渋滞/通行止め情報のみを考慮してオートリルートを行います。

OFF 通行止め情報のみを考慮してオートリルートを行います。

メモ

- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 別の候補ルートがない場合は、**新ルート**と**元ルート**の選択画面は表示されません。
- 渋滞情報が取得できているときは、取得した渋滞情報を考慮します（渋滞考慮）。FM多重放送の渋滞情報のみ取得しているときは、規制情報のみが考慮されます。
- 新ルート**と**元ルート**の選択画面で、どちらもタッチしなかった場合は、設定した項目を自動的に選択します。→P72の「ルートアドバイザー—自動決定ルートを設定する」
- ルートアドバイザーは、ルート上に次のような情報があつた場合に提案されます。
 - オートリルート履歴が見つかった場合
 - VICS情報により、渋滞情報や規制情報が見つかった場合（渋滞考慮）
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- 渋滞情報や規制情報の更新によるルートアドバイザーは、「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れますが、提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

ルートアドバイザー自動決定ルートを設定する

ルートアドバイザーが機能して新ルートと元ルートの選択画面になった際、どちらも選ばなかった場合に自動的に決定するルートを設定します。工場出荷時は「元ルート」です。

1 (MENU)を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 ルートアドバイザー自動決定ルートにタッチする



3 元ルートまたは新ルートにタッチする



元ルート	元ルートを選択します。
新ルート	新ルートを選択します。

リクエスト案内を設定する

リクエスト案内とは、ルート案内中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地(最大5地点まで)の音声案内と地図表示を行う機能です。リクエスト案内時の案内方法は、音声のみ、または音声と地図表示のどちらかを選択できます。工場出荷時は「音声案内・地図表示」です。

1 (MENU) を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 リクエスト案内にタッチする



3 音声案内・地図表示または音声案内にタッチする



音声案内・地図表示	音声と地図を使い次の地点を案内します。
音声案内	音声のみで次の地点を案内します。

オートパーキングメモリー (駐車場履歴) について

オートパーキングメモリーは、目的地や立寄地の付近でエンジンを停止したときに、その地点をその施設の駐車場として認識し、自動的に記録する機能です。次回、同じ場所にルートを探索した場合、その地点までルート探索します。

メモ

- 目的地や立寄地付近でエンジンを停止させなかった場合や、エンジンを停止する前にルートを消去した場合は保存されません。
- 駐車場履歴は、999件まで保存され、1つの施設につき最大8カ所の入口情報が登録されます。新しい履歴が発生した場合は一番古い物から順に置き換えられます。
- すでに8カ所が登録されていて、そのすべてを不使用に指定した場合、新しい履歴を登録することはできません。
- 条件により、交差点近くの駐車場の場合や、駐車場で35 km/h以上の速度で走行した場合などでは、履歴として保存されない場合があります。
- 目的地や立寄地付近にある別の施設でエンジンを停止させると意図しない場所が駐車場として記録される場合があります。
- 駐車場マップが登録されている駐車場でルート探索を行うと、駐車場の出口を起点としたルートが探索されます。駐車場マップが登録されていない駐車場の場合は、駐車場出口位置が、あらかじめ整備されている施設を目的地としてルート案内を行い、目的地到着後にルート探索を行うと、出口からのルートが探索されます。ただし、状況によっては出口からのルート探索が行われない場合もあります。
- 駐車場履歴は、複数の入口からルート探索に使用する入口を指定したり、使わない入口のデータを不使用にできます。→P100の「オートパーキングメモリー (駐車場履歴) の編集」

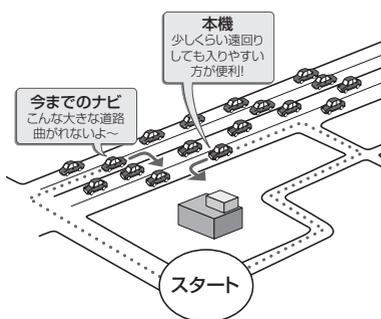
右左折考慮オートパーキングメモリーについて

オートパーキングメモリーに記憶される情報は、以下の3種類があります。

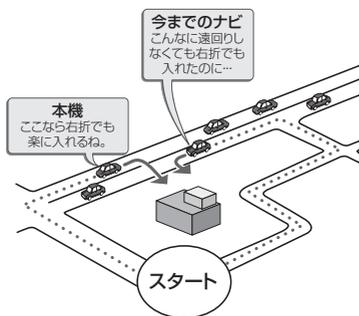
- 左折でのみ進入した施設
- 右折でのみ進入した施設
- 右折、左折の両方で進入した施設

本機は、これらの情報をもとに施設へ最も簡単に進入できるルートを探査します。そのため、出発地から目的の施設までの道路条件や位置関係により遠回りのルートになる場合があります。

■左折のみで進入したことがある施設を目的地にした場合



■右折のみまたは右左折の両方で進入したことがある施設の場合



メモ

- 1つの施設に登録された最大8カ所の入口情報すべてに対して、右折のみ、左折のみまたは右左折両方で進入したかを記憶します。

オートパーキングメモリーを設定する

自動的に認識した駐車場入口データを保存し、次回同じ場所にルート探索を行った場合、その保存データを利用して、ルート探索を行うかの設定をします。

工場出荷時は「ON」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** 機能設定にタッチする

2 **オートパーキングメモリー** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	オートパーキングメモリーを使用します。
OFF	オートパーキングメモリーを使用しません。

ルート情報

案内中のルートは、いろいろな方法で確認できます。確認内容により、セントラルメニューの**ルート**やルート編集メニューからも操作できるものがあります。また、ルート案内開始画面から、あらかじめ確認することもできます。

ルートスクロールを使う

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、ルートを確認できます。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **ルート情報** にタッチする
- 2 **ルート確認** - **ルートスクロール** にタッチする



- 3 ルートをスクロールさせて確認する



	1つ前の立寄地（出発地）や乗降ICを表示します。
	後方へ自動スクロールします。
	自動スクロールを停止します。
	前方へ自動スクロールします。
	1つ先の立寄地（目的地）や乗降ICを表示します。

自動スクロール中に走行を開始すると、一定区間自動スクロールを行ったあと自動スクロールを停止します。

メモ

- 案内開始画面からルートスクロールで確認した場合は、案内開始が表示され、タッチするとルート案内を開始できます。また、ルート探索した時点より30分以上後の出発時刻指定（または日時指定）を行ったルートを確認した場合は、プラン登録が表示され、タッチするとドライブプランとしてプランリストに登録されます。→P86の「ドライブプラン」

ルートプロフィールを使う

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道を使用する場合の料金などを確認できます。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **ルート情報** にタッチする
- 2 **ルート確認** - **ルートプロフィール** にタッチする



- 3 ルートプロフィールを確認する



メモ

- 案内開始画面からルートプロフィールを確認した場合は、案内開始が表示され、タッチするとルート案内を開始できます。また、ルート探索した時点より30分以上後の出発時刻指定（または日時指定）を行ったルートを確認した場合は、プラン登録が表示され、タッチするとドライブプランとしてプランリストに登録されます。→P86の「ドライブプラン」

デモ走行を使う

設定したルートを手ナビ画面上で擬似走行させて、ルートを確認できます。

メモ

- デモ走行は終了操作を行うまで繰り返し走行します。ただし、実際の走行を開始した場合は、デモ走行を終了します。

1 MENU を押し、情報—ルート情報にタッチする

2 ルート確認—デモ走行にタッチする



地図画面に戻り、デモ走行が開始されます。



デモ走行を終了する

1 デモ走行時に、デモ中にタッチする



2 はいにタッチする



デモ走行を終了します。

ルート地図を使う

立寄地を指定した場合など、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。ルート地図画面では、地図をスクロールしたり、スケールを変更しながらルートを確認したりできます。

1 場所を探してここへ行く—立寄地にタッチする

2 ルート地図にタッチする



ルート地図画面が表示されます。



メモ

- 道塗り切換にタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にできます。
- 戻るにタッチすると、案内開始画面に戻ります。

6ルート地図を使う

現在のルートとは異なる探索条件のルートを6ルート地図から選ぶことができます。

メモ

- 立寄地や乗降ICが指定されていた場合、探索されるルートは1本のみとなり、6ルート地図での確認はできません。また、ルート再探索で時間・エコいずれかのブースト探索を行った場合も、6ルート地図での確認はできません。これらの場合は、ルート地図での確認になります。→P76の「ルート地図を使う」
- 推奨ルートは最短時間になるルートとは限りません。
- 最大6本の候補ルートの中から選ぶことができます（候補ルートが同じになる場合もあります）。
- 探索されたルートにより、それぞれ以下のマークが表示される場合があります。
 - 短**：最も距離が短いルート
 - 早**：最も所要時間の短いルート
 - ￥安**：最も料金の安いルート
 - eco**：最もecoなルート
 - ￥0**：料金がかからないルート
 ecoルートについては、車両情報や燃料単価の情報が登録されているなどの表示条件が整った場合にのみ表示されます。

1 場所を探して「ここへ行く」にタッチする

2 6ルート地図にタッチする



3 1～6の番号にタッチする



地図上でルートが切り換わり、それぞれの距離や料金などの情報も表示されます。
地図操作にタッチすると、スケール変更やスクロールをしてルートを確認できます。



また、「候補切換」にタッチすることによりルートが切り換わり、「戻る」にタッチすると選んだルートに設定します。



メモ

- 案内開始にタッチすると、選んだルートで案内を開始します。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 道塗りにタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にできます。

6ルートリストを使う

現在のルートとは異なる探索条件のルートを6ルートリストから選ぶことができます。

メモ

- 推奨ルートは最短時間になるルートとは限りません。
 - 最大6本の候補ルートの中から選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
 - 探索されたルートにより、それぞれ以下のマークが表示される場合があります。
 - mm短**：最も距離が短いルート
 - 🕒早**：最も所要時間の短いルート
 - ¥安**：最も料金の安いルート
 - eco**：最もecoなルート
 - ¥0**：料金がからからないルート
- ecoルートについては、車両情報や燃料単価の情報が登録されているなどの表示条件が整った場合に表示されます。

ルート

1 場所を探してここへ行くにタッチする

2 6ルートリストにタッチする



ルートごとに距離や時間、料金が表示され、ルートの内容を比較できます。

3 1～6の番号にタッチする

1	推奨 有料標準	213km	3時間24分	4,510円	1,780円	3.7%削減
2	推奨2 有料標準	303km	4時間24分	6,930円	2,310円	25.3%増加
3	eco CO2 推奨	216km	5時間57分	0円	1,610円	12.7%削減
4	推奨2 有料標準	219km	6時間11分	0円	1,640円	10.8%削減
5	エコ優先 有料標準	206km	4時間15分	2,510円	1,630円	11.4%削減
6	eco 推奨優先 有料標準	228km	3時間20分	5,950円	1,840円	全なし

選んだルートに決定し、案内開始画面に戻ります。

メモ

- 距離、所要時間、料金、推定燃料費、推定CO2排出量がそれぞれ最小になるルートの項目が色分けされて強調表示されます。

ルート編集

確認内容により、セントラルメニューの**ルート**やルート情報メニューからも操作できる場合があります。また、ルート案内開始画面から、あらかじめ編集できるものもあります。

案内中のルートに別の探索条件を設定する

案内中のルートに、一時的に別の探索条件を付加して再探索できます。

メモ

- すでに通過した立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

1 MENU を押し、設定・編集—ルート編集にタッチする

2 ルート再探索にタッチする



3 変更したい探索条件にタッチする



ルート探索基準 Standard	推奨、エコ優先、幹線優先から選択します。
ルート探索基準 Extra	タイムブースト、エコブーストから選択します。
有料道路使用条件	標準、回避から選択します。
フェリー・航路 使用条件	標準、回避、優先から選択します。

4 探索開始にタッチする

ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- タイムブーストにタッチすると、「推奨」よりもさらに時間を優先してルート探索します。
- エコブーストにタッチすると、「エコ優先」よりもさらにエコの条件を優先してルート探索します。
- 「タイムブースト」または「エコブースト」によるルート探索の本数は、1本のみです。
- 探索条件に関しては、案内開始画面表示時の記載を参照してください。→P64の「ルート探索条件の設定」

案内中のルートとは別のルートを探る

案内中のルート（元ルート）とは異なるルート（新ルート）を探るできます。

1 MENU を押し、設定・編集—ルート編集にタッチする

2 別ルートにタッチする



3 新ルートまたは元ルートにタッチする



選んだルートで案内が開始されます。

メモ

- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 別の候補ルートがない場合は、ルートの探索はできません。
- 別ルートの探索後、何も操作しないでしばらく走行するか、何らかの操作で別な画面に切り換わった場合は、機能設定に従ったルートが選ばれます。→P72の「ルートアドバイザー自動決定ルートを設定する」ただし、ルートから外れた場合は「元ルート」に戻ります。
- 自転車位置がルート上に無い場合、または目的地までの到着予想時刻を計算中の場合は、ルートの探索はできません。

ルートに立寄地を追加する

立寄地を追加して、その場所を経由するルートを探求できます。

1 MENU を押し、設定・編集—ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 立寄地指定—追加にタッチする



4 立寄地の場所を探して、決定にタッチする



5 探索開始にタッチする



指定した立寄地を経由するルートが1本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- 立寄地は最大5カ所まで指定できます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地は自動的に削除されます。
- 立寄地を追加するときは、手順3、手順4を繰り返します。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみです。

立寄地の順番を並べ替える

経由する立寄地の順番を、条件を設定して並べ替えることができます。

1 MENU を押し、設定・編集—ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 立寄地指定—並べ替えにタッチする



4 並べ替える条件にタッチする



距離順 (立寄地のみ)	地点間ごとの直線距離を算出し、その合計が最小となる順番に並べ替えます。
距離順 (すべて)	目的地を含め、地点間ごとの直線距離を算出し、その合計が最小となる順番に並べ替えます。
マニュアル	経路する順番を指定して、並べ替えます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は並べ替えできません。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみです。

立寄地を削除する

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **ルート編集** にタッチする
- 2 **詳細設定** にタッチする



- 3 **立寄地指定** - **削除** にタッチする



4 削除する立寄地にタッチする



選んだ立寄地には チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

- 5 **消去** - **はい** にタッチする

選んだ立寄地が消去されます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は削除できません。
- 目的地のみを消去したい場合は、立寄地の順番をマニュアルで入れ替えてから削除してください。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみです。ただし、立寄地が1つもない場合は、ルートは6本になります。

目的地や立寄地、出発地の情報を確認する

目的地や立寄地、出発地に詳細情報がある場合は、選んだ地点の詳細情報を表示できます。

メモ

- 電話番号データを収録している場合は、**発信** にタッチすると電話をかけることができます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **ルート編集** にタッチする
- 2 **詳細設定** にタッチする



- 3 リスト項目 (立寄地や目的地、出発地) にタッチし、**情報** にタッチする



選んだ地点の詳細情報が表示されます。

立寄地の滞在時間を設定する

目的地、立寄地の滞在時間を設定できます。

メモ

- 目的地、立寄地を編集すると、ドライブプランとしてプランリストに登録される場合があります。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **ルート編集** にタッチする

- 2 **詳細設定** にタッチする



- 3 リスト項目 (立寄地や目的地) にタッチし、**滞在時間** にタッチする



- 4 滞在時間を入力し、**入力終了** にタッチする



選んだ目的地、立寄地に滞在時間が設定され、詳細設定画面に戻ります。

メモ

- リスト右側には、滞在時間が設定されたことを示すマークと滞在時間が表示されます。
- 滞在時間の設定を解除するには、滞在時間を「00時間00分」と入力します。
- 探索されるルートの本数は1本のみです。

出発地を指定する

自転車位置ではなく、指定した出発地からルートを探索できます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **ルート編集** にタッチする

- 2 **詳細設定** にタッチする



- 3 **出発地指定** にタッチする



4 出発地の場所を探して、決定にタッチする



2 詳細設定にタッチする



5 探索開始にタッチする



案内開始画面が表示されます。

メモ

- 出発地の指定を解除するには、詳細設定画面の**出発地解除** **はい**にタッチします。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、立寄地を設定している場合、探索されるルートの本数は1本のみです（ドライブプランの条件となった場合も、探索されるルートの本数は1本のみです）。

3 日時指定—編集にタッチする



4 日にちを選んでタッチする



日時を指定する

探索したルートで走行する日時を指定できます。日時を指定すると、ドライブプランとしてプランリストに登録されます。→P86の「ドライブプラン」

メモ

- 指定した出発時刻が現在の時刻から30分以内の場合、通常のルート探索と同様となり、すぐに案内が開始されます。

<<前月	次月>>	カレンダーを月送りします。
今月		カレンダーを今月にします。
今日		作成日当日を指定します。

5 出発時刻または到着時刻にタッチする



1 (MENU)を押し、設定・編集—ルート編集にタッチする

6 時刻を入力し、**入力終了**にタッチする



3 乗降IC指定にタッチする



7 探索開始にタッチする



ドライブプラン時刻候補選択画面が表示されます。プランを確認し、**決定**にタッチすると案内開始画面が表示されます。

メモ

- 日時の指定を解除するには、詳細設定画面の**日時指定解除**（はい）にタッチします。
- 探索されるルートの本数は1本のみです。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道を使うルートを設定した場合は、入口と出口のICを指定できます。

メモ

- 途中で乗り降りするICは指定できません。

1 (MENU)を押し、**設定・編集**—ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



4 入口IC指定または**出口IC指定**にタッチする



5 指定するICにタッチし、**決定**にタッチする



指定したICを通るルートが探索されます。

メモ

- 案内開始画面やルート編集画面で、入口IC名または出口IC名にタッチしても、乗降ICを指定できます。→P57の「案内開始画面の見かた」
- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐できる路線名称が表示されます。
- スマートIC考慮ルート探索の設定がOFFの場合、スマートICは表示されません。
- スマートICを乗降ICに指定したドライブプランを実行または編集しようとした場合、スマートIC考慮ルート探索の設定をOFFにしていると乗降IC指定が解除されます。→P86の「ドライブプラン」
- 探索されるルートの本数は1本のみです。

乗降IC指定を解除する

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**ルート編集**にタッチする
- 2 **詳細設定**にタッチする



- 3 **乗降IC指定**にタッチする



- 4 **指定解除**にタッチする



- 5 **入口・出口/入口/出口**を選んでタッチし、**はい**にタッチする



選んだ乗降ICの指定が解除されます。

メモ

- 案内開始画面で、入口IC名または出口IC名にタッチしても、乗降ICを解除できます。
→P57の「案内開始画面の見かた」

立寄地をキャンセルする

次に登録された立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合など、立寄地を通過済みとしてルートを再探索できます。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**ルート編集**にタッチする
- 2 **立寄地送り**にタッチする



次の立寄地を通過済みとして、ルートが再探索されます。

メモ

- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみです。

ルート

ドライブプラン

ドライブの計画(出発日時、目的地、立寄地、滞在時間など)を、事前に作成しておくことができます。目的地に向かうための出発時刻の目安を知ることができます。

ドライブプランの作成について

ルート作成時、ドライブプランとしての条件を設定すると、探索したルートがドライブプランとして作成でき、プランリストに登録できます。

■ドライブプランとして登録できる条件

以下のいずれかの条件に当てはまる場合、ドライブプランとなります。

- 出発時刻または到着時刻を設定している
- 立寄地または目的地の滞在時間を設定している

☞メモ

- 出発・到着時刻や滞在時間の設定は、ルートを編集して行います。
→P83の「日時を指定する」
→P82の「立寄地の滞在時間を設定する」
- 出発地から目的地までの全行程が24時間以上かかる場合は、ドライブプランとして登録できません。
- プランリストに登録されたドライブプランは、あとから編集できます。
- 設定した出発時刻が作成時点より30分以内の場合は、**プラン登録**ではなく**案内開始**となり、すぐに実行されます。
- 到着時刻の指定(→P83の「日時を指定する」)を行っている場合は、指定した時刻に対して到着または滞在できない場合に、以下のマークが表示されます。
 - 指定時刻後到着見込み: 
- 営業時間情報のある施設で、営業時間に対して早く到着する場合や到着または滞在できない場合に、それぞれ以下のマークが表示されます。
 - 営業時間前到着見込み: 
 - 営業時間外到着見込み: 
- ドライブプラン登録後に地図データの更新を行うと、ドライブプランの目的地や立寄地の画像情報が失われる場合があります。

ドライブプランを実行する

出発時刻・到着時刻を指定して作成したドライブプランは、指定した出発時刻から30分以内であれば通常のルート探索と同様に実行されますが、指定した出発時刻から6時間以内の場合は、プランリストから実行できます。

☞メモ

- 指定した出発時刻から6時間経過しても未実行のプランは、過去プランリストに保存されます。

1 MENUを押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストにタッチする



4 実行するプランにタッチし、実行にタッチする



5 はいにタッチする

ドライブプランが実行されます。

■ ドライブプラン指定時刻になると

本機使用中に指定時刻になるか、指定時刻の前後3時間以内に本機を起動した場合、ドライブプラン実行確認のメッセージが表示されます。

1 はいにタッチする



ドライブプランが実行されます。

メモ

- ルートを設定している場合は、そのルートを表示してドライブプランが実行されます。
- **いいえ**にタッチしても、出発時刻の前後6時間以内であればプランリストから実行させることもできます。
- 表示している画面によっては、メッセージが表示されない場合があります。

ドライブプランを確認する

1 (MENU)を押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストまたは過去プランリストにタッチする



4 確認するプランにタッチし、確認にタッチする



メモ

- リスト項目にタッチすると、タッチした地点の地図を表示できます。
- プランリストの場合、ここで表示されるルートは参考ルートです。プラン実行時に探索されるルートとは異なることがあります。

ドライブプランを編集する

未実行のプランは編集できます。

1 (MENU)を押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストにタッチする



4 編集するプランにタッチし、編集にタッチする



5 編集したい項目にタッチして、それぞれを編集し、探索開始にタッチする



6 決定—プラン登録にタッチする



編集したプランが登録されます。

メモ

- リスト項目にタッチすると、タッチした地点の地図を表示できます。
- 編集したプランが、ドライブプランの条件ではなくなった場合や、出発時刻が30分以内の場合は、**プラン登録**ではなく**案内開始**が表示されます。

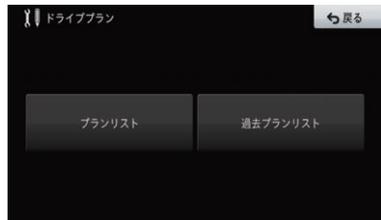
ドライブプランを消去する

1 MENUを押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストまたは過去プランリストにタッチする



4 消去するプランにタッチして、消去—はいにタッチする



選んだプランが消去されます。

場所(地点)の登録

自宅や友人宅などによく行く場所や、旅先など景色がきれいで覚えておきたい場所を登録しておくことができます。登録した情報は、目的地を設定する際などに利用できます。

メモ

- 自宅を含め1001地点まで登録できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、住所などを指定して探すよりも少ない操作で自宅までのルートを探索できます。

- 1 自宅に車を停める
- 2 **(MENU)**を押し、**自宅**にタッチする



- 3 **はい**にタッチする



自宅が登録されます。
簡単セットアップで自宅を登録することもできます。→P105の「簡単セットアップ」

メモ

- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク、ヨミとして「ジタク」が自動的に登録されます。
- 自宅以外の場所で自宅を登録するときは、地図で自宅の場所を探して地点登録してください。→P47の「場所を探す」
- すでに自宅が登録してある場合は、登録済みの自宅データを削除してから操作してください。→P98の「登録した場所を個別に消去する」
- 自宅の位置は変更できます。→P90の「登録した場所の編集」

場所を登録する

登録した場所へは、近づくと自動的に音を鳴らしたり、画像や立体ランドマークを登録したりできます。また、電話をかけることもできます。

- 1 場所を探して**ここを登録する**にタッチする



- 2 **終了**にタッチする



場所が登録されます。
各項目を選ぶと、項目の内容を編集できます。→P90の「登録した場所の編集」
登録する場所の名称には、施設名や周辺の地域などの代表地名が自動的に入力されます。施設名や周辺の地域などの代表地名がない場合は、登録した日時が自動的に入力されます。

メモ

- ジャンルリスト検索で呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 探した施設にヨミが登録されている場合は、そのヨミも自動的に登録されます。
- 登録した地点に住所情報が登録されている場合は、その住所も自動的に登録されます。

登録した場所の編集

登録した場所に関する情報を編集したり、登録した場所を消去したりできます。

メモ

- 自宅として登録された登録地は、「ヨミ」、「グループ」は変更できません。また、他の登録地への変更もできません。
- 登録した場所に関する情報として、名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、方向指定、グループ、位置が編集できます。

登録した場所の名称を変更する

変更したい名称は20文字以内で入力してください。

登録・編集

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **データ編集** にタッチする
- 2 **登録地** にタッチする



- 3 **編集** にタッチする



- 4 名称を変更したい地点にタッチし、**決定** にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

- 5 **名称** にタッチする



- 6 名称を入力し、**入力終了** にタッチする



名称が変更されます。

登録した場所のヨミを編集する

並べ替えなどに使用する「ヨミ」を入力します。ヨミは全角20文字以内で入力してください。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **データ編集** にタッチする
- 2 **登録地** にタッチする



3 編集にタッチする



4 ヨミを編集したい地点にタッチし、決定にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 ヨミにタッチする



6 ヨミを入力し、入力終了にタッチする



▼
ヨミが編集されます。

登録した場所の電話番号を設定する

電話番号を設定しておく、その場所を電話番号検索で探せるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけることができます。

1 MENU を押し、設定・編集→データ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 電話番号を編集したい地点にタッチし、決定にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 電話番号にタッチする



6 電話番号を入力し、**入力終了**にタッチする



電話番号が設定されます。

登録した場所の2Dマークを設定する

お好みの2Dマークを設定しておくで、地図上に表示できます。

1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**→**データ編集**にタッチする

2 **登録地**にタッチする



3 **編集**にタッチする



4 2Dマークを設定したい地点にタッチし、**決定**にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 **2Dマーク**にタッチする



6 設定したい2Dマークにタッチする



2Dマークが設定されます。

■登録地マーク簡易表示を設定する

スケールによって、登録した2Dマークを地図上で簡易的な表示 () にできます。工場出荷時は「簡易表示しない」です。

1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**→**機能設定**にタッチする

2 **登録地マーク簡易表示**にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



500 m スケール以上	500 m以上のスケールで登録地 マークが簡易表示されます。
1 km スケール以上	1 km以上のスケールで登録地マーク が簡易表示されます。
2 km スケール以上	2 km以上のスケールで登録地マーク が簡易表示されます。
簡易表示しない	登録地マークを簡易表示しません。

5 2Dマークにタッチする



登録した場所の名称を地図上に表示させる

登録した場所の名称を地図上に表示できます (プライベートマッピング)。

1 (MENU) を押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



6 にタッチする



プライベートマッピングが設定されます。

3 編集にタッチする



登録した場所の3Dマークを設定する

登録した場所の3Dマークを設定します。設定した3Dマークは、地図の表示方法をスカイビューなどの3D表示に設定し、地図スケールを200 m以下にしたときに表示できます。

1 (MENU) を押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



4 プライベートマッピングを設定したい地点にタッチし、決定にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

3 編集にタッチする



- 4 3Dマークを設定したい地点にタッチし、**決定**にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

- 5 3Dマークにタッチする



- 6 設定したい3Dマークにタッチし、**決定**にタッチする



- 7 拡大、縮小、左回転、右回転にタッチして3Dマークの大きさと向きを設定し、**決定**にタッチする



3Dマークが設定されます。

登録した場所の効果音を設定する

登録した場所に近づいたときに、設定した効果音を鳴らすことができます。

- 1 **MENU**を押し、**設定・編集**→**データ編集**にタッチする
- 2 登録地にタッチする



- 3 **編集**にタッチする



- 4 効果音を設定したい地点にタッチし、**決定**にタッチする

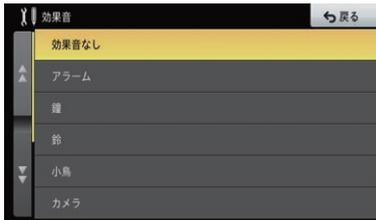


並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

- 5 効果音にタッチする



6 設定したい効果音にタッチする



7 設定にタッチする



確認にタッチすると、効果音を確認できます。



効果音が設定されます。

メモ

- 自車が登録した場所から約500 m以内に近づくくと効果音が鳴ります。
- 自車から約500 m以内に登録した場所が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録した場所の効果音よりも、ETC、ルート、VICIS の音声案内が優先されます。

登録した場所に方向指定を設定する

登録した場所に効果音を設定した場合、それらの動作タイミングを自車が近づく方向で指定できます。

1 (MENU)を押し、設定・編集→データ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 方向指定を設定したい地点にタッチし、決定にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 方向指定にタッチする



全方向にタッチすると、自車が登録した場所にどの方向から近づいても設定した機能が動作します。

6 指定方向にタッチする



7 左右の回転矢印キーにタッチして方向を指定し、**決定**にタッチする



方向指定が設定されます。

メモ

- 登録した場所が有料道付近にあるときは、一般道上であるか有料道上であるかを確認する画面が表示されることがあります。

登録した場所のグループを編集する

登録した場所をグループ分けします。登録した場所が多いときの整理に便利です。

1 **MENU**を押し、**設定・編集**→**データ編集**にタッチする

2 **登録地**にタッチする



3 **編集**にタッチする



4 **グループ設定**したい地点にタッチし、**決定**にタッチする

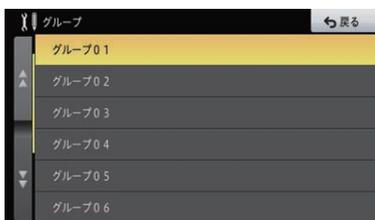


並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 **グループ**にタッチする



6 所属する**グループ**にタッチする



グループが設定されます。

登録した場所のグループ名を編集する

「友人宅」や「〇〇スポット」など、わかりやすいグループ名にしておくと、登録地を見つけやすくなります。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**データ編集** にタッチする

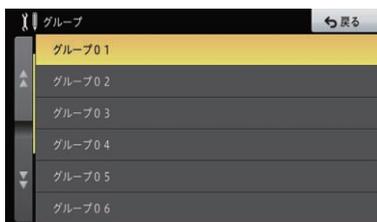
2 **登録地** にタッチする



3 **グループ名** にタッチする



4 **編集したいグループ** にタッチする



5 **グループ名** を入力し、**入力終了** にタッチする



グループ名が変更されます。

登録した場所の位置を修正する

登録した場所の位置をより正確に合わせたい場合などに行います。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**データ編集** にタッチする

2 **登録地** にタッチする



3 **編集** にタッチする



4 **位置を修正したい地点** にタッチし、**決定** にタッチする



並べ替え にタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

5 **位置修正** にタッチする



6 8方向矢印キーにタッチして位置を修正し、決定にタッチする



位置が修正されます。

登録した場所を個別に消去する

閉店してしまった店舗など、登録した場所として不要になったデータを消去できます。

1 (MENU)を押し、設定・編集-データ編集にタッチする

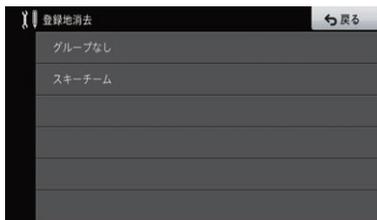
2 登録地にタッチする



3 消去にタッチする



4 グループ名にタッチする

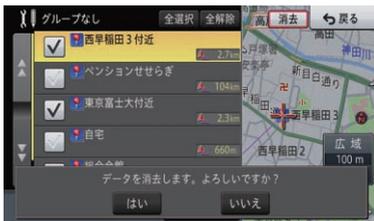


5 消去する地点にタッチする



チェックボックスにタッチすると✓チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。並べ替えにタッチすると、日時順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

6 消去-はいにタッチする



選んだ場所が消去されます。登録地がグループ分けされていない場合は、グループ選択の画面は表示されません。全選択にタッチすると、すべて選択できます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

メモ

- グループ分けされていない登録地を消去するときは、グループなしにタッチしてください。
- 自宅はグループなしに振り分けられています。

登録した場所をまとめて消去する

登録した場所の全データをまとめて消去できます。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**データ編集**にタッチする

2 **登録地**にタッチする



3 **全消去**—**はい**にタッチする



登録した場所がすべて消去されます。

オートパーキングメモリー（駐車場履歴）の編集

施設に関連のある複数の駐車場入口ポイントから、ルート探索に使用する入口ポイントを指定したり、不要になった施設関連の駐車場データを消去したりできます。

入口を指定する

入口を指定するには、使用する入口以外のデータをルート探索に使用しないように指定して行います。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** → **データ編集** にタッチする

2 **オートパーキングメモリー** にタッチする



3 **編集** にタッチする



4 **編集したい駐車場の施設** にタッチし、**決定** にタッチする



並べ替え にタッチすると、日時順もしくは近い順で並べ替えることができます。

5 **使用しない入口** にタッチする



タッチすると、×マークが表示され、ルート探索に使用されなくなります。×マークは、再度タッチすると消えます。

駐車場データを消去する

施設を選んで、その施設の持つ駐車場ポイントのデータを一括で消去します。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **データ編集** にタッチする

2 **オートパーキングメモリー** にタッチする



3 **消去** にタッチする



4 消去する施設の**チェックボックス** にタッチする

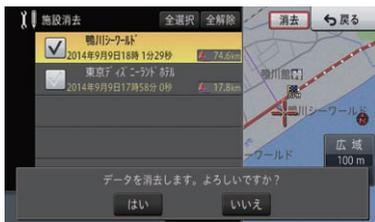


選んだ施設には チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 にタッチすると、すべて選択できます。**全解除** にタッチすると、すべての選択が解除されます。

並べ替え にタッチすると、日時順もしくは近い順で並べ替えることができます。

5 **消去** - **はい** にタッチする



選んだ施設の駐車場ポイントが消去されます。

その他のデータ編集

本機に保存されたいろいなる機能のデータを消去できます。

目的地ランキングを消去する

目的地ランキングに表示されている場所を消去できます。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**データ編集** にタッチする
- 2 **目的地ランキング消去** にタッチする



- 3 消去したい場所の**チェックボックス** にタッチする



選んだ場所には**✓**チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 にタッチすると、すべて選択できます。**全解除** にタッチすると、すべての選択が解除されます。

- 4 **消去**—**はい** にタッチする



選んだ場所が消去されます。

メモ

- **ランキング情報全クリア** にタッチすると、目的地ランキングに表示されていない場所も含めたすべての訪問回数が消去されます。

検索履歴を消去する

検索履歴は自動で保存されますが、保存件数が300件に達すると、以降は利用頻度の低い順に履歴が削除され、新しい履歴が保存されます。不要な検索履歴はあらかじめ消去してください。

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**データ編集** にタッチする
- 2 **検索履歴消去** にタッチする



- 3 消去する履歴に**タッチ**する



選んだ履歴には**✓**チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 にタッチすると、すべて選択できます。**全解除** にタッチすると、すべての選択が解除されます。

並べ替え にタッチすると、リストを日時順、平日・土日祝日順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

4 消去—はいにタッチする



選んだ履歴が消去されます。

メモ

・検索履歴を削除すると、目的地ランキングの表示内容も変更する場合があります。

文字入力履歴を消去する

キーワード入力の履歴や予測変換候補の履歴を消去します。

1 MENUを押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 文字入力履歴消去にタッチする



3 はいにタッチする



文字入力履歴が消去されます。

オートリルート履歴を消去する

ルートアドバイザーで使用したくないオートリルート履歴を消去できます。

1 MENUを押し、設定・編集—データ編集にタッチする

2 オートリルート履歴消去にタッチする



3 消去する履歴にタッチする



選んだ履歴にはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチすると、すべて選択できます。
全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

4 消去—はいにタッチする



選んだ履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、曜日別によく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します(学習ルート探索)。よく使用する道を変更した場合は、学習ルートを消去してから再学習します。

1 MENUを押し、設定・編集—データ編集にタッチする

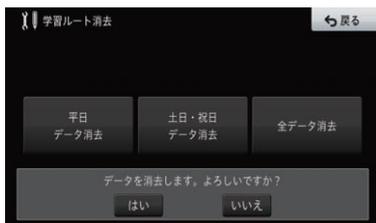
2 学習ルート消去にタッチする



3 消去するデータにタッチする



4 はいにタッチする



選んだデータが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去できます。

1 MENU を押し、設定・編集→データ編集にタッチする

2 走行軌跡消去にタッチする



3 はいにタッチする



走行軌跡が消去されます。

■ 走行軌跡自動消去を設定する

走行軌跡を自動的に消去するように設定できます。工場出荷時は「OFF」です。

1 MENU を押し、設定・編集→機能設定にタッチする

2 走行軌跡自動消去にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



自宅付近

自宅（登録済）から約100 m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。

電源OFF時

本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。

OFF

走行軌跡は自動消去されません。

簡単セットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示に従って簡単に行うことができます。

簡単セットアップを行う

画面の指示に従って各設定を簡単に行うことができます。簡単セットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

①音量設定	ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。
②自宅設定	自宅の登録や変更ができます。
③燃費推定/ 車両情報設定	車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。一般道路と高速道路での燃費設定ができます。
④リモコン設定	ステアリングリモコンの設定ができます。
⑤ETC/ETC2.0 取付状態設定	ETCユニットまたはETC2.0対応ユニットが車に取り付けられているかどうか設定します。
⑥Bluetooth設定	Bluetooth対応の携帯電話を本機に登録できます。

簡単セットアップを開始する

メモ

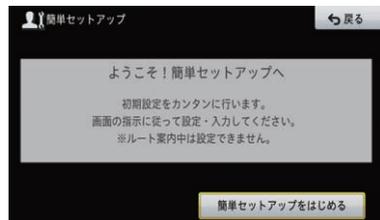
- ルート案内中は、簡単セットアップを行うことはできません。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **簡単セットアップ** にタッチする



3 **簡単セットアップをはじめる** にタッチする



メモ

- 簡単セットアップ設定中は、**次へ** にタッチすると次の設定へ、**前へ** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- 終了** にタッチすると、その時点までの設定を保存して簡単セットアップ終了画面に移ります。
- ETC/ETC2.0取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定できます。

■音量の調整

- 1 それぞれの項目で**+**または**-**、**ON**または**OFF**にタッチして調整する



案内音量	ナビの音声案内の音量を調整します。
操作音	本機の操作音のON/OFFを設定します。
受話音量	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
着信音量	電話の着信音量を調整します。

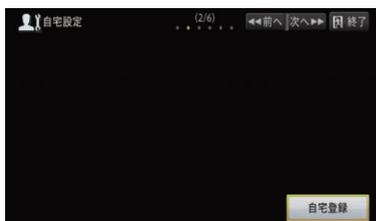
- 2 **次へ**にタッチする

メモ

- 音量の調整について詳しくは、→P127の「音量設定をする」をご覧ください。

■自宅の設定

- 1 **自宅登録**にタッチする



すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更**が表示され、タッチすると場所を探すための検索画面が表示されます。自宅の場所を探して上書きしてください。→P89の「自宅を登録する」

- 2 場所を探して、**決定**にタッチする



- 3 **次へ**にタッチする

■燃費推定/車両情報の設定

燃費推定機能を設定する

- 1 **燃費推定機能**にタッチする



- 2 **燃費推定を使う**または**燃費推定を使わない**にタッチする



メモ

- エコ関連機能を使用するためには、「燃費推定を使う」に設定してください。なお、下記の車種では、燃費推定の機能が正常に動作しないことがあります。「燃費推定を使わない」に設定してください。
 - ハイブリッド車
 - コータリー車
 - ターボ車
 - ディーゼル車
 - LPG車
 - バイオエタノール車
 - アイドリングストップ車など

パラメーターを設定する

- 1 **パラメーター設定**にタッチする

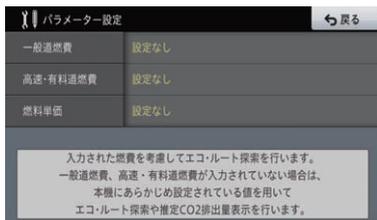


2 それぞれの項目を設定し、戻るにタッチする

燃費推定機能を使う場合

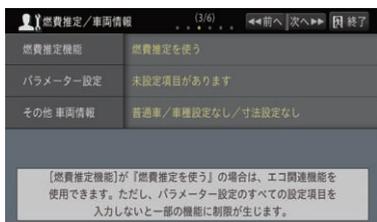


燃費推定機能を使わない場合



車両情報を設定する

1 その他 車両情報にタッチする



2 それぞれの項目を設定し、戻るにタッチする



3 次へにタッチする

メモ

- 燃費推定/車両情報の設定について詳しくは、P109の「燃費・車両設定」をご覧ください。

■ リモコンの設定

ステアリングリモコンを設定する

ステアリングリモコンを使用するためには、ステアリングリモコンアダプター（別売）またはステアリングリモコンケーブル（別売）が必要です。

1 設定したい項目にタッチする



ステアリングリモコンアダプター（別売）を使用する場合は車両メーカーに関わらず「アダプター」を選択してください。ステアリングリモコンケーブル（別売）を使用する場合は、車両メーカーに合わせて項目を選択してください。

メモ

- 学習にタッチした場合は、お好みの機能をステアリングリモコンに割り当てることができます。詳しくは、P228の「ステアリングリモコンを設定する」をご覧ください。

■ ETC/ETC2.0取付状態の設定

1 車に取り付けているまたは車に取り付けていないにタッチする



「車に取り付けている」に設定すると、機能設定の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。

2 次へにタッチする

設定

Bluetooth接続設定

1 機器登録にタッチする



2 接続する機器名にタッチする



接続する機器がリストにない場合は、**再検索**にタッチしてください。それでもリストに表示されない場合は、**相手機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。→P114の「Bluetooth機器を登録する」



選んだ機器と接続されるとメッセージが表示されます。

3 確認にタッチする

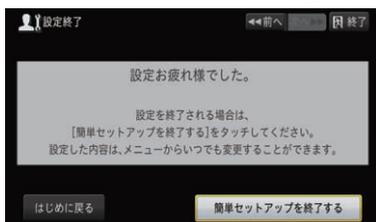
4 次へにタッチする

メモ

- Bluetooth設定について詳しくは、P114の「Bluetooth接続設定」をご覧ください。

簡単セットアップを終了する

1 簡単セットアップを終了するにタッチする



燃費・車両設定

燃費の算出に使用する情報の設定と、車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さなどの車両情報を設定します。ここで情報として設定された内容が、各燃費計算やエコなルートなどのエコ関連機能および駐車場や有料道の料金案内などに反映されます。

燃費推定機能を使って燃費を設定する

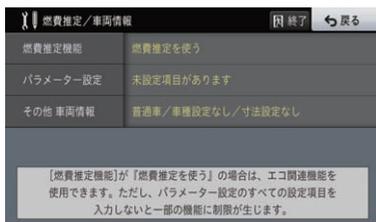
エコ関連機能を使用する場合は、燃費推定機能を使ってください。

メモ

- 下記の車種では、燃費推定の機能が正常に動作しないことがあります。「燃費推定を使わない」に設定してください。→P111の「燃費推定機能を使わずに燃費を設定する」
 - ハイブリッド車
 - ロータリー車
 - ターボ車
 - ディーゼル車
 - LPG車
 - バイオエタノール車
 - アイドリングストップ車など

1 MENU を押し、設定・編集-燃費・車両設定にタッチする

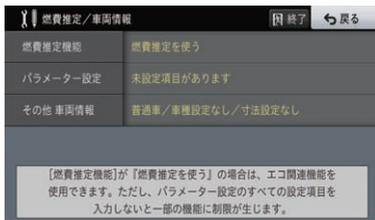
2 燃費推定機能にタッチする



3 燃費推定を使うにタッチする



4 パラメーター設定にタッチする



5 車両重量にタッチする



6 車両重量を入力し、入力終了にタッチする



100～9 999 kgの範囲で、1 kg単位で入力できます。

7 総排気量にタッチする



8 総排気量を入力し、**入力終了**にタッチする

0.1 ~ 9.99 Lの範囲で、0.01 L単位で入力できます。

9 車両寸法：高さ(H)にタッチする

パラメーター設定		終了	戻る
車両重量	940kg		
総排気量	1.20L		
車両寸法：高さ(H)	設定なし		
車両寸法：幅(W)	設定なし		
パラメーター補正	一般道：0/高速・有料道：0		
燃料単価	設定なし		

10 車両の高さを入力し、**入力終了**にタッチする

100 ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

11 車両寸法：幅(W)にタッチする

パラメーター設定		終了	戻る
車両重量	940kg		
総排気量	1.20L		
車両寸法：高さ(H)	152cm		
車両寸法：幅(W)	設定なし		
パラメーター補正	一般道：0/高速・有料道：0		
燃料単価	設定なし		

12 車両の幅を入力し、**入力終了**にタッチする

100 ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

13 パラメーター補正にタッチする

パラメーター設定		終了	戻る
車両重量	940kg		
総排気量	1.20L		
車両寸法：高さ(H)	152cm		
車両寸法：幅(W)	167cm		
パラメーター補正	一般道：0/高速・有料道：0		
燃料単価	設定なし		

14 それぞれの項目で**+**または**-**にタッチして設定し、**戻る**にタッチする

パラメーター補正		戻る
一般道用	補正値： 0.0km/L - 0 0.0km/L +	
高速・有料道用	補正値： 0.0km/L - 0 0.0km/L +	
総合燃費		0.0km/L

車両の燃費計などの平均燃費表示と本機の平均燃費表示に差異が生じた場合に補正を行う事ができます。
一般道用もしくは高速・有料道用のパラメーターを変更して、「総合燃費」が所望の値になるように調整してください。

15 燃料単価にタッチする

パラメーター設定		終了	戻る
車両重量	940kg		
総排気量	1.20L		
車両寸法：高さ(H)	152cm		
車両寸法：幅(W)	167cm		
パラメーター補正	一般道：0/高速・有料道：0		
燃料単価	設定なし		

16 燃料単価を入力し、**入力終了**にタッチする



10～999円の範囲で、1円単位で入力できます。

17 **終了**にタッチする

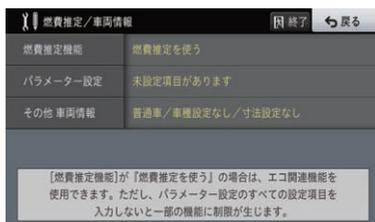
メモ

- パラメーター補正は、表示される燃費の数値を補正する場合に変更してください。「高速・有料道用」は主に高速走行時の燃費の数値が補正されます。値を1段階変更すると、燃費の表示結果が約1%変化します。値をプラス(正)側に変更すると、燃費の数値が大きくなります。
- パラメーター補正は、センサー学習が完了していないと設定できません。→P143の「センサー学習の状況を確認する」

燃費推定機能を使わずに燃費を設定する

1 **MENU**を押し、**設定・編集**→**燃費・車両設定**にタッチする

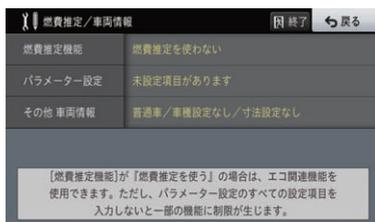
2 **燃費推定機能**にタッチする



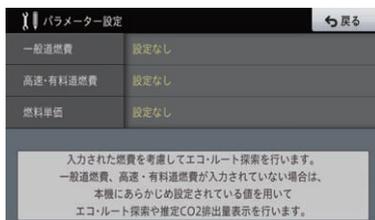
3 **燃費推定を使わない**にタッチする



4 **パラメーター設定**にタッチする



5 **一般道燃費**にタッチする



6 燃費を入力し、**入力終了**にタッチする



0.01 ~ 99.99 km/Lの範囲で、0.01 km/L単位で入力できます。

7 高速・有料道燃費にタッチする



8 燃費を入力し、**入力終了**にタッチする



0.01 ~ 99.99 km/Lの範囲で、0.01 km/L単位で入力できます。

9 燃料単価にタッチする



10 燃料単価を入力し、**入力終了**にタッチする



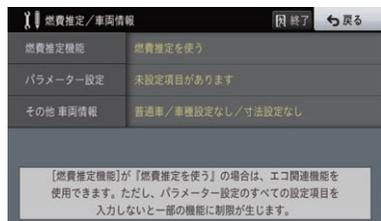
10 ~ 999円の範囲で、1円単位で入力できます。

11 終了にタッチする

その他車両情報を設定する

1 **MENU**を押し、設定・編集-燃費・車両設定にタッチする

2 その他車両情報にタッチする



3 有料道路料金区分にタッチする



4 設定したい区分にタッチする



5 駐車制限(車種)にタッチする



6 車種を選んでタッチし、戻るにタッチする



7 駐車制限(車両寸法) - 長さ にタッチする



8 長さを入力し、入力終了にタッチする



100 ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

9 駐車制限(車両寸法) - 幅 にタッチする



10 幅を入力し、入力終了にタッチする



100 ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

11 駐車制限(車両寸法) - 高さ にタッチする



12 高さを入力し、入力終了にタッチする



100 ~ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

13 終了にタッチする

Bluetooth接続設定

本機に接続するBluetooth機器の登録や各種設定を行うことができます。

Bluetooth機器を準備する

Bluetooth対応の携帯電話をご準備ください。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。

■対応するBluetoothプロファイルについて

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

- HFP: (Hands-Free Profile)
- OPP: (Object Push Profile)
- PBAP: (Phone Book Access Profile)
- SPP: (Serial Port Profile)
- A2DP: (Advanced Audio Distribution Profile)
- AVRCP: (Audio/Video Remote Control Profile)

☞メモ

- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により本機との接続に制限がある場合があります。
- Bluetooth Audioを使う場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。

Bluetooth機器を登録する

☞メモ

- 登録できるBluetooth機器は、5台までです。
- すでに5台登録していて、新たなBluetooth機器を登録する場合は、登録済みのBluetooth機器を削除してください。
→P116の「登録したBluetooth機器を削除する」

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** システム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 機器登録にタッチする



周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は約20秒間行われ、10機器まで発見できます。

検索終了後にBluetooth機能をONにした機器がある場合は、**再検索**にタッチするともう一度検索できます。

お使いのBluetooth機器により、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。



Bluetooth機器が見つかったら、リスト表示されます。

4 登録するBluetooth機器にタッチする



Bluetooth機器の種類によって、以下のアイコンが表示されます。

	携帯電話
	Bluetooth Audio機器
	その他の機器

5 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う



Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。

Bluetooth機器に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

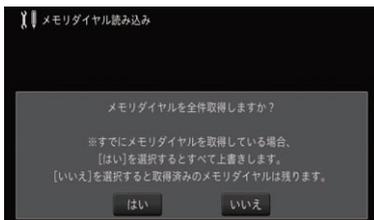
登録完了のメッセージが表示されます。

6 確認にタッチする



登録したBluetooth機器のプロファイルにより以下の設定が続けて行えます。

メモリダイヤル読み込み



登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。

Bluetooth Audio使用確認



登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。

設定完了のメッセージが表示されます。

7 確認にタッチする



Bluetooth機器を切り換える

Bluetooth機器を複数登録した場合に、ハンズフリー機能、メモリダイヤル転送機能に使用するBluetooth機器を切り換えることができます。また、何らかの原因により機器と通信が切断された場合に再接続できます。

メモ

- 選んだBluetooth機器が動作中（ハンズフリー）の場合は切り換えできません。動作終了後に操作してください。

1 MENU を押し、設定・編集—システム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 機器変更/削除にタッチする



4 切り換えるBluetooth機器にタッチする



5 接続方法にタッチする



ハンズフリー/ Bluetooth Audio	ハンズフリー機能とBluetooth Audio機器として使用します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio機器のみとして使用します。
ハンズフリー	ハンズフリー電話機能のみとして使用します。

▼
接続の切り換えが完了します。

メモ

- ハンズフリー/Bluetooth Audioに設定した場合は**AVP**、Bluetooth Audioに設定した場合は**AVP**、ハンズフリーに設定した場合は**HFP**のアイコンが表示されます。

登録したBluetooth機器を削除する

1 MENUを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 機器変更/削除にタッチする



4 削除するBluetooth機器にタッチする



5 削除「はい」にタッチする



▼
選んだBluetooth機器の登録が削除されます。

自機名称を設定する

本機の自機名称を設定できます。
工場出荷時は「Navi System」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集—システム設定** にタッチする
- 2 **Bluetooth設定** にタッチする



- 3 **自機名称** にタッチする



- 4 名称を入力し、**入力終了** にタッチする



▼
名称が設定されます。

パスキーを変更する

本機のパスキーを設定できます。
工場出荷時は「1111」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集—システム設定** にタッチする
- 2 **Bluetooth設定** にタッチする



- 3 **パスキー** にタッチする



- 4 パスキーを入力し、**入力終了** にタッチする



▼
パスキーが変更されます。

電波発射をON/OFFする

本機からの電波発射ON/OFFを設定できます。
工場出荷時は「ON」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**システム設定** にタッチする

2 **Bluetooth設定** にタッチする



3 **電波発射** にタッチする



4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	電波発射します。
OFF	電波発射しません。

メモ

- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

その他の設定

本機の拡張機能の設定を行います。

オープニング画像を設定する

本機の起動画面に表示される画像を設定します。画像は、あらかじめSDカードの第一階層に保存したものを読み込むことで設定できます。

オープニング画像に設定するファイルは、以下の条件で作成してください。

ファイル形式	jpeg
ファイル名	OPENING.jpg
ファイル容量	6 MB以下

メモ

- オープニング画像設定中や、画像読み込み中に本機の電源を切る(エンジンを切る)と、画像データが読み込めなくなる場合があります。

1 SDカードを本機に挿入する

2 (MENU)を押し、設定・編集—システム設定—その他設定にタッチする



3 オープニング設定にタッチする



4 はいにタッチする



5 確認にタッチする

設定初期化

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

各種設定を初期化する

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**システム設定** にタッチする
- 2 **NAVI・AV設定初期化** にタッチする



- 3 初期化したい項目にタッチする



- 4 **はい** にタッチする

選んだ項目が工場出荷時の状態に戻ります。
引き続き他の項目を選ぶことができます。終了する場合は、**戻る** にタッチします。

メモ

- 「バックカメラ設定」を初期化しても、バックカメラの入力設定と切換極性は初期化されません。
- 「燃費・車両設定」を初期化すると、すべてのパラメーターが初期化され、エコ関連機能が使用できなくなります。使用する場合は再設定をしてください。→P109の「燃費・車両設定」
- 「機能設定」、「燃費・車両設定」は、案内中のルートが無い場合に操作できます。
- センサー学習については、別途リセット操作を行ってください。→P258の「センサー学習状態のリセットのしかた」
- **工場出荷状態に戻す** にタッチすると、各項目の初期化に加え、登録地のデータなどもすべて消去できます (DTV (地上デジタルTV) 設定とセンサー学習を除く)。

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することで、ナビゲーションを使いやすくなることができます。

設定を変更する

- 1 **(MENU)** を押し、**設定・編集**—**機能設定**にタッチする



- 2 設定したい項目にタッチする



- 3 設定内容にタッチする



引き続き設定項目を選んで変更できます。

メモ

- **地図表示**、**ルート・案内**、**渋滞情報**のタブにタッチすると、それぞれ分類された設定項目をすばやく表示できます。
- 設定を終了する場合は、**終了**にタッチします。

設定内容の詳細

■地図表示

*は工場出荷時の設定です。

ツインビュー左画面アングル

ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。

2D	左画面をノーマルビューで表示します。
3D*	左画面をスカイビューで表示します。

ハイウェイサイドマップ

ハイウェイモードのサイドマップの表示を設定します。

高速マップ*	高速マップが表示されます。
通常マップ	通常マップが表示されます。

ハイウェイモードサイドマップアングル

ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。

2D*	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

オートハイウェイモード

有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。

ON*	ハイウェイモードに切り換えます。
OFF	ハイウェイモードに切り換えません。

ドライバーズビューサイドマップアングル

ドライバーズビューのサイドマップのアングルを設定します。

2D*	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

AVサイドビューアングル

AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。

2D*	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

サイレントガイドアングル

サイレントガイドのアングルを設定します。

2D*	サイレントガイドの地図画面がノーマルビューで表示されます。
3D	サイレントガイドの地図画面がスカイビューで表示されます。

シティマップ

シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。

ON*	市街地図が表示されます。
OFF	通常の地図が表示されます。

スカイシティマップ

シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。

ON*	市街地図の建物が立体的に表示されます。
OFF	市街地図の建物が平面的に表示されます。

メモ

- シティマップ設定が「OFF」の場合は、設定できません。

シティマップ境界表示

シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。

ON	シティマップの境界が表示されます。
OFF*	シティマップの境界を表示せず、通常地図に切り換えます。

メモ

- シティマップ設定が「OFF」の場合は、設定できません。

地図色切換

地図色が切り換わるタイミングを設定します。

時刻連動*	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
イルミ連動	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
昼色固定	常に昼画面のままです。

走行軌跡表示

走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。

ON*	走行軌跡が表示されます。
OFF	走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去

走行軌跡を自動的に消去するように設定できます。

自宅付近	自宅（登録済）から約100 m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
電源OFF時	本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
OFF*	走行軌跡は自動消去されません。

ロゴマーク表示スケール

ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。

100 m スケール以下	100 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
200 m スケール以下	200 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
500 m スケール以下	500 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
1 km スケール以下*	1 km以下のスケールでロゴマークが表示されます。

登録地マーク簡易表示

登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。

500 m スケール以上	500 m以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
1 km スケール以上	1 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
2 km スケール以上	2 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
簡易表示しない*	登録地マークを簡易表示しません。

ボトルネック踏切マーク表示

ボトルネック踏切マークを地図上に表示するかを設定します。

ON*	ボトルネック踏切のマークが表示されます。
OFF	ボトルネック踏切のマークは表示されません。

一時停止表示

一時停止マークを地図上に表示するかを設定します。

ON（音あり）*	一時停止マークが表示され、効果音による通知も行います。
ON（音なし）	一時停止マークが表示されます。
OFF	一時停止マークは表示されません。

冠水注意地点マーク表示

冠水注意地点マークを地図上に表示するかどうかを設定します。

ON*	冠水注意地点マークが表示されます。
OFF	冠水注意地点マークは表示されません。

ゾーン30エリア表示

都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限されたエリア(「ゾーン30」)を地図上に表示するかを設定します。

ON	ゾーン30エリアが表示されます。
OFF*	ゾーン30エリアは表示されません。

2D(ノーマルビュー)固定スクロール

スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。

ON	スクロール画面をノーマルビューに固定します。
OFF*	スクロール画面をノーマルビューに固定しません。

情報ウィンドウ表示

地図画面の情報ウィンドウに表示する情報の種類を設定します。

市区町村名*	現在地の市区町村名が表示されます。
走行道路名	現在走行している道路名が表示されます(道路名がない場合は市区町村名が表示されます)。
緯度経度	現在地の緯度経度が表示されます。
AV情報	選択中のAVソースや曲のタイトル、アーティスト名が表示されます。
エコステータス	燃費などエコに関する情報が表示されます。

■ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。

推奨*	信号機の数少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
エコ優先	推定燃料費が少なくなるようなルートが探索されます。
幹線優先	幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。

標準*	有料道が標準的な基準でルート探索されます。
回避	有料道を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。

標準*	フェリー航路を標準的な基準で使うルートが探索されます。
優先	フェリー航路を優先的に使うルートが探索されます。

回避	フェリー航路を回避したルートが探索されます。
----	------------------------

学習ルート探索

学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。

ON*	学習したルートを考慮します。
OFF	学習したルートを考慮しません。

渋滞考慮ルート探索

渋滞情報が取得できているときは、その情報を考慮してルート探索ができます。

渋滞情報・渋滞予測*	渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報のみ	渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
考慮しない	規制情報のみを考慮してルートが探索されます。

時間規制考慮ルート探索

日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。

ON*	時間規制の情報を考慮してルートが探索されます。
OFF	時間規制の情報を考慮しません。

スマートIC考慮ルート探索

スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。

ON	スマートICを考慮してルートが探索されます。
OFF*	スマートICを考慮しません。

☑メモ

- ・ 簡単セットアップの「ETC/ETC2.0取付状態設定」で「車に取り付けている」を選択した場合、スマートIC考慮ルート探索の設定は、自動的に「ON」になります。
- ・ ルート案内中は設定できません。

ルートアドバイザー

新しい候補ルートを提供する際、どの情報を考慮するかを設定します。

すべて考慮*	渋滞/通行止め情報と過去のリルート履歴を考慮してオートリルートを行います。
渋滞考慮のみ	渋滞/通行止め情報のみを考慮してオートリルートを行います。
OFF	通行止め情報のみを考慮してオートリルートを行います。

ルートアドバイザー自動決定ルート

ルートアドバイザーが動作して新ルートと元ルートの選択画面になった際、どちらも選ばなかった場合、自動的に決定するルートを設定します。

元ルート*	元ルートを選択します。
新ルート	新ルートを選択します。

到着予想時刻表示

ルート案内時に表示する情報を設定します。

目的地(到着時刻・残距離)*	目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
立寄地(到着時刻・残距離)	次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
出発時刻・経過時間	出発時刻および現在までの経過時間が表示されます。

到着予想時刻速度(一般道)

渋滞考慮ルート探索設定で渋滞予測を「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

20 km/h	平均速度 20 km/h として到着予想時刻が計算されます。
30 km/h*	平均速度 30 km/h として到着予想時刻が計算されます。
40 km/h	平均速度 40 km/h として到着予想時刻が計算されます。
50 km/h	平均速度 50 km/h として到着予想時刻が計算されます。
60 km/h	平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

渋滞考慮ルート探索設定で渋滞予測を「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻やハイウェイモードでの施設通過時刻を計算する基準速度を設定します。

60 km/h	平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。
80 km/h*	平均速度 80 km/h として到着予想時刻が計算されます。
100 km/h	平均速度 100 km/h として到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

一般道のルート案内時に表示される交差点案内表示を設定します。

ドライバーズビュー*	交差点付近をドライバーズビューで表示します。
拡大図	平面的な交差点拡大図で表示します。
アローガイド	進行方向を見やすい矢印で表示します。

方面案内表示

一般道走行時に方面案内看板を表示するか設定します。

ON*	交差点で方面案内が表示されます。
OFF	方面案内は表示されません。

ETCレーン案内表示

有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。

ON*	有料道の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
OFF	ETCレーン案内は表示されません。

料金案内

ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。

ON*	料金案内します。
OFF	料金案内しません。

オートフリーズーム

オートフリーズーム(現在地と直近の案内地との距離を考慮して地図スケールを自動的に変化させる機能)のスケール範囲の設定をします。

100 mスケール	自動的に 100 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
50 mスケール	自動的に 50 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
OFF*	オートフリーズームを行いません。

オートアングルチェンジ

案内地点でのドライバーズビューの視点変更を行うかを設定します。

ON*	ドライバーズビューの視点を自動的に高くします。
OFF	ドライバーズビューの視点を自動的に変更しません。

リクエスト案内

リクエスト案内時の案内方法を設定します。

音声案内・地図表示*	リクエスト案内を音声と地図表示で案内します。
音声案内	リクエスト案内を音声のみで案内します。

信号機ジャスト案内

信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。

ON*	信号機ジャスト案内の音声案内を行います。
OFF	信号機ジャスト案内の音声案内を行いません。

メモ

- ・信号機がない交差点では、この設定によらずジャスト案内を行います。
- ・一般道シンプルガイドが「ON」の場合は、設定できません。

一般道シンプルガイド

通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。

ON	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
OFF*	通常の音声案内を行います。

オートサイレントガイド

ルート案内を開始した時点で、自動的にサイレントガイドで案内を行うかを設定します。

ON	サイレントガイドで案内します。
OFF*	通常の案内を行います。

AV画面への割り込み

AV画面を表示中に割り込み表示させる内容を設定します。

交差点案内表示	交差点案内表示を割り込み表示します。
ビーコン	ビーコン情報を割り込み表示します。
ルートアドバイザー	ルートアドバイザーの情報を割り込み表示します。

メモ

- ・OFFに設定していても、緊急情報やデータ更新メッセージなどが割り込み表示される場合があります。
- ・割り込み表示させる項目は複数選択できます。項目を何も選択していない場合は、割り込み表示しません。工場出荷時は、すべて選択状態となっており、「ON」と表示します。

有料道注意地点・県境案内

有料道走行時に注意地点と県境を音声で案内するか設定します。

ON*	注意地点と県境の音声案内を行います。
OFF	注意地点と県境の音声案内を行いません。

踏切案内

前方に踏切がある場合に音声で案内をするかを設定します。

ON*	踏切の音声案内を行います。
OFF	踏切の音声案内を行いません。

右左折専用レーン案内

前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。

ON*	右左折専用レーンの音声案内を行います。
OFF	右左折専用レーンの音声案内を行いません。

リフレッシュ案内

2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。

ON*	リフレッシュ案内を行います。
OFF	リフレッシュ案内を行いません。

ライト点灯案内

日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。

ON*	ライト点灯案内を行います。
OFF	ライト点灯案内を行いません。

エコ運転評価案内

ルート案内後にエコ運転評価案内をするかを設定します。

ON*	エコ運転評価案内を行います。
OFF	エコ運転評価案内を行いません。

オートパーキングメモリー

オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索を行うかを設定します。

ON*	オートパーキングメモリーを使用します。
OFF	オートパーキングメモリーを使用しません。

ビーコン即時表示

受信したビーコン情報や、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報から、即時に表示する情報の種類を設定します。

文字・図形・音声*	文字情報、図形情報または音声情報のいずれかを即時表示、出力します。
文字・図形	文字情報または図形情報のいずれかを即時表示します。
図形	図形情報のみを即時表示します。
OFF	即時表示しません。

メモ

- ・OFFに設定していても、最優先情報(緊急メッセージ情報など)や優先情報(注意警戒情報など)が、割り込み表示されます。
- ・ETC2.0対応ユニットを接続した場合に選択できます。

ビーコン即時表示時間

ビーコン即時表示の表示時間を設定します。

5秒	5秒間即時表示します。
10秒*	10秒間即時表示します。
15秒	15秒間即時表示します。

メモ

- ETC2.0対応ユニットを接続した場合に選択できます。
- ビーコン即時表示が「OFF」の場合は、設定できません。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内するかを設定します。

ON*	渋滞情報を自動で音声案内します。
OFF	渋滞情報を自動では音声案内しません。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。

有料道・一般道*	有料道・一般道の渋滞情報を表示します。
有料道のみ	有料道の渋滞情報のみを表示します。
一般道のみ	一般道の渋滞情報のみを表示します。
表示しない	渋滞情報を表示しません。

渋滞情報表示

渋滞情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。

ON*	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

順調表示

渋滞していない道路情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。

ON	道塗り表示します。
OFF*	道塗り表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

点滅表示

渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。

ON*	点滅表示します。
OFF	点滅表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

規制表示

規制情報と規制区間を地図上に表示するかを設定します。

ON*	規制情報と規制区間を表示します。
OFF	規制情報と規制区間を表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

駐車場情報マーク表示

駐車場の満空情報マークを地図上に表示するかを設定します。

ON*	駐車場のVICS情報マークを表示します。
OFF	駐車場のVICS情報マークを表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

区間旅行時間表示

区間旅行時間マークを地図上に表示するかを設定します。

ON*	区間旅行時間マークを表示します。
OFF	区間旅行時間マークを表示しません。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

ナビゲーションの補正・調整

ナビゲーションの音量調整や自車位置修正を行います。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の受話音量と着信音量の調整、操作音のON/OFFを設定します。

！注意

- 操作音をOFFに設定すると、各種警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

1 (MENU) を押し、設定・編集—調整・補正にタッチする

2 音量/消音設定にタッチする



セントラルメニューの**設定・編集—案内・ハンズフリー音量設定**からも操作できます。

3 案内・ハンズフリー音量設定にタッチする



4 案内音量、受話音量、着信音量を調整する



+	ナビの音声案内、ハンズフリー通話の受話音量・着信音量を大きくします。
-	ナビの音声案内、ハンズフリー通話の受話音量・着信音量を小さくします。

5 操作音のONまたはOFFにタッチする



ON	操作音を鳴らします。
OFF	操作音を鳴らしません。

メモ

- 操作音の音量は、手順4で調整した各値と同じになります。

調整・補正

消音設定をする

ナビゲーションの音声案内や音声認識操作時に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声案内や音声検索の音声を聞き取りやすくできます。工場出荷時は以下のとおりです。
消音タイミング：「ガイド・認識」
消音レベル：「-20 dB」

1 (MENU) を押し、設定・編集—調整・補正にタッチする

2 音量/消音設定にタッチする



3 消音設定にタッチする



4 消音タイミングを選択する



ガイド	音声案内やオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

5 消音レベルを選択する



-10 dB	音量が 1/3 になります。
-20 dB	音量が 1/10 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

メモ

- 設定値にかかわらず電話の着信、通話時は音量が0になります。

音声出力先設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

1 **MENU** を押し、設定・編集—調整・補正にタッチする

2 音量/消音設定にタッチする



3 音声出力先設定にタッチする



4 出力するスピーカーを選択する



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+ フロントR	フロント左右から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。

自転車位置を修正する

自転車位置がずれた場合は、修正できます。自転車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**調整・補正** にタッチする
- 2 **自転車位置修正** にタッチする



- 3 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合わせ、**決定** にタッチする



地図（8方向矢印キー以外の部分）にタッチしてスクロールさせることもできます。

- 4 左右の回転矢印キーにタッチして自転車の向きを調整し、**決定** にタッチする



自転車位置が修正されます。

一般道または有料道へ自転車位置を修正する

一般道と有料道が並行している道路を走行中に、異なる種別の道路へ自転車位置がマップマッチングしてしまった場合は、正しい種別の道路に自転車位置を修正できます。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**調整・補正** にタッチする
- 2 **別道路切替** にタッチする



異なる種別の道路へ自転車位置が修正されます。

メモ

- 自転車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自転車位置を修正後、ルートを探さし直します。

画質調整

画面を見る角度や映像の種類、車のライトのON/OFF状態などに応じて、画質を調整できます。

画質を調整する

1 (MENU)を長く押す

画質調整画面が表示されます。

2 各項目を調整する



黒の濃さ	■(白)にタッチすると薄くなり、■(黒)にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
色温度	■(赤)にタッチすると暖色系が強くなり、■(青)にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。
色あい	■(赤)にタッチすると赤が強くなり、■(緑)にタッチすると緑が強くなります。

メモ

- 表示している画面の種類によって、調整項目は異なります。
- 車のライトに連動して昼(☀)と夜(🌙)の設定を自動で切り換えます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 走行中は操作できません。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼(☀)と夜(🌙)で別々に設定登録できます。

タッチパネル調整

画面のタッチキーの位置と実際に指で触れたタッチ位置の反応にずれを感じたときなどに、タッチパネルを調整できます。調整には画面四隅を使って行う4点調整と、画面全体を使って詳細に行う16点調整があります。

①注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。
- 調整結果保存中は、本機の電源を切らないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

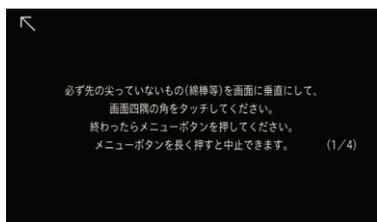
1 (MENU)を長く押す

画質調整画面が表示されます。

2 (MENU)を長く押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅を順にタッチする



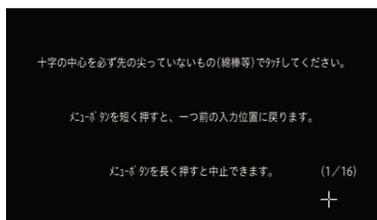
(MENU)を長く押すと、中止します。

4 (MENU)を押す

調整結果が保存されます。

5 16点調整を行う場合は、(MENU)を押す (MENU)を長く押すと、終了します。

6 画面に表示される+マークの中心を順にタッチする



(MENU)を押すと、ひとつ前の+マークに戻ります。

すべてタッチすると調整結果が保存されます。
(MENU)を長く押すと、中止します。

7 (MENU)を長く押す

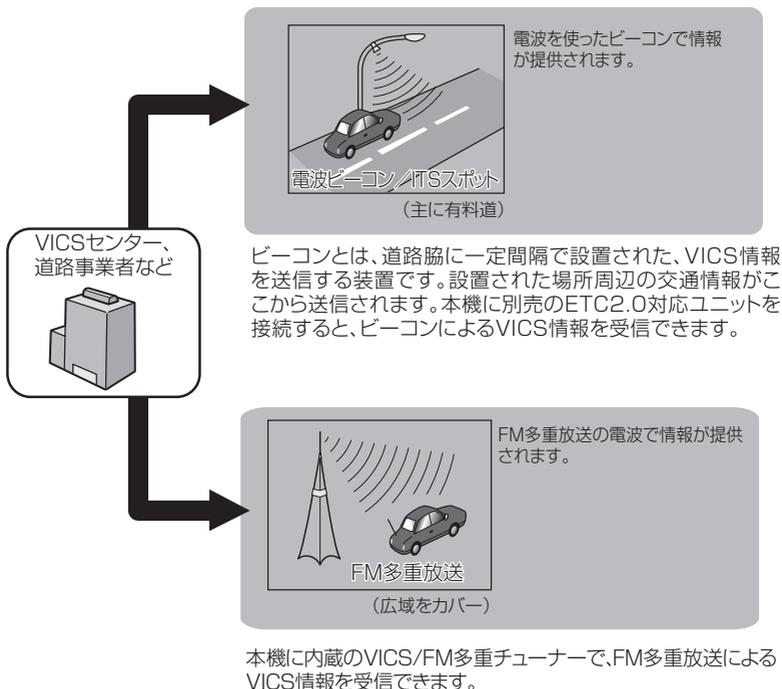
調整を終了し、元の画面に戻ります。

メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

渋滞情報の利用

本機で取得できる渋滞情報には、車載のアンテナや別売のETC2.0対応ユニットで受信する5.8 GHz VICS情報（ITSスポットを通じ、道路事業者などが提供）があります。



VICS情報を利用する

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見することもできます。

■ VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報 (順調情報も含む)
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 旅行時間情報
- 駐車場情報

レベル3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル2: 簡易図形

ナビゲーションの画面上に図形情報として表示されます。



レベル1: 文字

ナビゲーションの画面上に文字情報として表示されます。



メモ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターやITSスポットから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

一般道への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重情報によるVICS情報提供時刻
B	ビーコンやITSスポットからの情報による情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→P142の「放送局を選ぶ」
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は、自転車周辺の規制情報を文字表示と音声でお知らせします。（渋滞チェック親切案内）
- 別売のETC2.0対応ユニット接続時、ITSスポットからの情報を受信した場合は、情報提供時刻の先頭に「B」が表示されます。

■ VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることが可能です。

	大型通行止め
	故障車
	作業
	路上障害
	チェーン規制
	凍結
	進入禁止
	入口制限
	通行止め・閉鎖
	事故
	工事中
	入口閉鎖
	片側交互通行
	対面通行
	車線規制
	徐行
	速度規制(数字は制限速度)
	気象
	行事
	災害
	火災
	区間旅行時間
	原因なし
	駐車場閉
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)

「VICSレベル3情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。本機に別売ETC2.0対応ユニットが接続されているときは、FM多重放送とビーコンVICS情報やITSスポット情報のいずれか新しい提供時刻のみが表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。
→P142の「放送局を選ぶ」

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示できます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

■ VICS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 VICSマークにカーソルを合わせ、情報にタッチする



メモ

- カーソル付近に情報が複数ある場合は、手順1の操作で一覧にタッチして、表示したい情報を選択します。

■ 緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

VICS情報の表示を設定する

■ 渋滞情報表示対象道路を設定する

渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。工場出荷時は「有料道・一般道」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**機能設定にタッチする

2 渋滞情報表示対象道路にタッチする



3 設定する対象にタッチする



有料道・一般道	有料道・一般道の渋滞情報を表示します。
有料道のみ	有料道の渋滞情報のみを表示します。
一般道のみ	一般道の渋滞情報のみを表示します。
表示しない	渋滞情報を表示しません。

■ 渋滞情報表示を設定する

渋滞情報を地図上に表示するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 渋滞情報表示にタッチする



3 ON または OFF にタッチする



ON	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

■ 順調表示を設定する

渋滞していない道路情報を地図上に表示するかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 順調表示にタッチする



3 ON または OFF にタッチする



ON	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

■ 点滅表示を設定する

渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 点滅表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	点滅表示します。
OFF	点滅表示しません。

■規制表示を設定する

規制情報と規制区間を地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (MENU)を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 規制表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	規制情報と規制区間を表示します。
OFF	規制情報と規制区間を表示しません。

■駐車場情報マーク表示を設定する

駐車場の満空情報マークを地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (MENU)を押し、設定・編集機能設定にタッチする

2 駐車場情報マーク表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	駐車場のVICS情報マークを表示します。
OFF	駐車場のVICS情報マークを表示しません。

■ 区間旅行時間表示を設定する

区間旅行時間マークを地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

☞メモ

- ・渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 区間旅行時間表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	区間旅行時間マークを表示します。
OFF	区間旅行時間マークを表示しません。

ビーコン情報の自動表示

別売のETC2.0対応ユニットが接続されているときは、ビーコンやITSスポットから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容を設定した時間だけ表示させることができます(ビーコン即時表示)。



表示された情報は、設定された表示時間経過後に自動的に消えます。また(現在地)を押すか、戻るにタッチして消すこともできます。

☞メモ

- ・交差点案内表示中は、ビーコン文字・図形情報は表示されません。
- ・別売のETC2.0対応ユニットを接続している場合は、ITSスポットからの静止画像、音声、図形または文字の5.8 GHzVICS情報が表示または音声案内されます。

■ ビーコン即時表示の表示内容を設定する

受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報から、即時に表示する情報の種類を設定します。

工場出荷時は「文字・図形」、ETC2.0対応ユニット装備車の場合は「文字・図形・音声」です。

☞メモ

- ・「文字・図形・音声」は、別売のETC2.0対応ユニットの接続時に操作できます。
- ・ITSスポットの5.8 GHzVICS情報を即時表示するには、設定を「文字・図形・音声」にしてください。

1 (MENU) を押し、設定・編集—機能設定にタッチする

2 ビーコン即時表示にタッチする



3 設定する表示にタッチする



文字・図形・音声	文字情報、図形情報 (ITSスポットは画像情報含む)、音声情報 (ITSスポットのみ) を即時表示します。
文字・図形	文字情報または図形情報のいずれかを即時表示します。
図形	図形情報のみを即時表示します。
OFF	即時表示しません。

メモ

- OFFに設定していても、最優先情報(緊急メッセージ情報など)や優先情報(注意警戒情報など)が、割込み表示されます。
- 「文字・図形」または「図形」を選択時は、音声情報を含む情報をITSスポットから受信した場合でも音声は再生されません。
- OFFに設定した場合、受信した情報を確認するには、セントラルメニューの**情報—渋滞情報—履歴取得**と操作して表示します。

■ビーコン即時表示の表示時間を設定する

受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報から、即時に表示する情報の種類を設定します。
工場出荷時は「10秒」です。

メモ

- ビーコン即時表示の設定がOFF以外のときに操作できます。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **ビーコン即時表示時間** にタッチする



3 **設定する時間** にタッチする



5秒	5秒間即時表示します。
10秒	10秒間即時表示します。
15秒	15秒間即時表示します。

ルート上の渋滞情報を自動で案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内しませぬ(渋滞オートガイド)。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

■渋滞オートガイドを設定する

ルート案内時、ルート前方に渋滞が発生した場合、渋滞情報を自動的に案内するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集—機能設定** にタッチする

2 **渋滞オートガイド** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	渋滞情報を自動で音声案内します。
OFF	渋滞情報を自動では音声案内しません。

ルート上の渋滞情報を手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を文字表示と音声で案内できます(渋滞チェック)

1 ルート案内中に、**渋滞**にタッチする

渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



メモ

- 5カ所先の渋滞場所まで順に案内できます。
- 渋滞情報がない場合は、ルート上の規制情報を表示・案内します。
- 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形などのVICS情報を表示・再生できます。

■ FM多重VICSの図形情報を表示する

レベル2(簡易図形)の広域情報を表示します。

1 **MENU** を押し、**情報** - **渋滞情報** にタッチする

2 **図形情報** にタッチする



3 見たい情報の番号にタッチする



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、**◀**や**▶**にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- **目次**にタッチすると、見たい情報の番号を選ぶ画面に戻ります。
- **選局**にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→P142の「放送局を選ぶ」

■ FM多重VICSの文字情報を表示する

レベル1(文字)の広域情報を表示します。

1 **MENU** を押し、**情報** - **渋滞情報** にタッチする

2 **文字情報** にタッチする



3 見たい情報の番号にタッチする



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、**◀**や**▶**にタッチすると、ページを送ります。**先頭/最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- **目次**にタッチすると、見たい情報の番号を選ぶ画面に戻ります。
- **選局**にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→P142の「放送局を選ぶ」

FM多重VICSのセンター情報を表示する

VICSセンターからの情報を表示します。

1 **(MENU)**を押し、**情報**→**渋滞情報**にタッチする

2 **センター情報**にタッチする



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、**◀**や**▶**にタッチすると、ページを送ります。**先頭/最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、先頭ページ、または最終ページが表示されます。

ビーコン情報を表示・再生する

受信したビーコン情報およびITSスポット情報の履歴がリスト表示されます。履歴情報はあとから表示することができます。ITSスポットからの情報は音声情報の再生もできません。

情報

メモ

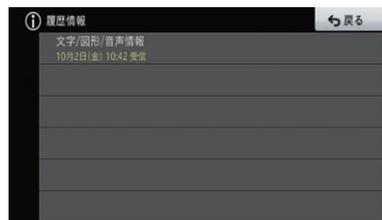
- 「ビーコン情報」は、別売のETC2.0対応ユニットが接続されていて情報があるときに選択できます。

1 **(MENU)**を押し、**情報**→**渋滞情報**にタッチする

2 **履歴取得**にタッチする



3 見たい情報にタッチする



ビーコン情報



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	■、■にタッチして、周波数を自動チューニングします。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

ITSスポット情報



図形	図形および静止画情報を表示します。
文字	文字情報を表示します。
再生	音声情報を再生します。
停止	音声情報の再生を停止します。

放送局の受信感度を確認する

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **渋滞情報** にタッチする



Highと表示されれば受信感度が良好であることを示します。Lowと表示されたときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

放送局を選ぶ

渋滞情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **渋滞情報** にタッチする
- 2 **放送局選択** にタッチする



- 3 **放送局を探す方法** にタッチする



各種情報の利用

本機に収録・蓄積されたいろいろな情報を確認できます。

エコステータス詳細情報を見る

エコステータスの内容を詳しく見ることができます。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **エコステータス詳細** にタッチする



eスタート率	発進から5秒後の速度などによる発進評価を行い、判定します。
一定速度率	停車時を除き、1秒間の速度変化が少ない安定した走行をしている状態をいいます。
アイドリング率	エンジンがかかっていて、車速が0 km/hの状態をいいます。
平均燃費	前回の運転と今回の運転の平均燃費が表示されます。
累積平均(グラフ)	過去4回分と今回の平均燃費と累積の平均燃費が表示されます。

■エコステータスの表示色について

eスタート率、一定速度率、アイドリング率、平均燃費それぞれの結果を前回の運転と比較して以下のような表示色で表示します。

- 青色：向上した場合
- 白色：変化がない場合
- 赤色：悪化した場合

またeスタート率、一定速度率、非アイドリング率を加味した総合評価を行い、壁紙の絵が3段階で変化します。

センサー学習の状況を確認する

現在のセンサー学習状況を確認できます。

①注意

- 走行状態の確認は必ず同乗者が行き、運転者は運転に専念してください。
- 速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと異なることがあります。
- タイヤ交換やチェーン装着した場合、または悪路（雪道など）を走行してスリップした場合、タイヤの外径が変化したことを自動で検出し、センサーの距離学習を再学習し直すことがあります。

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする

- 2 **センサー学習状況** にタッチする



■トリップ/パルス数/速度

現在本機が認識しているトリップ、パルス数、速度が表示されます。

☑メモ

- **トリップ**または**パルス数**にタッチすると積算された数字をリセットできます。
- 電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。

- 本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。
- 学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態により、積算されない場合があります。

■ センサー学習

現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）、または「センサー初期学習中」が表示されます。

🔍 メモ

- **センサー学習**にタッチすると、**オールリセット**と**距離学習リセット**が表示されます。**オールリセット**にタッチすると、センサー学習をすべてリセットできます。**距離学習リセット**にタッチすると、距離学習のみリセットできます。ナビゲーション本体の取り付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット**を選択してください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット**を選択してください。
→P258の「センサー学習」

■ 前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

■ 傾斜計

道路に対して本機の上下の傾き（傾斜）がイラストで表現されます。

■ 距離/方位/傾斜(3D)の学習度

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

🔍 メモ

- 傾斜（3D）学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認してください。

接続状態を確認する

正しく表示されない場合は、取付要領書を参考に取付け状態を確認してください。

- 1 **MENU** を押し、**情報—システム情報**にタッチする
- 2 **接続状態**にタッチする



🔍 メモ

- <<前ページ>>次ページでページ送りできます。

■ 車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」、車速パルスが受信できない場合は「測定不可」と表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

■ 電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示され、電源電圧が測定できない場合は「測定不可」と表示されます。エンジンをかけた状態で11V～15Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

■ イルミネーション

イルミネーションの状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

■バック信号

バック信号入力の取付け状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。バック信号が検知できない場合は「測定不可」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバース位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

☞メモ

- 接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。
- 別売のバックカメラを利用するときは必ず接続してください。接続しないと、バックカメラ映像に切り換わりません。

■パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。

■GPSアンテナ

GPSアンテナの取付け状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」、GPS測位ができない場合は「測定不可」と表示されます。右側に表示されているアンテナのイラストでGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすしい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

■測位状態

測位状態（3次元測位、2次元測位、未測位）と、測位に使われている衛星数（橙色）、受信中の衛星数（黄色）が表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在の測位が可能になります。→P265の「ナビゲーションのしくみ」

■取付位置

ナビゲーション本体の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」、設置状態に問題があるときは、「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されます。取付位置の情報取得に失敗している場合は「測定不可」と表示されます。

■Bluetooth機器 1・Bluetooth機器 2

本機に登録したBluetooth機器（1台目/2台目）の接続情報（接続機器名、Bluetoothデバイスアドレス、使用プロファイル名、電波強度※）が表示されます。またナビ本体とBluetooth機器間の電波状態がイラスト表示されます。

※ ナビゲーション本体とBluetooth機器間の電波強度（リンク強度）を示します。現在地画面やAVソース画面右下に表示されるBluetoothのアンテナマークは、ハンズフリー接続しているBluetooth機器の基地局から電波の受信強度を示します。

■ETCユニット/ETC2.0ユニット

ETC/ETC2.0対応ユニット（別売）の取付け状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」、エラーが発生したときは、エラー番号が表示されます。

■車載器管理番号

ETC/ETC2.0対応ユニット（別売）の番号が表示されます。ユニットが正しく接続されていない場合は表示されません。

■カード有効期限

現在接続中のETC/ETC2.0対応ユニット（別売）に挿入したカードの有効期限が表示されます。ユニットが正しく接続されていない場合や、ユニットの機種によっては表示されません。

SDカード情報を確認する

本機に挿入されているSDカードの内容を確認できます。

1 **(MENU)** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする

2 **SDカード情報** にタッチする





使用済みの容量 (GB) と空き状態が表示されます。

メモ

- 本機にはSDカードのフォーマット機能はありません。専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/home.html>

バージョン情報を確認する

地図やソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

- (MENU)** を押し、**情報** - **バージョン情報** にタッチする



メモ

- データ更新** にタッチすると、SDカードにダウンロードしてある情報に更新できます。
- データ更新後、挿入されているSDカード内のデータ更新が正常に完了している場合は、各項目の後に* (アスタリスク) が表示されます。データ更新後に* (アスタリスク) が表示されるのは、プログラムバージョン(ナビゲーション)、地図データ、検索データの3項目です。

プログラムバージョン(ナビゲーション)

ナビゲーションシステムのバージョンが確認できます。

地図データ

地図データのバージョンが確認できます。

検索データ

検索データのバージョンが確認できます。

デバイスナンバーを確認する

ナビゲーションのデバイスナンバーを確認できます。

- (MENU)** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする



オーディオ基本操作

AVソース切り換えなどの基本操作について説明します。

AVソースを切り換える

CD、DVDなどの音源や映像(以降、AVソース)を切り換えます。

メモ

- 接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースには、切り換わりません。

- MENU**を押し、**←AV**にタッチする
AVメニューを表示中は、**←AV**にタッチする必要はありません。また、**AV**を押し、AVメニューを表示することもできます。



- お好みのAVソースにタッチする



選んだAVソースに切り換わります。

AVソースをOFFにする

- MENU**を押し、**AV OFF**にタッチする



AVソースがOFFになります。

メモ

- AV**を長く押し、AVソースをOFFにすることもできます。

映像系AVソースについて

TVやDVDなどの映像系AVソースでは、タッチ操作を行っていないときは映像表示のみに切り換わります。

映像画面の時計表示を設定する

DVDなどの映像画面表示時に、時計を表示するかどうかを設定します。
工場出荷時は「OFF」です。

- MENU**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする
- その他設定**にタッチする



- 映像画面時刻表示設定にタッチする



- ON**または**OFF**にタッチする



ON	時刻を表示します。
OFF	時刻を表示しません。

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオを受信する

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **FM**または**AM**にタッチする
▼

ラジオのAVソース画面(プリセットチャンネルリスト)が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

- 4 リストから受信したい周波数や放送局にタッチする

例：FM



放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況により、受信できない場合があります。

トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

メモ

- FMステレオ放送を受信した場合は[STEREO]が表示されます。
 - 本機はワイドFM(FM補完放送)に対応しています。
- ワイドFM受信中は、放送局名の表示およびエリアプリセットには対応していません。
- また、ワイドFMの周波数をユーザープリセットに登録した場合も、放送局名は表示されません。

ユーザープリセットとエリアプリセットを切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
▼

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **プリセット切換**にタッチする



タッチするごとに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。

エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更になった場合に、以下の状態になることがあります。

放送局が受信できない
受信した放送局と表示された放送局名が異なる

メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選択できます。

バンドを切り換える

本機ではFM/AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー（P1～P6）を使い分けることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **バンド**にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。
FM1 ⇄ FM2
AM1 ⇄ AM2

メモ

- 普段はFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録できます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **BSM**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。
受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

放送受信

メモ

- エリアプリセットを選択している場合でも、**BSM**にタッチすると自動的にユーザープリセットに切り換わります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットのFM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録できます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **プリセット切換**にタッチして、ユーザープリセットにする
- 5 **◀▶**にタッチして、登録したい周波数を選ぶ



- 6 登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセット枠に登録されます。

◀▶または**▶▶**に長くタッチして指を離すと、自動で受信できる放送局を探し、タッチし続けると、周波数を連続で送ります。

プリセットチャンネルを切り換える

FMまたはAMの受信中に、プリセット局を切り換えます。ユーザープリセットやエリアプリセットに設定されている放送局は、以下の手順で切り換えます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **◀▶**または**▶▶**を押す

プリセット局が切り換わります。

受信可能な放送局を探す

FMまたはAMの受信状態が悪くなったときに、受信状態の良い放送局を探して切り換えます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **FM**または**AM**にタッチする
- 4 **◀▶**または**▶▶**に長くタッチする

受信状態の良い放送局に切り換わります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調整すると、交通情報用の音量として設定できます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは前回設定した音量で聞くことができます。

交通情報を受信する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

▼
AVメニューが表示されます。

- 3 **交通情報**にタッチする

▼
交通情報画面が表示され、前回聞いていた周波数の交通情報を受信します。



交通情報の周波数を切り換える

交通情報の受信中に、周波数を切り換えます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

▼
AVメニューが表示されます。

- 3 **交通情報**にタッチする

▼
交通情報画面が表示され、前回聞いていた周波数の交通情報を受信します。



- 4 **1620kHz**または**1629kHz**にタッチする

▼
周波数が切り換わります。

地上デジタルテレビ放送(DTV)を見る

テレビの視聴のしかたを説明します。

❗注意

- 走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。

📌メモ

- ご購入後、初めてテレビの機能を利用される場合は、チャンネルスキャンの実行といった準備作業が必要です。詳しくは製品に同梱の『取扱説明書』をご覧ください。また、以下の場合においても、チャンネルスキャン操作が必要です。
 - 視聴者設定クリアをしたとき→P165の「視聴者設定クリア」
 - 別のエリアに移動したとき

地上デジタルテレビ放送(DTV)を見る

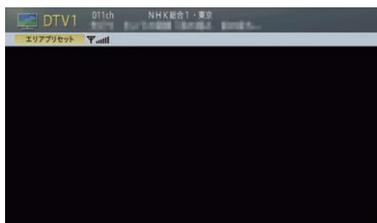
1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

視聴画面が表示され、前回視聴していた放送局を受信します。



📌メモ

- テレビの音量は、他のAVソースより低いいため、他のAVソースからテレビに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いを揃えることができます。→P223の「ソースレベルアジャスター設定」

■アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンが表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV(ハイビジョン放送)
	SDTV(標準画質放送)
	ワンセグ(1セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	音声情報(複数音声がある場合は、右側に現在選択している音声の情報が表示されます。)
	字幕情報(字幕がある場合は右側に現在選択している字幕の情報が表示されます。)
	映像情報(複数映像がある場合は、右側に現在選択している映像の情報が表示されます。)
	アンテナの受信感度

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 プリセット切換にタッチする



タッチするごとに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更になった場合に、以下の状態になることがあります。放送局が受信できない
受信した放送局と表示された放送局名が異なる

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選択できます。また、「地域設定」をオートにしていれば、本機をお使いの地域が変更されても、自車位置情報から自動で自車のエリアリストにある放送局を表示します。
- にタッチすると、リストを縮小表示にすることができます。また、にタッチすると、縮小表示を解除します。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局ずつ手動で登録できます。バンドの切り換え方法は→P161の「バンドを切り換える」

1 **(MENU)**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **プリセット切換**にタッチして、**ユーザープリセット**にする



5 **◀/▶**にタッチして、登録したいサービスを選ぶ



受信できる物理チャンネルを自動的に探し、受信すると止まらせる(SEEK)には、**◀/▶**に長くタッチしてください。

6 登録したいプリセットの枠を2秒以上タッチする



現在受信中のサービスが、選んだリストに登録されます。

メモ

- 上書き登録が可能です。登録した内容を消去する場合は、視聴者設定クリアを行ってください。→P165の「視聴者設定クリア」

チャンネルを切り換える

視聴している番組を切り換えます。

■プリセット済みのチャンネルを切り換える

ユーザープリセットやエリアプリセットでリスト表示されている放送局は、以下の手順で切り換えます。

1 **(MENU)**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **(◀◀)**または**(▶▶)**を押す

チャンネルが切り換わります。

■ 3桁チャンネルを切り換える

3桁チャンネルを順に送ることができます。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **◀/▶**にタッチする



日付が切り換わります。
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。番組情報を取得するには→P158の「番組情報を取得する」を参照してください。または、空欄部分にタッチするか、**△**/**▽**/**◀**/**▶**で空欄部分を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

■ 番組表の時間を切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **番組表**にタッチする



番組表の操作のしかた

本機が取得したチャンネルの、当日から最大1週間先までの電子番組表 (EPG) を利用できます。

■ 番組表の日付を切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **番組表**にタッチする



- 5 **△/▽**にタッチする



- 5 **前日、翌日**にタッチする



時間が切り換わります。
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。番組情報を取得するには→P158の「番組情報を取得する」を参照してください。または、空欄部分にタッチするか、**▲**/**▼**/**◀**/**▶**で空欄部分を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

■番組表の表示方法を切り換える

- 1** **MENU**を押す
- 2** **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3** **DTV**にタッチする
- 4** **番組表**にタッチする



- 5** **切換**にタッチする



タッチするごとに、画面の表示が以下のようになり切り換わります。

4チャンネル表示→7チャンネル表示→単一チャンネル表示→4チャンネル表示に戻る
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。番組情報を取得するには→P158の「番組情報を取得する」を参照してください。または、空欄部分にタッチするか、**▲**/**▼**/**◀**/**▶**で空欄部分を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

■ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索できます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組です。

- 1** **MENU**を押す
 - 2** **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3** **DTV**にタッチする
 - 4** **番組表**にタッチする



- 5** **切換**にタッチする



- 6** **見たい番組のジャンル**にタッチする



そのジャンルに該当する番組が表示されます。

4 番組表にタッチする



ジャンル検索画面表示中に \blacktriangle / \blacktriangledown でジャンルを選び、カラーボタン(、 \blacktriangle 、 \blacktriangledown 、 \blacktriangleleft 、 \blacktriangleright)にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

7 見たい番組にタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。番組の情報が表示されている画面で \blacktriangleright にタッチすると、その番組の視聴予約ができます。詳しくは「視聴予約をする」の手順7をご覧ください。

\blacktriangleright にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。番組情報を取得するには→P158の「番組情報を取得する」を参照してください。または、空欄部分にタッチするか、 \blacktriangle / \blacktriangledown / \blacktriangleleft / \blacktriangleright で空欄部分を選んで \blacktriangleright にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

■ 視聴予約をする

見たい番組を予約できます。毎日や週間などの予約スケジュールを指定することや、予約を確認・編集したり、予約を取り消すことができます。

1 MENU を押す

2 \blacktriangleleft -AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 DTVにタッチする

5 これから放送する番組枠にタッチする



選んだ番組の概要が表示されます。

6 予約にタッチする



7 予約スケジュールにタッチする



一回予約	選んだ番組を一回だけ予約します。
毎日予約	選んだ番組を毎日予約します。
毎週予約	選んだ番組を毎週予約します。

スケジュールを選ぶとメッセージが表示されます。

8 確認にタッチする

メモ

- 放送の時間帯が重複する番組は予約できません。
- 毎日予約、毎週予約で予約されるのは、選んだ番組と同じ放送局の同じ放送時間帯です。番組の放送時間が変更になった場合は、違う番組を受信する場合があります。
- 予約した時刻に受信可能な地域にいない場合は、受信できません。
- 予約した時刻に本機が起動していない場合は、設定した視聴予約は実行されません。
- 毎日予約、毎週予約してある番組でも、表示される番組名は、予約した際の番組名です。
- 予約視聴開始の案内メッセージは、現在地画面およびAVメニュー以外のAVソース画面で表示されます。
- 100件まで予約できます。
- 予約した番組の放送開始時刻になると、メッセージが表示されます。**[はい]**にタッチすると予約しておいた番組が受信されます。番組情報取得中など、別の機能を実行中は**[はい]**にタッチしても予約していた番組が受信されない場合があります。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **番組内容**にタッチする



番組内容が表示されます。



戻るまたは**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

予約済み番組を確認/編集する

予約済みの番組内容を確認できます。また予約スケジュールを編集することもできます。

- 1 **[MENU]**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **次ページ**—**予約済み番組**にタッチする



予約済みの番組がないときは**予約済み番組**にタッチできません。

- 5 **確認/編集**にタッチする

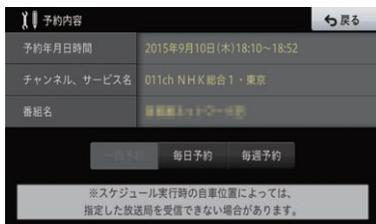


- 6 **確認したい予約済み番組**にタッチする



リスト表示中に予約している番組の時間になった場合、「一回予約」として予約されているものはリストから消えます。

選んだ予約済み番組の内容が表示されます。



予約スケジュールを編集するには、「一回予約」、「毎日予約」、「毎週予約」の中から希望するスケジュールにタッチしてください。設定を実施したメッセージが表示され、確認にタッチすると確認/編集画面に戻ります。

番組の予約を消去する

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **次ページ**予約済み番組にタッチする



- 5 **消去**にタッチする



6 消去したい予約済み番組にタッチする



リスト表示中に予約している番組の時間になった場合、「一回予約」として予約されているものはリストから消えます。選んだ予約済み番組には「**[✓]**」マークが付きます。引き続き選択できます。**全選択**にタッチしてすべて選択できます。**全解除**にタッチすると、選択が解除されます。

7 消去**はい**にタッチする

選んだ予約済み番組が消去されます。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状況にします。

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **番組情報取得**にタッチする

AVメニューが表示されます。



中止にタッチすると、取得を中止します。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーとサービスリストに自動的に登録できます。バンドの切り換えかたは→P161の「バンドを切り換える」

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **次ページ**—**スキャン**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、取得を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットとサービスリストに放送局が登録されます。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで受信状態が悪くなった場合は、同じ放送局で別エリアの中継局が存在する場合に限り、次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする

- 4 **プリセット切換**にタッチして、エリアプリセットにする



- 5 受信中の放送局名にタッチする

メモ

- 「オート放送局サーチ設定」の設定値を「中継局+系列局」または「中継局」にしておくと、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り換えることができます。→P164の「オート放送局サーチ設定」
- エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャンをしてください。→P159の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

■パネルタッチキーの操作

パネルタッチキーには、十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **十字**にタッチする





戻る	前の情報に戻ります。
d	データ放送画面と通常放送画面を切り換えます。
数字	数字パネルタッチキーに切り換えます。
▲/▼/◀/▶	カーソルを操作します。
決定	項目を決定します。
青、赤、緑、黄	それぞれの色ボタンとして機能します。
ESC	設定を取り消したり、実行を中止するとき使います。
←位置/位置→	パネルタッチキーの表示位置を変更します。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。

数字パネルタッチキー



戻る	前の情報に戻ります。
十字	十字パネルタッチキーに切り換えます。
数字キー (1~10/0、11/*、12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
←位置/位置→	データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする

4 dにタッチする



データ放送の画面に切り換わります。データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面をタッチして**d**にタッチします。

メモ

- 地域を対象としたサービス（設定した地域の天気予報や選挙速報など）を行っている場合は、「郵便番号設定」で設定した地域の情報を受信します。出荷時は、オート（自車位置）に設定されています。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕言語と表示のON/OFFを切り換えることができます。

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DTV**にタッチする
- 4 **次ページ**字幕切換にタッチする



タッチすることにより、次のように切り換わります。字幕1→字幕2→字幕OFF→字幕1に戻る

メモ

- 切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

音声を切り換える

番組に複数の音声言語があるときに、切り換えできます。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **次ページ** **音声切換**にタッチする



タッチすること、次のように切り換わります。
第1音声→第2音声→第3音声→第1音声に戻る

メモ

- 切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **次ページ** **映像切換**にタッチする



タッチすること、次のように切り換わります。
映像1→映像2→映像3→映像1に戻る

メモ

- 切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

音声多重を切り換える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **次ページ** **音声多重**にタッチする



タッチすること、次のように切り換わります。
MAIN→SUB→MAIN+SUB→MAINに戻る
MAIN: 主音声(日本語)
SUB: 副音声(外国語)
MAIN+SUB: 主音声・副音声(日本語・外国語)

バンドを切り換える

本機では2つのバンド「BAND1/BAND2 (DTV1/DTV2)」があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー(P1～P12)を使い分けることができます。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DTV**にタッチする
 - 4 **次ページ** **バンド**にタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。
BAND1 (DTV1)⇔BAND2 (DTV2)

メモ

- 普段はBAND1 (DTV1) を使用し、旅行先ではBAND2 (DTV2) を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

ワイドモードを設定する

4:3等の映像をワイド映像に拡大する方法を選択できます。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

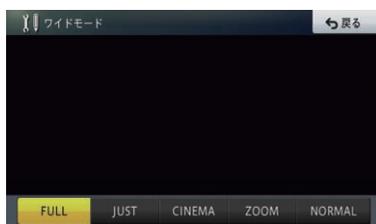
AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **次ページ**—**次ページ**—**ワイドモード**にタッチする



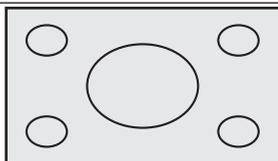
5 **お好みの表示方法**にタッチする



表示方法が設定されます。

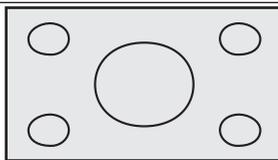
FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



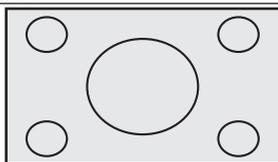
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



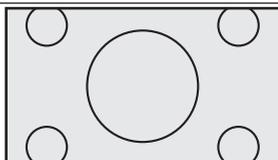
CINEMA (シネマ)

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



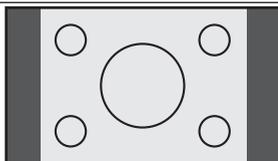
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。



メモ

- ・4：3等のテレビ放送の番組でZOOM、NORMAL以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- ・CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- ・通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

バージョン情報を表示する

本機のソフトウェアのバージョン情報を表示します。

1 **(MENU)**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **次ページ** **次ページ** **バージョン情報**にタッチする



バージョン情報が表示されます。
バージョン情報画面で**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

サービスリストを表示する

現在受信中のサービスをリストで表示します。

メモ

- ・チャンネルスキャンしていない場合、サービスは表示されません。

1 **(MENU)**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **次ページ** **次ページ** **サービスリスト**にタッチする



5 表示したいリスト項目にタッチする



選んだサービスが表示されます。
戻るまたは**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

放送受信

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 **(MENU)**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **DTV**にタッチする

4 **次ページ** **次ページ** **サービス切** **換**にタッチする



別のサービスが表示されます。

TVの機能設定を行う

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定メニューがあります。

メモ

- AVソースがOFFまたは他のAVソースを選択中の場合は、設定できません。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする

2 **DTV設定** にタッチする



3 設定する項目にタッチする



メモ

- 視聴設定、環境設定にタッチすると、それぞれに分類された項目がリスト表示されます。

■設定内容の詳細

「視聴設定」メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切替設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送(12セグ)とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。

「切替設定」

オート*	受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り換えます。
マニュアル	通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。

「シンク切替」

ON*	受信状況の変化によって、12セグとワンセグの切替が発生する際に、映像、音声スムーズに切り換わります。
OFF	受信状況の変化によって、12セグとワンセグの切替が発生する際に、映像、音声スムーズに切り換わりません。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

中継局+系列局*	自動で中継局・系列局を探します。
中継局	自動で中継局を探します。
OFF	中継局、系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

第1言語*	第1言語で表示します。
第2言語	第2言語で表示します。
OFF	文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

視聴中の番組が別のチャンネルで延長放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

オート	自動でチャンネルを切り換えます。
マニュアル*	手動でチャンネルを切り換えます。

「環境設定」メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、BAND1、BAND2でそれぞれ保存されます。

オート*	自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
マニュアル	手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、BAND1、BAND2でそれぞれ保存されます。

オート*	自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
マニュアル	手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

番組表表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか全チャンネルにするかを設定します。

メインチャンネル*	メインチャンネルの番組表を表示します。
全チャンネル	全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーすべてで放送を受信するか、受信と機能を2+2チューナーで分けるか設定します。機能とは、中継局サーチや他の放送局の番組表取得などです。

4チューナー固定	4つのチューナーすべてで放送を受信します。
オート*	必要に応じて2つのチューナーで放送を受信し、残りの2つのチューナーで受信状態のよい中継局を探したり、番組表を取得したりします。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

はい	設定をクリアします。
いいえ	設定をクリアしません。

メモ

- チャンネルおよび番組表、機能設定（視聴設定、環境設定）が消去されます。

音楽CDを聴く

音楽CDの再生のしかたを説明します。

音楽CDを再生する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **CD**にタッチする

音楽CDが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

- ディスクの判別をするため、再生までに時間がかかります。
- 本機で再生したことのない音楽CDを挿入すると、自動的にMSV(ミュージックサーバー)への録音を開始します。自動録音の設定は、ON/OFFすることができます。→P171の「録音設定をする」

トラックを切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **CD**にタッチする

音楽CDが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**を押す

トラックがダウン/アップします。

早戻し/早送りする

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **CD**にタッチする

音楽CDが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**に長くタッチする

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

リストから曲を選んで再生する

リストを表示して、直接聞きたい曲を選んで再生できます。

メモ

- 録音中はリストの操作ができません。録音を中止してから操作してください。→P169の「録音を停止する」

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

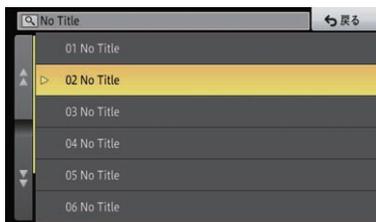
AVメニューが表示されます。

3 **CD**にタッチする

4 **リスト**にタッチする



5 聴きたい曲(トラック)にタッチする



選んだ曲(トラック)が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、2種類から選択できます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
(トラックリピート)	再生中のトラック(曲)をリピートします。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **CD**にタッチする

4 **リピート**にタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート ↔ トラックリピート

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(トラックリピート中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるディスクリピートは、画面に表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

 (ランダム ON)	再生する曲をランダムに選びます。
ランダム OFF	再生する曲をランダムに選びません。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **CD**にタッチする
- 4 **ランダム**にタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はディスクリピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生など)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **CD**にタッチする
- 4 **▶II**にタッチする



再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

音楽CDを録音する

音楽CD (以降CD)の楽曲をSDカードに録音できます。録音した楽曲は、MSV/SDソースで再生できます。→P195の「SD/USBを使う」

CDから録音するには

本機で再生したことのないCDを挿入すると、自動的に本機に挿入済みのSDカードへの録音が始まります。



メモ

- 工場出荷時は、自動的に録音が始まる設定になっています。→P171の「録音設定をする」
- すべての曲の録音が終わると、再生中だった曲の次の曲から通常再生が始まります。
- 録音中に、他のAVソースに切り換えても録音は継続しますが、SDカード取り外しの操作を行うと録音停止のメッセージが表示されます。停止してよい場合は「はい」にタッチし、SDカードを取り外してください。この場合、再度SDカードを挿入しても自動的に録音を開始しないことがあります。録音が始まらないときは、AVソースをCDにして「録音開始」にタッチしてください。
- 録音中は、画面下部に「REC」が表示されます。
- 「リスト」にタッチしてリスト画面を表示すると、録音の状況がわかります。未録音の曲には「■」が表示されます。(録音が完了した曲には何も表示されません。)
- CDからの録音音質は、「標準」と「高音質」を選ぶことができます。工場出荷時は「標準」に設定されています。設定の変更は録音前に行ってください。→P171の「録音設定をする」
- CD以外のAVソース(ラジオやDVDなど)は録音できません。
- WMA/MP3/AACなどの楽曲データを記録した媒体(CD-Rなど)は録音できません。

録音を停止する

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **CD**にタッチする
 - 4 **録音停止**にタッチする



録音が停止します。
録音を再開する場合は、「録音開始」にタッチします。

メモ

- すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、「録音停止」にタッチして録音を中止してください。

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

①注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむことは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音音質を標準に設定している場合、高効率の圧縮方式を採用しているため、音源により原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。

CD録音の制限について

- 標準的なCD (44.1 kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ) 以外のCDからは録音できません。
 - コピーコントロールCDの録音については保証していません。
 - 録音中はSDカード内のデータを編集する機能(タイトル取得、録音データ全消去、アルバム消去、トラック消去、マイミックスから消去)およびMSVタイトルエディターの編集内容の反映は実行できません。
 - 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。CD録音の制限(最大数)は以下のとおりです。制限を超えて録音することはできません。
- アルバム数：300枚(パソコンからコピーした楽曲ファイルも含む)
- 1アルバムあたりのトラック数：99曲
- 総トラック数：最大5 000曲(パソコンからコピーした楽曲ファイルも含む)
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音した場合、本機での再生時には曲間で音が途切れます。
 - 楽曲間が短い音楽CDを録音すると、曲の最初や最後に前後の曲の一部が録音される場合があります。

タイトル表示について

本機は、Gracenote音楽認識サービスのタイトル情報(曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど)をデータベースとして内蔵しています。挿入した音楽CDに記録されている情報が、データベースに登録されている情報と合致すると、タイトル情報が表示されます。



メモ

- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示できます。→P205の「タイトル情報の取得」
- CD再生中画面や録音中画面に表示されるタイトル情報は共通のタイトル情報を使用しています。

録音設定をする

未録音のCDを再生したときに、自動的に録音を行うかどうか、および録音音質の設定を行います。

メモ

- 録音中は設定できません。

オート録音モードを設定する

録音していないCDを再生すると、自動的にSDカードに録音を開始します。工場出荷時は「ON」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** → **ソース別設定** にタッチする

2 **MSV/SD設定** → **録音設定** にタッチする



3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動で録音します。
OFF	自動で録音しません。

録音モードが設定されます。

メモ

- オート録音を行わない場合は「OFF」に設定してください。設定が「ON」の状態では、CDの再生開始に時間がかかる場合があります。
- 「OFF」に設定した場合は、**録音開始** にタッチすると録音を開始できます。

録音音質を設定する

録音音質を「標準」または「高音質」に設定できます。「高音質」はCD同等の音質で録音されますが、「標準」に比べて録音できる曲数は少なくなります。

工場出荷時は「標準」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** → **ソース別設定** にタッチする

2 **MSV/SD設定** → **録音設定** にタッチする



3 **標準** または **高音質** にタッチする



標準	標準音質で録音します。(最大約8倍速録音)
高音質	高音質で録音します。(最大約4倍速録音)

録音音質が設定されます。

ROM-Audioを聴く

ROM-Audio (WMA/MP3/AAC) の再生のしかたを説明します。

ROM-Audioを再生する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする

ROM-Audioが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

- ディスクの判別をするため、再生までに時間がかかります。

トラックを切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする

ROM-Audioが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **⏮**または**⏭**を押す

トラックがダウン/アップします。

フォルダーを切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする

ROM-Audioが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **⏮**または**⏭**を長く押す

フォルダーがダウン/アップします。

リストから曲を選んで再生する

リストを表示して、直接聞きたい曲を選んで再生できます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする
- 4 **リスト**にタッチする



- 5 聴きたい曲(トラック)にタッチする



階層分けされたディスクの場合、一番上の階層が表示されます。フォルダー選択などで階層を下げた場合は、**戻る**にタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で**戻る**にタッチすると、通常再生画面に戻ります。

選んだ曲(トラック)が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。
- リスト表示中に**終了**にタッチすると、どの階層であっても、通常再生画面に戻ることができます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
(トラックリピート)	再生中のトラック(曲)をリピートします。
(フォルダーリピート)	再生中のフォルダーをリピートします。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする
- 4 **リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→トラックリピート→フォルダーリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(トラックリピート中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるディスクリピートは、画面に表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

 (ランダムON)	再生する曲をランダムに選びます。
ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする
- 4 **ランダム**にタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はフォルダーリピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生など)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

早戻し/早送りする

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **ROM**にタッチする
- 4 **◀◀**または**▶▶**にタッチする

AVメニューが表示されます。



タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **ROM**にタッチする
- 4 **▶||**にタッチする



再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

DVDビデオを見る

DVDビデオの再生のしかたを説明します。

①注意

- 走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。

DVDビデオを再生する

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **[DVD]**にタッチする

DVDの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

- ディスクにより、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→P176の「ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する」
- DVDビデオの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDビデオに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いを揃えることができます。→P223の「ソースレベルアジャスター設定」

チャプターを切り換える

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **[DVD]**にタッチする

DVDの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**を押す

チャプターがダウン/アップします。

タイトルを切り換える

複数のタイトルが収録されたディスクは、タイトルを切り換えることができます。

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **[DVD]**にタッチする

DVDの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**を長く押す

タイトルが切り換わります。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
 (チャプターリピート)	再生中のチャプターを繰り返します。
 (タイトルリピート)	再生中のタイトルを繰り返します。

- 1 **[MENU]**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **[DVD]**にタッチする

- 4 **リピート**にタッチする





タッチすると、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
 ディスクリピート→チャプターリピート→タイトルリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- 選んだリピート範囲は、AVソースプレートに表示されますが、通常再生であるディスクリピートはAVソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置により、 (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(チャプターリピート中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。本機は、表示されるディスクメニューに直接タッチして操作できます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **トップメニュー**または**メニュー**にタッチする



- 5 画面にタッチして操作する



メモ

- にタッチして、ディスクメニュー操作キーで操作することもできます。→P176の「ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する」

ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくて、ダイレクトタッチでは操作しにくいときや、文字列の一部が に隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作できます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

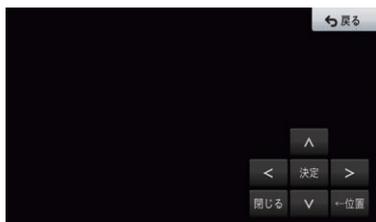
- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **トップメニュー**または**メニュー**にタッチする



- 5 にタッチする



- 6 **△/▽/◀/▶**にタッチして項目を選び、**決定**にタッチする



選んだ項目が実行されます。

メモ

- **閉じる**にタッチすると、ディスクメニュー操作キーを消すことができます。

CMを飛ばして再生する

再生中の映像を一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMを飛ばして再生するときを使うと便利です。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **CMスキップ**または**CMバック**にタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早送り/早戻しが行われます。

CMスキップ (早送り)	[30秒]→[1分]→[1分30秒]→ [2分]→[3分]→[5分]→[10分] →[0秒]→30秒に戻る
CMバック (早戻し)	[5秒]→[15秒]→[30秒]→[1分]→ [2分]→[3分]→[0秒]→5秒に戻る

メモ

- ディスクや再生位置により、⊘(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする

4 **▶▶**にタッチする



タッチするごとに、映像を1コマずつ送ることができます。

▶▶にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクにより、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のコマ送り再生はできません。
- ディスクや再生位置により、⊘(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生する

再生スピードを遅くして見ることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **▶▶**に長くタッチする



送り方向にスロー再生されます。スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	1/2→1/4→1/8→1/16
スロー-UP	1/2→1/4→1/8→1/16

▶▶にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクにより、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置により、 (禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

早戻し/早送りする

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **◀**または**▶**にタッチする



早戻し/早送りをします。**◀**または**▶**にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **▶||**にタッチする



再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

ダイレクトタッチ画面を表示する

ディスクにダイレクトタッチ操作画面が収録されている場合、ダイレクトタッチ操作画面を表示します。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **◀**にタッチする



ダイレクトタッチ画面が表示されます。

再生を停止する

再生を停止します。

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **□**にタッチする



再生を停止します。

字幕言語を切り換える

字幕言語が収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語と表示のON/OFFを切り換えることができます(マルチ字幕)。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **次ページ**—**字幕切換**にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている(2)マークの数字が、字幕言語の収録数です。
- ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語を切り換える

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます(マルチ音声)。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **次ページ**—**音声切換**にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている(2)マークの数字が、音声言語の収録数です。
- ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声方式を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

指定位置まで戻って再生する

あらかじめディスク中に戻る位置が収録されている場合、その位置まで戻って再生できます。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **次ページ**—**リターン**にタッチする



ディスクに収録されている位置まで戻り、再生をはじめます。

ワイドモードを設定する

4:3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択できます。工場出荷時は「AUTO」です。

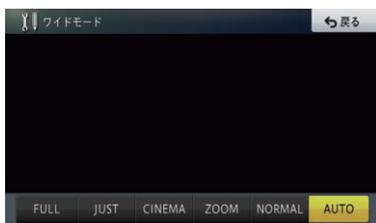
注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- 1 **MENU**を押す

2 ←AVにタッチする

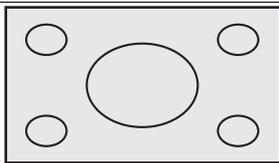
AVメニューが表示されます。

3 DVDにタッチする**4** 次ページワイドモードにタッチする**5** お好みの表示方法にタッチする

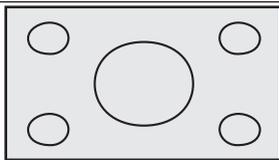
表示方法が設定されます。

FULL (フル)

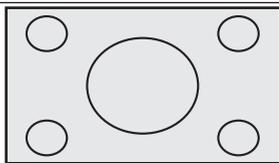
4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

**JUST (ジャスト)**

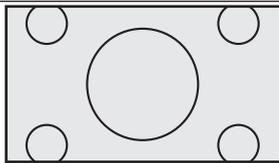
画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

**CINEMA (シネマ)**

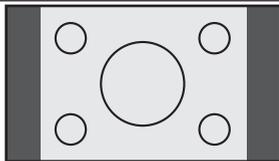
FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

**ZOOM (ズーム)**

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。

**NORMAL (ノーマル)**

4:3の映像をそのまま表示します。

**AUTO (オート)**

DVDソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

アングルを切り換える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 MENUを押す**2** ←AVにタッチする

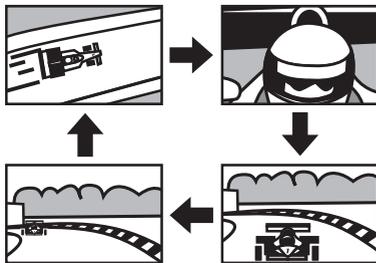
AVメニューが表示されます。

3 DVDにタッチする

- 4** 次ページアングル切換にタッチする
- アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り換えが行えます。



タッチすることにより、アングルが切り換わります。



メモ

- パッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→P184の「マルチアングルを設定する」

音声出力を切り換える

音声のリニアPCM（圧縮しない音声信号）のディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらかをスピーカーから出力するかを切り換えます。

- 1 **MENU** を押す
 - 2 **←AV** にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD** にタッチする
 - 4 次ページ **L/R切換** にタッチする



タッチすることにより、出力の設定が以下のように切り換わります。
L+R → R → L → L+R に戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。

見たい場面を指定して再生する

見たい場面を数字で指定して再生できます。

- 1 **MENU** を押す
 - 2 **←AV** にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD** にタッチする
 - 4 次ページ **10キーサーチ** にタッチする



- 5 指定する方法（サーチの種類）にタッチする



Title	タイトル番号を指定します。
Chapter	チャプター番号を指定します。
10キーモード	数字のコマンドを指定します。
TIME	再生を開始する時間を指定します。

- 6 数字キーにタッチしてサーチの種類にあわせた番号を入力し、**決定** にタッチする

指定した場面から再生をはじめます。

ブックマークを登録する

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **次ページ-ブックマーク**にタッチする



選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時にその場面より再生されます。消去する場合は、**ブックマーク**に約2秒以上タッチします。

メモ

- ブックマークの登録は、ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、使用時期の最も古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

DVDビデオの初期設定を行う

DVDビデオの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

メモ

- 初期設定を操作中は、DVDビデオの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

■基本字幕を設定する

字幕言語を設定できます(マルチ言語字幕)。

- 1 **MENU**を押し、**設定・編集-ソース別設定**にタッチする
- 2 **DISC設定-DVD-Video初期設定**にタッチする



- 3 **基本字幕**にタッチする



- 4 **日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他**からタッチする



選んだ言語に設定されます。

メモ

- **その他**にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→P187の「言語コード表」
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

■基本音声を設定する

音声言語を設定できます(マルチ言語)。

- 1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**—**ソース別設定**にタッチする
- 2 **DISC設定**—**DVD-Video初期設定**にタッチする



- 3 **基本音声**にタッチする



- 4 **日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他**からタッチする



選んだ言語に設定されます。

メモ

- **その他**にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→P187の「言語コード表」
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

■メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の言語を設定できます。

- 1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**—**ソース別設定**にタッチする
- 2 **DISC設定**—**DVD-Video初期設定**にタッチする



- 3 **メニュー言語**にタッチする



- 4 **日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他**からタッチする



選んだ言語に設定されます。

メモ

- **その他**にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→P187の「言語コード表」
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

■マルチアングルを設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定できます。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 2 **DISC設定** - **DVD-Video初期設定** にタッチする



- 3 **マルチアングル** にタッチする



- 4 **表示** または **非表示** にタッチする



表示	アングル選択マークを表示します。
非表示	アングル選択マークを表示しません。



アングル選択マークの表示/非表示が設定されます。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像 (マルチアングル) が収録されているディスクに対して有効です。

■テレビアスペクトを設定する

接続したモニターのアスペクト (画面の縦横比) を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 2 **DISC設定** - **DVD-Video初期設定** にタッチする



- 3 **TVアスペクト** にタッチする



- 4 **アスペクト** を設定する



16:9	ワイドモニター (16:9) 使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスカン	ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します。(左右にはみ出た映像は表示されません。)



アスペクト比が設定されます。

メモ

- 通常は16:9に設定してください。

■ 視聴制限を設定する

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする

2 **DISC設定** - **DVD-Video初期設定** にタッチする



3 **視聴制限** にタッチする



4 **暗証番号** を入力し、**決定** にタッチする



5 **制限レベル** にタッチする



視聴レベルの内容は以下のとおりです。

8	ディスクをすべて再生します。
7 ~ 2	成人向けディスクの再生を禁止します。（子供向けや一般向けディスクを再生します。）
1	子供向けのディスクのみ再生します。

▼
視聴制限が設定されます。

メモ

- **視聴制限** にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要です。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で **[X]** に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

■ オートプレイを設定する

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 2 **DISC設定** - **DVD-Video初期設定** にタッチする



- 3 **オートプレイ** にタッチする



- 4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

▼
オートプレイが設定されます。

◆メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用になるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アプバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ベルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サント語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スندا語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルギ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

DVD-VRを見る

DVD-VRの再生のしかたを説明します。

❗注意

- 走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。

DVD-VRを再生する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする

DVD-VRの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

- DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いを揃えることができます。→P223の「ソースレベルアジャスター設定」

チャプターを切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする

DVD-VRの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**を押す

チャプターがダウン/アップします。

タイトルを切り換える

複数のタイトルが収録されたディスクは、タイトルを切り換えることができます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする

DVD-VRの音声と映像が再生されます。
ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

- 4 **◀**または**▶**を長く押す

タイトルが切り換わります。

メモ

- **閉じる**にタッチすると映像画面に切り換わります。

リストからタイトルを選んで再生する

プレイリストまたはプログラムリストを表示して、見たいタイトルを直接選んで再生できます。

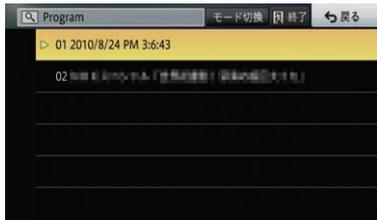
- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **リスト**にタッチする



5 見たいタイトルにタッチする



階層分けされたディスクの場合、一番上の階層が表示されます。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、**戻る**にタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で**戻る**にタッチすると、通常再生画面に戻ります。



選んだタイトルが再生されます。

メモ

- 再生画面でタイトル名にタッチすると、現在再生中のタイトルを含むリストを表示します。
- モード切替**にタッチすると、プレイリストとプログラムリストの表示を切り換えます。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
(チャプターリピート)	再生中のチャプターを繰り返します。
(タイトルリピート)	再生中のタイトルを繰り返します。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

3 **DVD**にタッチする

4 **リピート**にタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→チャプターリピート→タイトルリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- 選んだリピート範囲は、AVソースプレートに表示されますが、通常再生であるディスクリピートはAVソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置により、 (禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(チャプターリピート中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

見たい場面を指定して再生する

見たい場面を数字で指定して再生できます。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

3 **DVD**にタッチする

4 **サーチ**にタッチする



5 指定する方法(サーチの種類)にタッチする



TITLE	タイトル番号を指定します。
CHAPTER	チャプター番号を指定します。
TIME	再生を開始する時間を指定します。

- 数字キーにタッチしてサーチの種類にあわせた番号を入力し、**決定**にタッチする

指定した場面から再生をはじめます。

CMを飛ばして再生する

再生中の映像を一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMを飛ばして再生するときを使うと便利です。

- (MENU)**を押す
- ←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- DVD**にタッチする
- CMスキップ**または**CMバック**にタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早送り/早戻しが行われます。

CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→30秒に戻る
CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→5秒に戻る

メモ

- ディスクや再生位置により、**⊘**(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

- (MENU)**を押す
- ←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- DVD**にタッチする

- ▶▶**にタッチする



タッチするごとに、映像を1コマずつ送ることができます。

▶▶にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクにより、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のコマ送り再生はできません。
- ディスクや再生位置により、**⊘**(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生する

再生スピードを遅くして見ることができます。

- (MENU)**を押す
- ←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- DVD**にタッチする
- ▶▶**に長くタッチする



送り方向にスロー再生されます。スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	1/2→1/4→1/8→1/16
スロー-UP	1/2→1/4→1/8→1/16

▶▶にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクにより、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置により、 (禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

早戻し/早送りする

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **◀**または**▶**にタッチする



早戻し/早送りをします。**◀**または**▶**にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **▶||**にタッチする



再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

再生を停止する

再生を停止します。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **DVD**にタッチする
- 4 **□**にタッチする



再生を停止します。

字幕言語を切り換える

字幕言語が収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語と表示のON/OFFを切り換えできます(マルチ字幕)。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **DVD**にタッチする
 - 4 **次ページ** **字幕切換**にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

メモ

- ディスクにより、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語を切り換える

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます(マルチ音声)。

- MENU**を押す
- ←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- DVD**にタッチする
- 次ページ** **音声切換**にタッチする



タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

メモ

- [Dolby D] や [5.1 ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声方式を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重を切り換える

ディスクに2か国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

- MENU**を押す
- ←AV**にタッチする
▼
AVメニューが表示されます。
- DVD**にタッチする
- 次ページ** **音声多重**にタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。
MAIN + SUB → SUB → MAIN → MAIN + SUBに戻る

MAIN + SUB	主・副音声(日本語+外国語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN	主音声(日本語)

メモ

- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。
- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

ワイドモードを設定する

4:3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択できます。

工場出荷時は「AUTO」です。

①注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

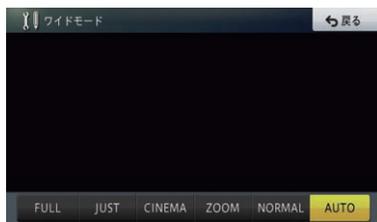
AVメニューが表示されます。

3 **DVD**にタッチする

4 **次ページワイドモード**にタッチする



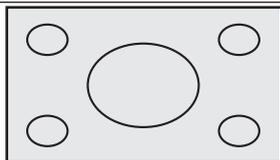
5 **お好みの表示方法**にタッチする



表示方法が設定されます。

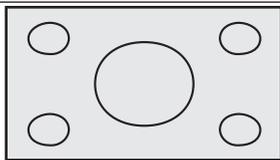
FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



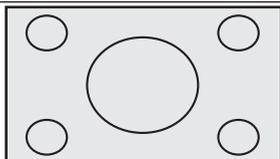
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



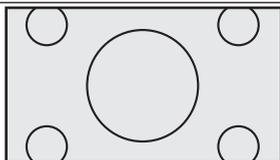
CINEMA (シネマ)

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



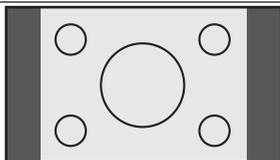
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。



AUTO (オート)

DVDソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

DVD-VRの初期設定を行う

DVD-VRの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

メモ

- 初期設定を操作中は、DVD-VRの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

テレビアスペクトを設定する

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。
工場出荷時は「16:9」です。

- (MENU)を押し、設定・編集ソース別設定にタッチする**
- DISC設定 - DVD-VR初期設定にタッチする**



- TVアスペクトにタッチする**



- アスペクトを設定する**



16:9	ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）



アスペクト比が設定されます。

メモ

- 通常は16:9に設定してください。

SD/USBを使う

本機に接続したSDカード/USBメモリー内の音楽ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV)やSDカード内の映像ファイル(MPEG4/H.264/WMV)、SDカードに録音した楽曲の再生のしかたを説明します。

①注意

- 走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。

メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDカード：最大容量128 GB、ファイルシステムFAT 32/16/exFAT、SDメモリーカード規格/SDHCメモリーカード規格/SDXCメモリーカード規格に対応
 - USBメモリー：最大容量16 GB、ファイルシステムFAT32/16
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの解像度は、720×480以下です。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。ビットレートの上限值は以下の通りです。
 - MPEG-4 Video: 4 Mbps
 - H.264/AVC: 2.5 Mbps
 - WMV (VC-1): 768 kbps
- ファイル名(拡張子を含む)、フォルダ名の最大表示数は258文字までです。258文字を超えるファイル、フォルダは再生できません。
- 地図データ更新時に、AVソースをMSV/SDまたはSD、USBにしている場合は、自動的にOFFとなります。地図データ更新完了後、再度AVソースをMSV/SDまたはSD、USBにして再生を再開させてください。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- USBメモリーを接続するためには、別売のUSB接続ケーブル「LE-11UB-15FM」が必要です。

グループ、アルバム、トラックについて

SDカードの階層は、グループ、アルバム、トラックの3つで構成されています。

■グループの種類について

グループ(第一階層)は、2つのカテゴリーに分類されます。

オリジナルグループ

パソコンからコピーしたファイルや、SDカードに録音した楽曲が格納されているグループです。

マイミックス

お好みに応じて集めた楽曲が格納されているグループです。

メモ

- マイミックスは、グループとトラックの2つの階層で構成されます。

録音した楽曲または音楽ファイルや映像ファイルを再生する

操作方法はSD、USB共通です。ここでは、SDを例に説明します。

録音した楽曲および映像ファイルの再生は、SDソースのみ対応しています。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする

SDカードに録音した楽曲やパソコンから保存された音楽ファイルや映像ファイルが再生されます。



トラック(ファイル)を切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする

AVメニューが表示されます。

メモリーメディア

SDカードに録音した楽曲やパソコンから保存された音楽ファイルや映像ファイルが再生されます。



- 4 **⏮**または**⏭**を押す

トラック(ファイル)が切り換わります。

アルバム(フォルダー)を切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする

AVメニューが表示されます。

SDカードに録音した楽曲やパソコンから保存された音楽ファイルや映像ファイルが再生されます。

- 4 **⏮**または**⏭**を長く押す

アルバム(フォルダー)が切り換わります。

リストからトラック(ファイル)を選んで再生する

リストを表示して、再生したいトラック(ファイル)を直接選べます。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **リスト**にタッチする



- 5 再生したいグループにタッチする



6 再生したいアルバム（フォルダー）にタッチする



MSV（タブ）またはSD（タブ）にタッチすることで、録音したデータまたはパソコンからコピーしたデータの先頭を表示できます。

	録音した音楽CDのデータです。
	パソコンを利用して保存した音楽データのフォルダです。

トラック（ファイル）リストが表示されます。

7 再生したいトラック（ファイル）にタッチする



選んだトラック（ファイル）が再生されます。

メモ

- グループリストでマイミックスを選んだ場合は、アルバム（フォルダー）の一覧は表示されず、トラック（ファイル）リストが表示されます。
- 再生画面でトラック（ファイル）名やアーティスト名、アルバム名にタッチすると、トラック（ファイル）リストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。
- リスト表示中に**終了**にタッチする、またはグループリスト画面で**戻る**にタッチすると、通常再生画面に戻ることができます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

グループリピート	通常の再生状態です。再生中のグループをリピートします。
(トラック（ファイル）リピート)	再生中のトラック（ファイル）をリピートします。
(アルバム（フォルダー）リピート)	再生中のアルバム（フォルダー）をリピートします。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする

4 **リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
グループリピート→トラック（ファイル）リピート→アルバム（フォルダー）リピート→グループリピートに戻る

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- トラック（ファイル）リピート再生中にランダム再生を行うと、リピート範囲はアルバム（フォルダー）リピートに切り換わります。
- リピート範囲をグループリピートにした場合は、画面上にアイコンは表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

本機能は、音楽ファイル再生時のみ有効です。

	再生する曲をランダムに選びます。
(ランダム ON)	
	再生する曲をランダムに選びません。
ランダム OFF	

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **ランダム**にタッチする



タッチすることにより、ランダムのON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラック（ファイル）リピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はアルバム（フォルダー）リピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）やリピートの範囲を超える操作（アルバム（フォルダー）の切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リストから、グループやアルバム（フォルダー）を選んで再生している場合のランダム再生は、選んだグループまたはアルバム（フォルダー）内で行われます。

再生モードを切り換える

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **ビデオ**または**ミュージック**にタッチする



ビデオ	音楽ファイル再生時に表示され、タッチすると映像ファイルの操作画面に切り換わります。
ミュージック	映像ファイル再生時に表示され、タッチすると音楽ファイルの操作画面に切り換わります。

映像ファイルまたは音楽ファイルの操作画面に切り換わります。

メモ

- **ビデオ**と**ミュージック**は、映像ファイルまたは音楽ファイルがSDカードに入っていないと選択できません。

早戻し/早送りする

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **◀**または**▶**にタッチする



タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **▶||**にタッチする



再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

再生を停止する

再生を停止します。

本機能は、SDカードの映像ファイル再生時のみ有効です。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**または**SD**にタッチする
- 4 **□**にタッチする



再生を停止します。

マイミックスにトラック (ファイル)を追加する

マイミックス(グループ)にお気に入りの曲だけを集める方法です。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**にタッチする
- 4 **マイミックスに追加**に長くタッチする



選んだ曲がマイミックス(グループ)に登録されます。

メモ

- マイミックスには、999トラックまで登録できます。
- **マイミックスへ追加**を実行したSDカードのみ、マイミックスに追加した曲を再生できます。
- マイミックスに追加した曲を、パソコン上で削除した場合、本機では削除した曲をスキップして再生します。

SDの初期設定を行う

SDの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

■映像出力を設定する

SDの映像出力の画面サイズを設定します。
工場出荷時は「フル」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 2 **MSV/SD設定** にタッチする
- 3 **映像出力設定** にタッチする



- 4 **フル** または **アスペクト比固定** にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのまま、長辺を画面に合わせて表示します。

アルバム/トラックの編集・消去

SDカードに録音したアルバムやトラック、マイミックスに追加したトラックの編集・消去ができます。また、録音したアルバムのタイトル取得もできます。
→P205の「タイトル情報の取得」

アルバム/トラック名を編集する

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **MSV/SD**にタッチする
 - 4 **詳細情報/編集**にタッチする



- 5 **アルバムの詳細情報/編集またはトラックの詳細情報/編集**にタッチする



- 6 **タイトルまたはアーティスト**にタッチする

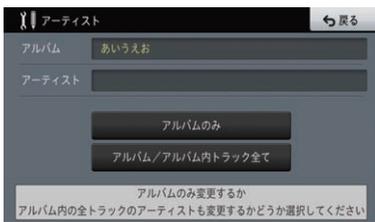


- 7 名称を入力し、**入力終了**にタッチする



アルバム詳細情報/編集—**アーティスト**を選択した場合、アルバム編集選択画面が表示されます。

- 8 入力した名称を反映する範囲を選択する



- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| アルバムのみ | 編集したアーティスト名をアルバムにのみ反映します。 |
| アルバム/アルバム内トラック全て | 編集したアーティスト名をアルバム内の全トラックに反映します。 |

オリジナルグループのアルバムを消去する

オリジナルグループのアルバムやトラックの消去ができます。マイミックス再生中は消去できません。

■アルバムの消去

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **MSV/SD**にタッチする

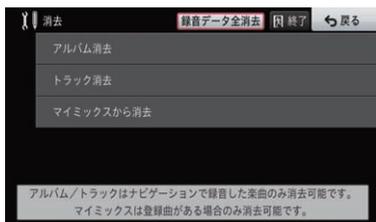
4 詳細情報/編集にタッチする



5 消去にタッチする



6 アルバム消去にタッチする



7 消去するアルバムにタッチする



8 はいにタッチする



アルバムが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのアルバムを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したアルバムに含まれるトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時にマイミックスから消去されます。

■トラックを消去する

消去するトラックを含むアルバムを再生してください。

1 MENUを押す

2 ←AVにタッチする



AVメニューが表示されます。

3 MSV/SDにタッチする

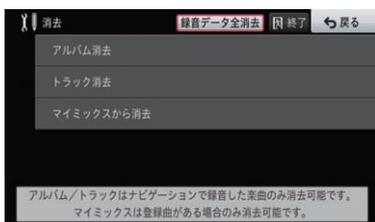
4 詳細情報/編集にタッチする



5 消去にタッチする



6 トラック消去にタッチする



7 消去するトラックにタッチする



選んだトラックには チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択できます。**全解除**にタッチすると、選択が解除されます。

8 消去—はい—toタッチする

アルバムから、選んだトラックが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのアルバムからトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

マイミックスのトラックを消去する

マイミックスに登録したトラックの消去ができます。

1 (MENU)を押す

2 ←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 MSV/SDにタッチする

4 詳細情報/編集にタッチする



5 消去にタッチする



6 マイミックスから消去にタッチする



7 消去するトラックにタッチする



選んだトラックには チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択できます。**全解除**にタッチすると、選択が解除されます。

8 消去—はい—toタッチする

選んだトラックをマイミックスから消去します。

録音データをすべて消去する

SDカードに録音した楽曲データをすべて消去できます。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

3 **MSV/SD**にタッチする

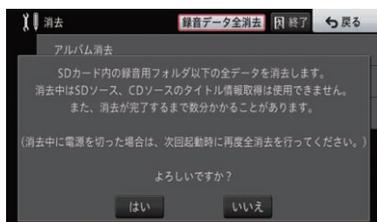
4 **詳細情報/編集**にタッチする



5 **消去**にタッチする



6 **録音データ全消去** **はい**にタッチする



録音した楽曲データがすべて消去されます。

メモ

- 全消去を実行すると、本機で録音した音楽データのみ、SDカードからすべて消去されます。ただし、パソコンを使用して、CD録音用フォルダ (NAVIRECDATA2) に保存した音楽データがある場合は、そのデータも同時に消去されます。
- 全消去中に、SDカードを取り外したりすると、全消去は停止します。全消去を再開する場合は、再度、**録音データ全消去**にタッチしてください。
- 全消去中は、以下の制限があります。
 - CDを録音できません。
 - SDカードを再生できません。
 - CDソースのタイトル情報を取得できません。

タイトル情報の取得

Gracenote音楽認識サービス（以降Gracenoteデータベース）でタイトル情報を取得できなかったときや、タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示されなかったときは、録音完了後、タイトル情報の再取得操作を行うことで、タイトルを表示できます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDソースやMSV/SDソースの再生画面などに表示されます。

■取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムのアーティスト
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックのアーティスト

■No Title表示について

CDの再生画面に「No Title」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった
タイトル情報が複数候補あった場合は、複数のタイトルの中から選択できます。

タイトルの編集について

タイトル取得できたアルバムのタイトルは、本機上で編集することができます。→P201の「アルバム/トラックの編集・消去」

タイトル情報を取得する

タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示できなかった場合は、再度本機内蔵のGracenoteデータベースを検索し、タイトル候補を表示させて選ぶことができます。

メモ

- 対象となるのは、本機で録音した楽曲データのみです。

■タイトルを取得する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

- 3 **MSV/SD**にタッチする
- 4 **詳細情報/編集**にタッチする



- 5 **アルバムの詳細情報/編集**または**トラックの詳細情報/編集**にタッチする



6 アルバム情報取得にタッチする



7 タイトルを取得するアルバムにタッチする



8 タイトル候補にタッチする



メモ

- **該当なし**にタッチすると、タイトルを設定せずに再生画面に戻ります。

iPodを使う

本機に接続したiPodの再生のしかたを説明します。

！注意

- 走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。

メモ

- iPodを接続するためには、別売のUSB接続ケーブル「LE-11UB-15FM」と、iPod用USB変換ケーブル（30ピンコネクタ対応機種用）「KIT-007IP」またはiPod用USB変換ケーブル（Lightningコネクタ対応機種用）「LE-007LN-05FM」が必要です。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPodが必要です。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。STOP状態になってもiPodの機能を再び利用することは可能ですが、動作の一部に制限があります。
- ご使用前に、お持ちのiPodソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応iPodについては、弊社ホームページをご覧ください。

iPodを再生する

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **iPod**にタッチする

iPodが再生されます。



iPod接続時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

iPodミュージックとiPodビデオを切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **iPod**にタッチする

- 4 **ビデオ**または**ミュージック**にタッチする



iPodミュージック再生中はiPodビデオのリストに切り換わります。
iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリストに切り換わります。

チャプターまたはソング/ファイルを切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする
- 3 **iPod**にタッチする
- 4 **⏮**または**⏭**を押す

チャプターがある場合は、そのダウン/アップをします。チャプターがない場合は、ソング(もしくはビデオファイル)がダウン/アップします。

メモ

- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲や映像は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **iPod**にタッチする
- 4 **MENU**にタッチする

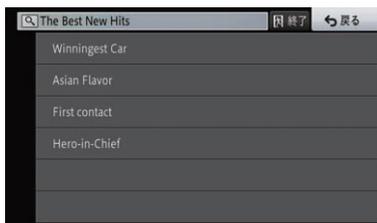


- 5 **カテゴリー**にタッチする



表示されるリストは約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**MENU**にタッチします。使うiPodによって、リストに表示されるカテゴリーは異なります。

- 6 **曲や映像を絞り込み、聴きたい曲や見たい映像にタッチする**



選んだ曲や映像が再生されます。

メモ

- iPodで表示されるリストの並び順と、本機で表示されるリストの並び順は一致しない場合があります。
- いったん絞り込み操作を行った後は、**MENU**にタッチすると最後に絞り込んだリストを表示します。
- iPodミュージックの再生画面で曲名、アーティスト名、アルバム名にタッチすると、再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名を先頭にしてリスト表示します。ただし、使うiPodにより、再生中の曲名またはアーティスト名またはアルバム名が先頭に表示されない場合があります。
- 使うiPodにより、リスト表示に時間がかかる場合があります。その場合は、**MENU**にタッチしてリストを表示させてください。
- iPodビデオの再生画面でトラック名、アーティスト名、アルバム名にタッチすると最後に絞り込んだリストを表示します。

リピート再生する

繰り返し再生の範囲は、2種類から選ぶことができます。

 ALL (リピートオール)	すべての曲や映像を繰り返し再生します。
 (リピートワン)	現在再生中の曲や映像のみ繰り返し再生します。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **iPod**にタッチする
- 4 **リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
リピートオール ↔ リピートワン

シャッフル再生する

再生する順番をシャッフルします。シャッフル再生は、3種類から選ぶことができます。

シャッフルOFF	再生する曲の順番を変えません。
	再生する曲の順番を変えます。 (シャッフルソング)
	再生するアルバムの順番を変えます。 (シャッフルアルバム)

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **iPod**にタッチする
 - 4 **シャッフル**にタッチする



▼

タッチするごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。
シャッフルOFF→シャッフルソング→シャッフルアルバム→シャッフルOFFに戻る

メモ

- シャッフル設定を有効にしていると、ビデオ機能が正しく動作しないことがあります。

早戻し/早送りする

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **iPod**にタッチする
 - 4 **◀または▶**にタッチする



▼

早戻し/早送りをします。iPodの映像ファイルの場合は、**◀または▶**にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **MENU**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- ▼
- AVメニューが表示されます。
- 3 **iPod**にタッチする
 - 4 **▶||**にタッチする



▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

ワイドモードを設定する

4:3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択できます。

工場出荷時は「FULL」です。

本機能は、映像ファイル再生時のみ有効です。

！注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 **[MENU]**を押す

2 **←AV**にタッチする



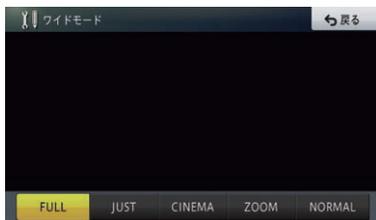
AVメニューが表示されます。

3 **iPod**にタッチする

4 **ワイドモード**にタッチする



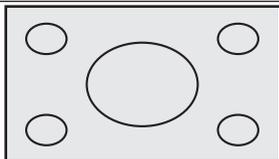
5 お好みの表示方法にタッチする



表示方法が設定されます。

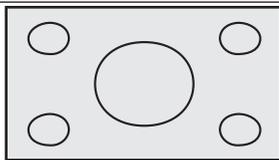
FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



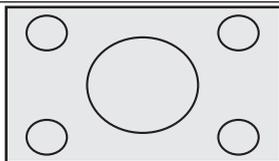
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



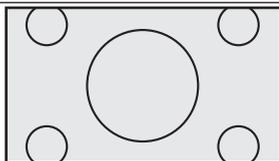
CINEMA (シネマ)

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



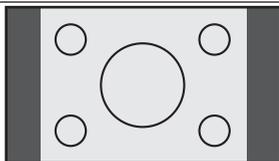
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。



メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

コントロール/アプリモード を設定する

コントロール/アプリモードをONにすると、iPod本体で操作するモードになります。iPodから操作すると、動画、インターネットラジオ等のアプリケーションの映像、音楽をナビゲーションから出力できます。工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- コントロール/アプリモードの設定を「ON」にして、ビデオを再生しても映像が出力されない場合は、iPod本体の出力設定を確認するか、iPodを再接続してください。
- コントロール/アプリモードで出力できるものは、アプリケーションに依存します。詳しくは、アプリケーション開発会社にお問い合わせください。

1 **MENU**を押す

2 **←AV**にタッチする



AVメニューが表示されます。

3 **iPod**にタッチする

4 **コントロール/アプリモード**にタッチする



ON/OFFが切り換わります。

OFF	本機からiPodを操作できます。
ON	iPod本体から操作できます。

メモ

- コントロール/アプリモードの設定をONにすると、**リピート**、**シャッフル**は選べません。また、接続されたiPodの機種により、その他の機能も動作しない場合があります。

Bluetooth Audioを使う

本機にワイヤレス接続したBluetooth Audio 機器内の音楽データの再生のしかたを説明します。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	特殊操作	情報表示
A2DP	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver.1.4	○	△	△	△

○：対応 △：Bluetooth Audio機器により異なる ×：非対応

メモ

- 上記表で「○」になっていても、ご使用のBluetooth Audio機器により使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。
- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器を使うには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→P114の「Bluetooth機器を登録する」登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー/Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。

メモ

- 本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続できません。
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器のすべてのプロファイルを切断してから接続してください。

Bluetooth Audioを再生する

1 **[MENU]**を押す

2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 Bluetooth Audioにタッチする

自動的にBluetooth Audio機器と接続し、再生が始まります。



▶にタッチしても、再生できます。
→P215の「手動で再生する」

メモ

- Bluetooth Audio機器により、2回目以降は自動接続される場合があります。
- Bluetooth Audio機器により、再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- A2DP接続のみの場合は▶などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

- A2DP+AVRCP Ver.1.3またはA2DP+AVRCP Ver.1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth Audio機器により表示されない場合もあります。)また、AVRCP Ver.1.4では、リストからの選曲操作が可能です。
- 何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- サンプリング周波数が異なる楽曲間で切り換わる時に、ノイズが聞こえる場合があります。

トラックを切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする

自動的にBluetooth Audio機器と接続し、再生が始まります。



▶にタッチしても、再生できます。
→P215の「手で再生する」

- 4 **(◀▶)**または**(▶▶)**を押す

トラックがダウン/アップします。

グループを切り換える

- 1 **(MENU)**を押す
 - 2 **←AV**にタッチする
- AVメニューが表示されます。
- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする

自動的にBluetooth Audio機器と接続し、再生が始まります。



▶にタッチしても、再生できます。
→P215の「手で再生する」

- 4 **(◀▶)**または**(▶▶)**を長く押す

グループが切り換わります。

聴きたい曲を探す

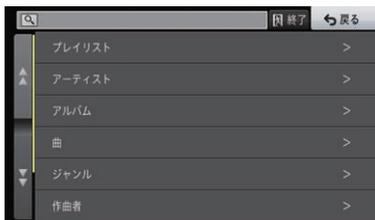
- 1 **(MENU)**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする
- 4 **リスト**にタッチする



- 5 曲を絞り込む



接続中Bluetooth Audio機器の状態によって、リストに表示される内容は異なります。フォルダー選択などで階層を下げた場合は、戻るにタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で戻るにタッチすると、通常再生画面に戻ります。

選んだ曲が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含む再生範囲内のリストのみを表示します。
- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や、異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCPで接続した場合は、トラック番号、トラック名、アーティスト名、アルバム名、再生時間/全体時間/再生状態、バッテリー状態、リピート/ランダム状態が表示される場合があります。
- A2DP+AVRCPで接続した場合は、電池の残量アイコンまたは充電中アイコンが表示される場合があります。
- 再生時間、トラック番号は、接続した機器のものとは異なる場合があります。
- 接続した機器により、本機画面上で再生中であっても、音声が出ない場合があります。接続した機器の製造元にお問い合わせください。

リピート再生する

この操作は、A2DP+AVRCPで接続した場合に利用できます。繰り返し再生の範囲は、4種類から選ぶことができます。

リピートOFF	通常の再生状態です。
 (トラックリピート)	再生中のトラック(曲)をリピートします。
 (グループリピート)	再生中のグループを繰り返します。
 (オールリピート)	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

1 MENUを押す

2 ←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 Bluetooth Audioにタッチする

4 リピートにタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

リピートOFF→トラックリピート→グループリピート→オールリピート→リピートOFFに戻る

メモ

- 接続した機器により、リピート再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(トラックリピート中の選曲操作など)を行うと、リピート範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるリピートOFFは、画面には表示されません。

ランダム再生する

再生する曲をランダムに選び続けます。

ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。
 (グループランダム)	グループ内で、再生する曲をランダムに選びます。
 (オールランダム)	すべての曲から、再生する曲をランダムに選びます。

1 MENUを押す

2 ←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 Bluetooth Audioにタッチする

4 ランダムにタッチする



タッチするごとに、ランダムの範囲が以下のように切り換わります。

ランダムOFF→グループランダム→オールランダム→ランダムOFFに戻る

メモ

- 接続した機器により、ランダム再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。
- 通常再生であるランダムOFFは、画面には表示されません。

早戻し/早送りする

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする
- 4 **◀**または**▶**にタッチする



タッチしている間、早戻し/早送りされます。

メモ

- Bluetooth Audio機器により、早戻し/早送りに音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP接続のみの場合は早戻し/早送りは操作できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

再生を一時停止する

再生を一時停止します。

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする
- 4 **⏸**にタッチする



再生を一時停止します。

メモ

- A2DP接続のみの場合は**⏸**などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

手動で再生する

- 1 **MENU**を押す
- 2 **←AV**にタッチする

AVメニューが表示されます。

- 3 **Bluetooth Audio**にタッチする
- 4 **▶**にタッチする



再生を再開します。

メモ

- A2DP接続のみの場合は**▶**などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

Bluetooth Audio機器を接続する

本機に登録済みのBluetooth Audio機器をAVプロファイルで接続します。

メモ

- Bluetooth Audio機器を接続するには、あらかじめ本機に接続するBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。
→P114の「Bluetooth機器を登録する」
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、ナビから接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器のすべてのプロファイルを切断してから接続してください。
- はじめて本機と接続するBluetooth Audio機器の場合は、Bluetooth Audio機器側より接続してください。2回目以降の接続は、以下の手順で行います。

1 MENUを押す

2 ←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 Bluetooth Audioにタッチする

4 ナビから接続にタッチする



Bluetooth Audio機器との接続が完了します。

メモ

- 使用するBluetooth Audio機器により、機器側での操作が必要です。詳しくは、お使いの機器の説明書をご覧ください。
- 接続が完了すると、画面に接続できた機器のデバイス名/アドレス（AVメニュー表示中）および接続状態が表示されます。
- 接続中に接続解除にタッチすると、接続を解除できます。再度接続する場合は、ナビから接続にタッチします。
- Bluetooth Audio機器により、ナビから接続にタッチしても接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器から接続してください。

Bluetooth Audio機器を切り換える

1 MENUを押す

2 ←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

3 Bluetooth Audioにタッチする

4 接続解除にタッチする



5 接続状態が「接続待機中」になったら、Bluetooth Audio機器を切り換える

以降の操作は、→P115の「Bluetooth機器を切り換える」を参照してください。

AUX (外部機器) を使う

本機に接続したポータブルプレーヤーなどの外部映像機器の再生のしかたを説明します。

メモ

- 本機と外部映像機器の接続には、別売ケーブルが必要です。下記のご利用状況に応じてケーブルをご用意ください。
 - 外部映像機器とiPod(30ピンコネクタ対応機種)を両方使う場合：iPod用USB変換ケーブル(30ピンコネクタ対応機種用)「KIT-007IP」(別売)をご用意ください。
 - 外部映像機器のみ使う場合：「KIT-007IP」(別売)に付属のミニジャック延長ケーブル(AV用)をご用意ください。
 - RCAの映像・音声を接続する場合：映像・音声変換ケーブル「LE-13AV-2MF」(別売)をご用意ください。

AUX設定をする

AUXを使う場合は、あらかじめAUX設定を行う必要があります。

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 2 **AUX設定** - **入力設定** にタッチする



- 3 **ON** にタッチする



外部機器を使用しない場合は、**OFF** に設定します。

外部機器の使用が可能になります。

AUXを再生する

- 1 **MENU** を押す
- 2 **←AV** にタッチする
- 3 **AUX** にタッチする

AVメニューが表示されます。

外部機器の映像が再生されます。



ワイドモードを設定する

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択できます。

工場出荷時は「FULL」です。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **←AV** にタッチする

AVメニューが表示されます。

3 AUXにタッチする

4 ワイドモードにタッチする



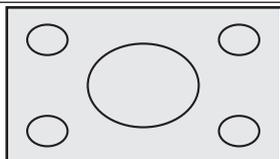
5 お好みの表示方法にタッチする



表示方法が設定されます。

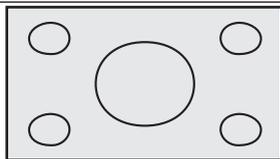
FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



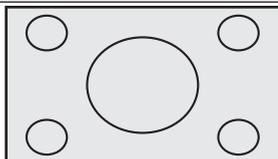
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



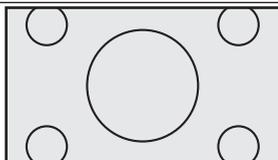
CINEMA (シネマ)

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



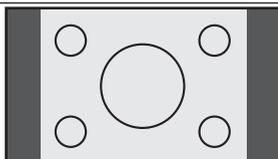
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。



メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

オーディオ設定

本機では、お好みに合わせて、オーディオの設定ができます。

メモ

- AVソースがOFFのときは設定できません。
- オーディオ設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合やアッテネーターがONのときは、各種設定はできません。ただし、消音設定が「OFF」に設定されている場合は、各種設定を行うことができます。→P127の「消音設定をする」
- 走行中は設定できません。

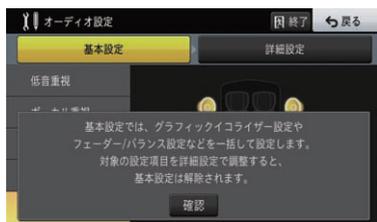
基本設定を行う

以下の項目を選択することで、あらかじめセットされたグラフィックイコライザー、音場設定、フェーダー、ラウドネス、HPF、バスブースターの項目が一括で設定されます。工場出荷時は「フラット(初期状態)」です。

- 低音重視
- ボーカル重視
- 前席重視
- 後席重視
- フラット(初期状態)

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **確認**にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



メモ

- はじめに詳細設定画面が表示された場合は、**基本設定** - **確認**にタッチしてください。

詳細設定を行う

項目別に音質の詳細設定をすることができます。

メモ

- はじめに基本設定画面が表示された場合は、**確認** - **詳細設定**にタッチしてください。

フェーダー/バランス設定

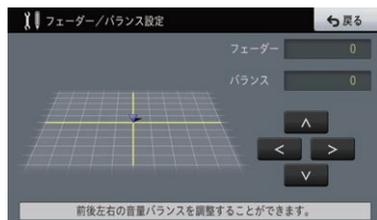
前後左右の音量バランスを調整できます。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **フェーダー/バランス設定**にタッチする



3 **▲、▼、◀、▶**にタッチして、前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

■リスニングポジション設定

乗車位置や乗車人数に合わせて、音場を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **リスニングポジション設定**にタッチする



3 お好みのリスニングポジションにタッチする



OFF	音質補正設定を解除します。
オール	同乗者が後部座席にいるときの設定です。
フロント	同乗者が助手席にいるときの設定です。
フロントL	左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
フロントR	右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心とした設定です。

■グラフィックイコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（Custom）からイコライザーカーブを選ぶことができます。

工場出荷時は「FLAT」です。

メモ

- 交通情報受信中は、いったん強制的に「OFF」になります。
- 設定した調整値は、SDカードへの録音には反映されません。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **グラフィックイコライザー設定**にタッチする



3 お好みの設定（ファクトリーカーブ）にタッチする



SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、グラフィックイコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
CUSTOM1、CUSTOM2	SUPER BASS/POWERFUL/NATURAL/VOCAL/FLATをベースにして周波数選択/レベル調整を行った設定値になります。

グラフィックイコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かく補正できます。

補正した値は、CUSTOM1に登録されます。CUSTOM2を選んで設定した補正値は、CUSTOM2に登録されます。

メモ

- 交通情報を受信しているときは、調整できません。

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする

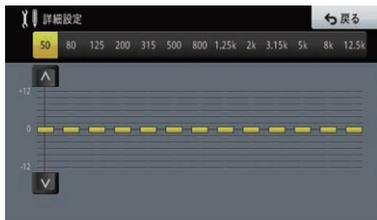
2 **グラフィックイコライザー設定** にタッチする



3 補正したいファクトリーカーブを選び、**詳細設定** にタッチする



4 補正する周波数を選び、**▲**、**▼** にタッチしてレベルを補正する



50 Hz、80 Hz、125 Hz、200 Hz、315 Hz、500 Hz、800 Hz、1.25 kHz、2 kHz、3.15 kHz、5 kHz、8 kHz、12.5 kHzから周波数を選べます。
±0を基準に±6段階の範囲で調整できます。

■ タイムアライメント設定

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。

この設定は、リスニングポジションをフロントLもしくはフロントRに設定しているときのみ可能です。

工場出荷時は「0 cm」です。

1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする

2 **タイムアライメント設定** にタッチする



3 各スピーカーの**◀**または**▶**にタッチする



タッチすることにより、スピーカーからの距離が0 cm ~ 350.0 cmの間で2.5 cm単位で切り換わります。

TA OFF	設定を無効にします。
TA OFF解除	設定を有効にします。

■ハイパスフィルター設定

選択した周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。工場出荷時は、設定「OFF」、カットオフ周波数「100 Hz」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **ハイパスフィルター設定** にタッチする



- 3 設定の **ON** または **OFF** にタッチする



ON	ハイパスフィルターを設定します。
OFF	ハイパスフィルターを設定しません。以降の設定は必要ありません。

- 4 **カットオフ周波数の**◀**または**▶**に**タッチする

タッチするごとにカットオフ周波数が、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz の間で切り替わります。

■サブウーファー設定

サブウーファーを接続している場合に、サブウーファーから出力される音の設定ができます。工場出荷時は、サブウーファー出力「ON」、位相「ノーマル」、カットオフ周波数「80 Hz」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **サブウーファー設定** にタッチする



- 3 サブウーファー出力の **ON** または **OFF** にタッチする



ON	サブウーファー出力を設定します。
OFF	サブウーファー出力を設定しません。以降の設定は必要ありません。

- 4 位相の **ノーマル** または **リバース** にタッチする

ノーマル	フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力します。
リバース	フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力します。

- 5 **カットオフ周波数の**◀**または**▶**に**タッチする

タッチするごとにカットオフ周波数が、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz、160 Hz、200 Hz の間で切り替わります。

- 6 **レベルの**⊕**または**⊖**に**タッチする

タッチするごとにサブウーファーの出力レベルが -24 dB ~ +10 dB の間で切り替わります。

メモ

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファーの位相切り換えです。サブウーファーを固定したあとに、**ノーマル**または**リバース**のどちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

スピーカー出力設定

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。

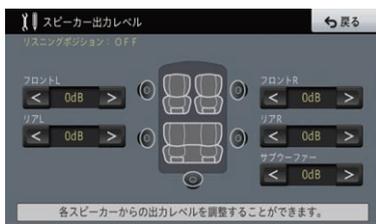
工場出荷時は「0 dB」です。

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **スピーカー出力設定**にタッチする



3 設定したいスピーカーの◀または▶にタッチする



タッチすることにより、スピーカーの出力レベルが -24 dB ~ +10 dB の間で切り換わります。

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差を揃えることができます。工場出荷時は「0 dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定できません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD/ROM-Audio
 - DVD-Video/DVD-VR
 - AM/交通情報
 - SD/USB
 - DTV/ワンセグ

1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定**にタッチする

2 **ソースレベルアジャスター設定**にタッチする



3 **+**または**-**にタッチする



メモ

- 8 dB ~ +8 dB の範囲で2 dBごとに調整できます。

■音場設定 (VSC)

好みの音場をリアルに再現することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **音場設定 (VSC)** にタッチする



- 3 お好みの音場設定にタッチする



OFF	音場効果を設定しません。
MUSIC STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
DYNAMIC THEATER	迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
ACTOR'S STAGE	ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。
RELAX LIVING	リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

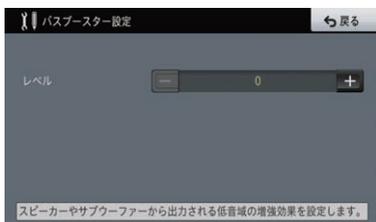
■バスブースター設定

スピーカーやサブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定します。
工場出荷時は「0」です。

- 1 **[MENU]** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **バスブースター設定** にタッチする



- 3 レベルの **+** または **-** にタッチする



タッチすることによりバスブースターの出力レベルが 0 ~ +6 (0 dB ~ +12 dB) の間で切り替わります。

メモ

- サブウーファー設定が「ON」の場合は、サブウーファー設定で設定したカットオフ周波数以下の音域が調整されます。「OFF」の場合は、100 Hz以下の音域が調整されます。
→ P222の「サブウーファー設定」

■ ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にします。工場出荷時は、設定「OFF」、LOUDNESS効果「MID」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **LOUDNESS設定** にタッチする



- 3 設定の **ON** または **OFF** にタッチする



ON	LOUDNESS設定をONにします。
OFF	LOUDNESS設定をOFFにします。以降の設定は必要ありません。

- 4 効果の **◀** または **▶** にタッチする

タッチするごとにLOUDNESS効果が、LOW、MID、HIGHに切り替わります。

■ アイドリングアッテネーター設定

アイドリングストップ動作中や車が停車しているときなどの、車両の状態と連動してオーディオの音量を調整するかどうかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **オーディオ設定** にタッチする
- 2 **アイドリングアッテネーター設定** にタッチする



- 3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	アイドリングアッテネーター設定を行います。
OFF	アイドリングアッテネーター設定を行いません。

アイドリングアッテネーター設定をONにすると、走行中の地図画面に  が表示されます。

カスタム機能

よく使う機能をカスタムキーに設定して、すばやく実行できる機能です。

カスタムキーを使う

カスタムキーを使って機能を実行します。

1 現在地画面で、**カスタム**にタッチする

設定された機能が実行されます。
工場出荷時は「地点を登録する」に設定されています。

メモ

- 以下の機能は、地図画面またはAV ソース画面のどちらでも動作します。
 - 周辺施設を探す
 - 目的地ランキングから探す
 - 自宅へ帰る
 - 全画面に時計を表示する
 - アイドリングアッテネーター設定 ON/OFF する
 - アッテネーターを ON/OFF する
- その他の機能は、地図画面でのみ動作します。

カスタムキーに機能を割り当てる

カスタムキーには、1 機能を設定できます。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**—**システム設定**にタッチする

2 **カスタム設定**にタッチする



3 **設定したい機能**にタッチする



選んだ機能がカスタムキーに設定されます。

■カスタム設定できる機能(コマンド)一覧

カスタムキーに設定できる機能は、以下の通りです。

- 名称で探す
- ジャンルで探す
- 住所で探す
- 電話番号で探す
- 周辺施設を探す
- 目的地ランキングから探す
- 登録地から探す
- 検索履歴から探す
- 自宅へ帰る
- 地点を登録する
- 周辺検索マークをON/OFFする
- 案内表示をON/OFFする
- FM多重図形情報
- FM多重文字情報
- 最新のビーコン履歴情報
- センサー学習状況
- エコステータス詳細
- ルート情報
- 別ルート探索
- ロゴマークをON/OFFする
- 音量設定
- 100 mスケール一方通行表示をON/OFFする
- 地図方位を切り換える
- ハイウェイサイドマップを切り換える
- シティマップをON/OFFする
- ロゴマーク表示スケールを切り換える
- ボトルネック踏切マーク表示をON/OFFする
- ルートアドバイザーを切り換える
- オートフリーズームを切り換える
- 渋滞情報表示対象道路を切り換える
- アイドリングアッテネーター設定をON/OFFする
- 順調表示をON/OFFする
- 情報ウィンドウ表示を切り換える
- ターゲットマップを切り換える
- 到着予想時刻表示を切り換える
- 目的地の地図を見る
- 音声案内をON/OFFする
- 自車位置を別道路に修正する
- 自車方位を反転する
- ハイウェイモード出口施設表示
- ハイウェイモードSA/PA施設送り
- リクエスト案内
- サイレントガイドをON/OFFする
- アッテネーターをON/OFFする
- 全画面に時計を表示する
- 設定なし

ステアリングリモコンを設定する

ステアリングリモコンの設定を行います。

ステアリングリモコンを使用するためには、ステアリングリモコンアダプター(別売)またはステアリングリモコンケーブル(別売)が必要です。

ステアリングリモコンに車両メーカーを指定して設定する

車両メーカーを設定することで、予め設定された機能を登録することができます。

メモ

- 対応する車両メーカーや車両タイプが無い場合や自分の好きなコマンドを設定した場合は、好みの機能を設定することもできます。
→ P228の「ステアリングリモコンに好みの機能を設定する」

1 **MENU** を押し、設定・編集—システム設定にタッチする

2 **リモコン設定** にタッチする



3 車両メーカー/車両タイプを選択する



ステアリングリモコンに好みの機能を設定する

ステアリングリモコンにお好みの機能を設定できます。

1 **MENU** を押し、設定・編集—システム設定にタッチする

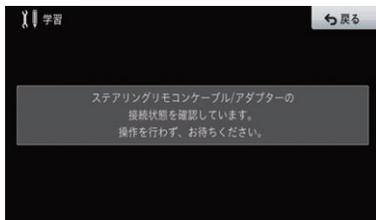
2 **リモコン設定** にタッチする



3 **学習** にタッチする



4 機能登録にタッチする



5 確認にタッチする



6 ステアリングリモコンに割り当てたい機能を選んで、タッチする



ステアリングリモコンには以下の機能を割り当てられます。

- ソース
- AVソースの音量アップ/音量ダウン
- トラックアップ/トラックダウン
- アッテネーター/ミュート
- 通話開始/終了
- 広域/詳細
- AV/地図画面の切り換え
- カスタム

7 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを2秒以上押す



ステアリングリモコンに機能が割り付けられます。

メモ

- ステアリングリモコンアダプター（別売）を使用する場合は車両メーカーに関わらず「アダプター」を選択してください。

ステアリングリモコンの設定を初期化する

ステアリングリモコンに設定した内容を元に戻します。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする
- 2 **リモコン設定** にタッチする



- 3 **学習** にタッチする



- 4 **初期化** にタッチする



- 5 設定をリセットする項目にタッチする



- 6 **初期化** にタッチする



- 7 **はい** にタッチする

選択した項目の設定がリセットされます。

メモ

- 受信した情報に再生条件（走行方位、サービス速度、有効距離など）が設定されている場合、再生条件を満たしていないと即時案内されない場合もあります。また、指定された場所まで移動すると表示される情報もあります。またナビゲーションの他の機能が優先され即時案内されない場合や案内を中断する場合もあります。
- 受信する情報は、図形情報または静止画像、文字情報、音声情報があります。2種類以上の情報を受信した場合、図形情報→文字情報→音声情報の優先順位で表示されます。音声情報を含む図形情報または静止画像、文字情報の場合には、図形情報または静止画像、文字情報を表示しながら音声も再生します。

■渋滞情報を受信したとき

受信した渋滞情報は、VICSレベル3表示、渋滞考慮ルート探索、ルートアドバイザーなどに使用されます。

メモ

- VICS レベル3 情報提供時刻表示は、Bマークで表示されます。

ETCサービスの利用

ETCカードまたはETC一体型クレジットカードを挿入すると、ETCサービスを利用することができます。→P234の「ETCユニット」

アップリンク機能を設定する

5.8 GHz VICS サービスにおいて提供される情報の作成や道路管理などの目的で、個人情報にはあたらない範囲で、本機やETC2.0対応ユニット、車両の情報が通信で路側機に送信され、道路事業者などの道路管理者に提供されることがあります。この機能が活用されることにより、より充実した道路交通情報や安全運転支援情報の提供などサービス向上が期待されています。なお、走行履歴や挙動履歴など一部の情報については本機能をONすることにより送信されます。提供される情報および本機能をONすることにより送信される情報については、『ETC2.0対応ユニットの取扱説明書』の道路管理者からのお知らせとお願いをご覧ください。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **ETC/ETC2.0設定** にタッチする



3 **ETC2.0アップリンク機能設定** にタッチする



4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	アップリンクします。
OFF	アップリンクしません。

ETC2.0起動時音声案内を設定する

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** - **システム設定** にタッチする

2 **ETC/ETC2.0設定** にタッチする



3 **ETC/ETC2.0起動時音声案内** にタッチする



4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	起動時に音声案内をします。
OFF	起動時に音声案内をしません。

▼
ETC2.0起動時音声案内の設定が完了します。

ETCユニット

別売のETCユニット「EP-8312B/S」および「EP-7314B/BRK」を接続すると、ETCサービスを利用できます。また、本機ではETCに関連する情報案内やETC利用履歴の表示ができます。

メモ

- 別売のETC2.0対応ユニットを接続しても、ETCサービスを利用できます。

ETC関連の情報案内について

次のような情報案内がされるようになります。

■ ETCカード・エラー関連音声案内

- “ETCカードを入れてください。”
- “ETCカードを認証しました。”
- “ETCカードを確認してください。”
- “ETCが登録されていません。”

■ ETCカード有効期限切れ関連音声案内

- “ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。”
- “ETCカードの有効期限が切れています。”

■ 予告ビーコン通過時音声案内

- “ETCが利用可能です。”
- “ETCが利用できません。”
- “ETCが利用可能です。速度を落としてお進みください。”
- “ETCが利用できません。徐行してください。”

■ ETCレーン通過時音声案内

- “ETCが利用できません。停車してください。”

■ 料金所通過時音声

- “料金は〇〇円でした。”
- “ETC利用料金が〇〇円割引されました。”
- “料金は登録されていません。”

メモ

- ETCカードが挿入（認証）されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。
- 料金所通過時は、現在地画面、またはAV画面にETC利用料金が表示されます。

ETC利用履歴を確認する

ETCカードに記録された利用履歴データを表示できます。履歴は、新しいものから最大100件まで表示できます。

1 MENU を押し、情報 にタッチする

2 ETC利用履歴 にタッチする



ETC利用履歴	終了	戻る
佐久小浜 JCT		
2015年9月12日	4時40分	～ 鶴ヶ島 2320円
鶴ヶ島		～ 東部道の丸 3620円
2015年9月11日	22時9分	～ 鶴ヶ島 2440円
2015年8月19日	1時48分	～ 小津 3490円
鶴ヶ島		～ 新座本線(下り) 590円
2015年8月18日	22時24分	～ 川越 590円
2015年8月14日	3時47分	～ 美女木第二 360円
美女木第二		～ 美女木第二 360円
2015年8月14日	3時16分	

メモ

- 路側機との通信が出来なくなる事がありますので、料金所通過時は、ETC利用履歴を表示しないで下さい。
- ETC2.0対応ユニット使用中は、ITSスポットでは、ETC利用履歴を表示できません。
- 利用履歴画面に表示されるICやランプなどの施設名称は正しく表示されなかったり、IC番号で表示されることがあります。

ETC起動時音声案内を設定する

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** → **システム設定** にタッチする
- 2 **ETC/ETC2.0設定** にタッチする



- 3 **ETC/ETC2.0起動時音声案内** にタッチする



- 4 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	起動時に音声案内をします。
OFF	起動時に音声案内をしません。



ETC起動時音声案内の設定が完了します。

ETCカード有効期限切れ通知について

本機に接続した別売のETCユニットまたはETC2.0対応ユニットにETCカードを挿入した場合、ETCカードに記録された利用履歴データを表示できません。履歴は、新しいものから最大100件表示できます。

■通常時の例

メッセージ	ETCが利用可能です。
音声案内	ETCカードを認証しました。

■有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。
音声案内	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。

■有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限が切れています。
音声案内	ETCカードの有効期限が切れています。

携帯電話 (ハンズフリー)

本機に携帯電話を Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話ができます。

❗注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

エコー (残響音) が気になるときは

エコーは相手の声か車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声かマイクに入らないようにすると、エコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

■エコーを軽減するには

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする → P238の「通話中メニューの操作」
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する → P128の「音声出力先設定をする」

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーの仕組み上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

🔍メモ

- 通話中は、通話中メニューが表示され、受話音量を調整できます。
- 携帯電話により、一部の機能が制限される場合があります。(詳しくは、弊社ホームページをご覧ください)

電話を受ける

電話がかかってくると、電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。

1 着信時に通話にタッチする



電話に出ることができ、通話中メニューが表示されます。

🔍メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤルに登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます (登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます)。
- 1つの電話番号が複数の登録地に登録されている、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、発信者の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできますが、携帯電話によりハンズフリー通話ができない場合があります。
- AVソースのBluetooth Audioをご使用中に電話がかかってきた場合、Bluetooth Audioの再生が一時中断されます。

電話のかけかた

電話のかけかたには、以下の4通りの方法があります。携帯電話を直接操作して電話をかけることもできます。

- 電話番号を入力する
- メモリダイヤルを呼び出す
- 発着信履歴から発信する
- 地図に登録された電話番号に発信する

■電話番号を入力して電話をかける

- 1 **MENU** を押し、**携帯電話** にタッチする
- 2 **ダイヤル発信** にタッチする



- 3 電話番号を入力し、**発信** にタッチする



相手先に電話が発信されます。

■メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

- 1 **MENU** を押し、**携帯電話** にタッチする
- 2 **メモリダイヤル** にタッチする



- 3 相手先にタッチする



- 4 **発信** にタッチする



詳細情報 - **発信** の順にタッチして電話をかけることもできます。電話番号が複数登録されている場合は、かけたい番号を選びます。



相手先に電話が発信されます。

☑メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごと読み込まれます。接続する携帯電話を切り換えると、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの読み込み方法は、P238の「メモリダイヤルを読み込む」をご覧ください。

■発着信履歴から電話をかける

本機と携帯電話を接続していたときの発信、着信(不在着信含む)履歴を表示し、電話をかけることができます。

- 1 **MENU** を押し、**携帯電話** にタッチする
- 2 **発着信履歴** にタッチする



3 発信履歴、着信履歴、不在着信を選んでリストを切り換え、相手先にタッチする



相手先に電話が発信されます。

■地図に登録された電話番号に電話をかける

検索した施設の詳細情報に電話番号が登録されている場合、その電話番号に電話をかけることができます。

1 施設を探して、**情報**にタッチする



2 発信にタッチする



施設の詳細情報に登録されている電話番号に電話が発信されます。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリーのON/OFF、電話を切る操作ができます。



+	受話音量を調節できます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON (OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。
閉じる	通話中メニューを閉じます。

メモ

- 閉じるにタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の にタッチすると通話中メニューを再表示できます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- ハンズフリー機能をOFFにすると、携帯電話機能が使用できなくなる場合があります。

メモリアルダイヤルを読み込む

メモリアルダイヤル機能を使用するには、携帯電話に登録されているメモリアルダイヤルを本機に読み込ませる必要があります。

1 **MENU** を押し、**携帯電話**にタッチする

2 **編集・消去**にタッチする



3 メモリダイヤルにタッチする



4 読み込みにタッチする



5 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する

6 確認にタッチする

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了すると、追加読み込みをするかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。**いいえ**にタッチすると、メモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用できます。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作（携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります）が必要です。
- PBAP接続に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。使う携帯電話により、自動で全件転送（上書き）されます。また、使う携帯電話によりアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 使う携帯電話により、携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。
- 1台の携帯電話から読み込めるメモリダイヤルの最大件数は1 000件です。

- 1件につき5つの電話番号まで保存可能です。

■メモリダイヤル読み込み済みの場合

すでに本機にメモリダイヤルデータを読み込んである場合は、以下の画面が表示されますので、**上書き読み込み**または**追加読み込み**にタッチして、読み込み方法を選択してください。



メモ

- PBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去できます。

- 1 **(MENU)** を押し、**携帯電話** にタッチする
- 2 **編集・消去** にタッチする



3 メモリダイヤルにタッチする



4 消去にタッチする



5 消去したいデータにタッチする



選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

6 消去—はい—toタッチする



選んだデータが消去されます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルは消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換えると、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。

発着信履歴を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去できます。

1 **MENU** を押し、**携帯電話** にタッチする

2 **編集・消去** にタッチする



3 **発信履歴消去**、**着信履歴消去**、**不在着信履歴消去** からタッチする



4 消去したいデータにタッチする



選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択にタッチすると、すべて選択できます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

5 **消去—はい—toタッチする**



選んだデータが消去されます。

メモ

- 現在接続中の携帯電話の発着信履歴のみ消去できます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も自動的に削除されます。

汎用バックカメラ

本機に別売の汎用バックカメラユニット「BC-20U」などを接続して、車の後方の映像を表示できます。

❗注意

- ・設定は車の移動や停車を伴います。周囲の安全、交通法規に十分ご注意ください。

バックカメラを設定する

汎用バックカメラでは、バックカメラ入力、バックカメラ切換極性、バックカメラ画質調整、駐車アシスト線の表示設定、駐車アシスト線の調整が行えます。

■バックカメラの入力設定をする

工場出荷時は「OFF」です。

1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**—**システム設定**にタッチする

2 **バックカメラ設定**にタッチする



3 **バックカメラ入力**にタッチする



4 **ON**または**OFF**にタッチする



ON	バックカメラ映像を表示します。
OFF	バックカメラ映像を表示しません。



バックカメラの入力が設定されます。

■バックカメラの極性を設定する

工場出荷時は「HIGH」です。

1 **(MENU)**を押し、**設定・編集**—**システム設定**にタッチする

2 **バックカメラ設定**にタッチする



3 **バックカメラ切換極性**にタッチする



4 **LOW**または**HIGH**にタッチする



LOW	シフトレバーをバックに切り換えたときに、取付け状態画面の「バック信号」の表示がLOWになる車両の場合はこちらを選びます。 →P144の「接続状態を確認する」
HIGH	シフトレバーをバックに切り換えたときに、取付け状態画面の「バック信号」の表示がHIGHになる車両の場合はこちらを選びます。 →P144の「接続状態を確認する」

バックカメラの切換極性が設定されます。

駐車アシスト線表示を設定する

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- バックカメラ入力が「ON」になっていないと、設定できません。→P241の「バックカメラの入力設定をする」
- バックカメラの装着位置により、駐車アシスト線がナビ画面内に収まらない場合があります。

1 (MENU) を押し、設定・編集—システム設定にタッチする

2 バックカメラ設定にタッチする



3 駐車アシスト線表示にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	駐車アシスト線を表示します。
OFF	駐車アシスト線は表示しません。

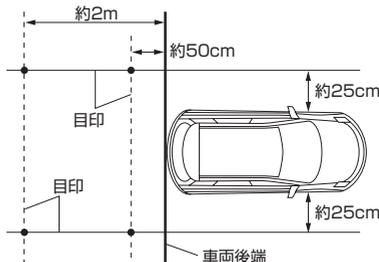
駐車アシスト線の表示が設定されます。

駐車アシスト線を調整する

メモ

- あらかじめ駐車アシスト線の表示を「ON」にしておいてください。→P242の「駐車アシスト線表示を設定する」
- バックカメラの装着位置により、駐車アシスト線がナビ画面内に収まらない場合があります。

1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ+約50 cmと+約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける



2 (MENU) を押し、設定・編集—システム設定にタッチする

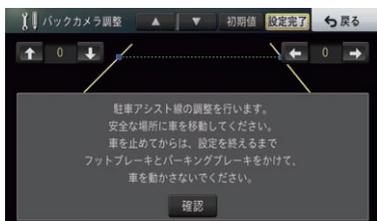
3 バックカメラ設定にタッチする



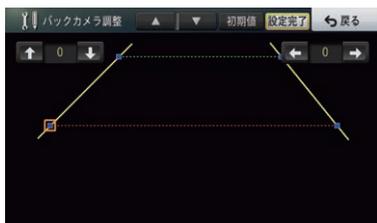
4 バックカメラ調整にタッチする



5 確認にタッチする



6 カーソル位置を選択してポイントを調整する



初期値	ポイントの位置が工場出荷時に戻ります。
設定完了	設定を保存して、手順4の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順4の画面に戻ります。
▲/▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)⇄赤(R)⇄緑(L)⇄緑(R)の順にカーソル位置を変更します。
↑/↓/←/→	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

メモ

- バックカメラが映し出す範囲は、バックカメラの取付位置と取付向きによって変わります。このため、片方のポイントがナビ画面の端に位置して、ナビ画面上の取扱説明書の記載通りの位置でポイント調整ができない場合があります。できるだけ、バックカメラを車両中央に近く低すぎない位置に取り付けてください。

バックカメラ映像を表示する

シフトレバーをリバース (R) の位置にすると、車両後方の映像に切り換わります。駐車場で後退するときなどに表示すると便利です。

1 シフトレバーをリバース (R) にする

バックカメラの映像が表示されます。



シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の表示に切り換わります。

メモ

- バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力線の接続が必要です。接続方法については、『取付要領書』をご覧ください。
- 汎用バックカメラについての詳しい使いかたは、バックカメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像表示中に(MENU)または(現在地)または(AV)を押すと、バックカメラ映像を解除します。
- ナビゲーションを起動してすぐにシフトレバーをR(リバース)に入れると、カメラ映像のみが表示され、駐車アシスト線の表示や「車両周辺を直接確認してください。」のメッセージは表示されません。これらの表示やメッセージは少し遅れてカメラ映像上に表示されます。メッセージが表示される前も車両周辺を直接確認してください。

バックカメラの画質を調整する

メモ

- 走行中は、操作できません。また、カメラ設定中は**MENU**長押しでの画質調整もできません。

1 **MENU** を押し、設定・編集メニュー設定にタッチする

2 バックカメラ設定にタッチする



3 バックカメラ画質調整にタッチする



4 それぞれの項目を設定する



黒の濃さ	■ (白) にタッチすると薄くなり、■ (黒) にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
色温度	■ (赤) にタッチすると暖色系が強くなり、■ (青) にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。

色合い

■ (赤) にタッチすると赤が強くなり、■ (緑) にタッチすると緑が強くなります。

メモ

- 車のライトに連動して昼 (☀) と夜 (🌙) の設定を自動で切り換えます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼 (☀) と夜 (🌙) で別々に設定登録できます。

リアモニター

別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

DTV	○
DVD	○
iPodビデオ	○
MSV/SDの映像ファイル	×
AUX	○
ナビゲーション	×
バックカメラ	×
AVソース画面	×

○：表示します ×：表示しません

メモ

- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力には、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっている。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒『取付要領書』
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
起動に時間がかかるときがある。	本機がシステムの最適化を行っている。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。 →P14の「画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)」
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーです。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーです。	設定や接続状態を確認してください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。 →P258の「センサー学習」
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。→P266の「誤差について」
	車速パルスが正しく入力されていません。	取付状態画面で、接続を確認してください。→P144の「接続状態を確認する」
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	〔現在地〕を押して、現在地画面にしてください。
地図の向きが変わらない(自車マークが上でない方向に向かう)。	地図の向きがノースアップになっています。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→P34の「地図の向きを変える」
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→P127の「音量設定をする」

困ったときは

症状	原因	処置
地図上にVICS情報が表示されない。	VICS情報受信中です。	VICS情報は、受信から地図表示まで数分かかります。表示されるまでお待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。→P142の「放送局を選ぶ」
	表示設定がOFFになっている。	表示設定をONにしてください。 ・渋滞情報表示対象道路→P135の「渋滞情報表示対象道路を設定する」 ・渋滞情報表示→P136の「渋滞情報表示を設定する」 ・規制表示→P137の「規制表示を設定する」
モニターにナビゲーション画面が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	〔現在地〕 を押して、画面を切り換えてください。→P14の「画面の切り換えかた」

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビやDVDなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
	パーキングブレーキコードを接続していない。	パーキングブレーキコードを正しく接続してください。⇒「取付要領書」
音が出ない。	オーディオの音量が0になっている。	音量を調整してください。
音声案内時やハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。	消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。→P127の「消音設定をする」
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	ディスクは1枚しか入れられません。入っているディスクを取り出してから、新たなディスクを入れてください。
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。→P219の「フェーダー/バランス設定」
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジーギー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	電波状況の良い場所に移動するなどしてください。 受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→P150の「放送局を手動で登録する」
FMは受信するが、AMが受信できない。受信感度が悪い。	自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。 アンテナコントロールを正しく接続してください。⇒「取付要領書」

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」
	カメラが動作している。	カメラ動作中は、一時的に再生が停止します。カメラを解除すると、再生が再開されます。
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクにより、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください→P186の「オートプレイを設定する」
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→P186の「オートプレイを設定する」
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。→P185の「視聴制限を設定する」
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります(故障ではありません)。
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作である。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	<input type="checkbox"/> (再生停止) にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CDの再生開始に時間がかかる (本機起動直後など)。	オート録音モード設定が「ON」でSDカードが挿入されていない。	オート録音モード設定を「OFF」に設定してください。→P171の「録音設定をする」
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。→P260の「再生できるディスクの種類」
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください (WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアにより、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01、02など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

音楽CDの録音・MSV

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。→P170の「CD録音の制限について」
録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。	タイトル候補が複数あったり、タイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。→P205の「タイトル情報の取得」
録音、マイミックスへの追加ができない。	低温のため、SDカードへの書き込みができない。 録音・マイミックスの制御データが破損している。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。→P204の「録音データをすべて消去する」
録音した楽曲を再生できない。 マイミックス再生できない。	SDカードのライトプロテクトスイッチがロックされている。 録音データに異常が発生している。	ライトプロテクトスイッチを解除してください。 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。→P204の「録音データをすべて消去する」

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→P159の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。→P164の「オート放送局サーチ設定」
	放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→P159の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に  が表示されているときは、ワンセグ放送に切り換えることができます。→P163の「サービスを切り換える」
	車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルTV用アンテナを使用してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 ・有料放送 ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
データ放送画面に切り換えられない。映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手で切り換えるときは、 サービス切換 にタッチします。→P163の「サービスを切り換える」

困ったときは

SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	SDカード内に保存されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルの位置が正しくない。	SDカード内の正しい位置に移動させてください。⇒「取扱説明書」

症状	原因	処置
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ(差分情報のみ)の更新中である。	地図データ(差分情報)更新中は、AVソース(SD/USB)がOFFになります。地図データ(差分情報のみ)の更新完了後、再度AVソース(SD/USB)を選択し、再生を再開してください。
WMA/MP3/AAC/WAVファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC/WAVファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ファイル名やフォルダ名を指定して、再生順を指定することはできず、SDカードやUSBメモリーに書き込んだ順番で再生されます。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL : https://www.sdcard.org/jp/home.html

iPod

症状	原因	処置
接続できない。	iPod用接続ケーブル(別売)が正しく接続されていない。 iPodが本機に対応していない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。→『取付要領書』 対応iPodについては、弊社ホームページをご覧ください。
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 接続したiPodとの認証に失敗した。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。 再度、接続して認証を行ってください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。 登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioを使うには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→P114の「Bluetooth機器を登録する」 Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。→P115の「Bluetooth機器を切り換える」
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。→P212の「Bluetooth Audioを使う」
リストが表示できない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.3以下である。	リスト表示は、Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.4以上の場合のみ操作可能です。
Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。 接続する携帯電話を変えた。	接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→P114の「Bluetooth機器を登録する」 接続したい携帯電話に切り換えてください。→P115の「Bluetooth機器を切り換える」

症状	原因	処置
ハンズフリー通話時に、通話相手側でエコー（残響音）が大きく聞こえる。	通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できません。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

メッセージと対処方法

本機の画面にメッセージが表示されたときは、以下の内容をご確認ください。

共通項目

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。 本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、お買上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
付近にルート探索対象道路がありません。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
探索できませんでした。	何らかの原因で探索に失敗した。	目的地または出発地の位置を変えてください。それでも解消されない場合は、本機のACCをOFF→ONしてください。
日時データが無い場合、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。→P265の「ナビゲーションのしくみ」
自転車位置修正できませんでした。	自転車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	自転車位置修正可能な道路（一般道路と有料道路が並行しているような道路）を走行時に操作してください。

困ったときは

Bluetooth

メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話との接続に失敗しました。	何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。	携帯電話を接続してください。

SDカード

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機は以下のSDカードに対応しています。 最大容量：128 GB (SDXC使用時) ファイルシステム：FAT16/FAT32/exFAT (SDXC使用時)
	SDカードが正しくフォーマットされていません。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL：https://www.sdcard.org/jp/home.html

USB

メッセージ	原因	処置
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機で使用できないUSBメモリーを接続した。	本機は以下のUSBメモリーに対応しています。 最大容量16 GB、ファイルシステムFAT32/16
	USBメモリーを2本同時に接続した。	本機が認識できるUSBメモリーは1本のみです。2本のうちどちらかを外し、残った1本をもう一度接続し直してください。

携帯電話

メッセージ	原因	処置
読み込みができませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	携帯電話側のメールアドレスや電話番号が登録されているメモリダイヤルが存在しない。	携帯電話のメモリダイヤルを確認してください。

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズやそりがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。
このCDは録音できません。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」
	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	録音可能なディスクに交換してください。
録音再生エラーが発生しました。CDの通常再生に切り換えます。	何らかの原因で録音ができないとき。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで)	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。→P201の「アルバム/トラックの編集・消去」
アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音(登録)できません。	SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで)	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。→P201の「アルバム/トラックの編集・消去」
録音中は再生できません。	CD録音中にMSV/SDソースの映像再生をしようとした。	録音中はMSV/SDソースの映像再生ができません。録音を終了するのを待つか、録音を中止してから操作してください。→P169の「録音を停止する」

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズやそりがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→P260の「再生できるディスクの種類」

音楽CDの録音・MSV

メッセージ	原因	処置
MSVで使用するSDカードの容量が不足しています。この操作を行うには、30 MB以上の空き容量が必要です。SDカード内のデータを整理し、空き容量を確保してください。	SDカードの残容量が足りない。	録音済みの曲やアルバムの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。 →P201の「アルバム/トラックの編集・消去」 録音やマイミックスの利用のためには、30 MB以上の残容量が必要です。また、128 MB以下のSDカードには、録音で取得・編集した情報の保存はできません。
MSVで使用するSDカードの容量が不足しているため、楽曲編集データを反映できません。SDカード内のデータを整理し、30 MB以上の空き容量を確保してください。	SDカードの残容量が足りない。	録音済みの曲やアルバムの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。 →P201の「アルバム/トラックの編集・消去」 録音やマイミックスの利用のためには、30 MB以上の残容量が必要です。また、128 MB以下のSDカードには、録音で取得・編集した情報の保存はできません。
アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音できません。録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで)	聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。→P201の「アルバム/トラックの編集・消去」
SDカード内でエラーが発生したため、MSV、マイミックスは使用できません。消去メニューから「録音データ全消去」を行ってください。	録音・マイミックスの制御データが破損している。	「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。→P204の「録音データをすべて消去する」
SDカード容量不足のため、録音できません。	SDカードの残容量が足りないため、録音できない。	十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。→P145の「SDカード情報を確認する」

iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ON し、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。

地上デジタルテレビ

メッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスカンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。→P159の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」
アンテナ接続エラーの可能性が あります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	地上デジタルTVのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。
地デジ視聴準備中(EG21)	地デジ(12セグ)の視聴のため、放送波からの情報を取得中です。	安定して地デジ(12セグ)が受信できるような電波状態の良い場所でしばらくお待ちください。
受信できません(EG22)	電波状態が悪いなどにより、番組を視聴できない。	電波状態の良い場所に移動してから、選局し直してください。

メッセージ	原因	処置
受信できません (EC23)	放送されたデータが正しくないため、番組を視聴できない。	ご覧の放送局へお問い合わせください。その際、「エラーコード：EC23」をお伝えいただくとスムーズです。
同時時間帯に既に予約が設定されています。	他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。	同じ時間帯に重複して予約することはできません。
これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。	可能予約数を超える予約を行おうとしている。	予約できる件数は100件までです。必要なくなった予約などを消去してください。 →P156の「視聴予約をする」

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
接続対象機器が未設定のため、操作できません。	Bluetooth機器を登録していない。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。 →P216の「Bluetooth Audio機器を接続する」
AV機器との接続に失敗しました。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能が「オフ」になっている。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能を「オン」にしてください。

SD/USB

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→P263の「再生できるファイルとメディアの種類」

センサー学習

本機の3Dハイブリッドセンサーが走行状況(距離/方位/傾斜(3D))を検知して、その結果を学習しています。学習された結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに測位精度が高くなります。

センサー学習状態のリセットが必要な場合

以下の場合、センサー学習状態のリセットが必要です。

■オールリセットが必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合
または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

■距離学習リセットが必要な場合

- タイヤを交換したあと、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

- 1 **MENU** を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする
- 2 **センサー学習状況** にタッチする



- 3 **センサー学習** - **オールリセット** または **距離学習リセット** にタッチする



- 4 **はい** にタッチする

センサー学習がリセットされます。

本体リセット

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

本体をリセットする

メモ

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 と**現在地**を2秒以上同時に押す



本機が再起動します。

再生できるディスクの種類

CDやDVDなどのディスクを使う場合は、以下の内容をよく確認して、本機で再生できるディスクを使ってください。

再生できるディスクの種類とマーク

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



CD



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクにより、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW DL (2層式) (ビデオモード/VRモード) で記録されたディスクにも対応しています。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード/VRモード)で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生できます。
- ビデオフォーマット (ビデオモード/VRモード) で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生できます。
- コピーガード機能付きCD (Copy Control CDなど) は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW (VRを含む) ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW (VRを含む) ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD (Double Density CD) 形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などにより再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- 本機は、音楽データ (CD) とWMA/MP3/AACデータ (ROM-Audio) のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。
 - ①CD→②ROM-Audio
- また、音楽データ (CD) と他のデータが混在しているディスクでは、音楽データのリストが正しく表示されない場合があります。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

■ハイビジョン画質 (AVCHD/ AVCREC規格) で記録された ディスクについて

- 本機は、AVCHD/AVCRECに非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC規格で記録されたディスクは入れないでください。

■「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVD面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面にキズが付く場合があります。キズが付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されている マークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類
 	再生可能な地域番号 (リージョンコード) 本機が対応する地域番号は「2」です。マーク内に「2」や「ALL」と記載されたディスクを再生できます。

ディスクの操作について

DVDにより、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リPEATなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクにより、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

ディスクの構成についてよくご確認の上、ご利用ください。

DVDビデオ

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



◆メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	対応メディア			
			 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBデバイス	 SDカード
音楽	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	—	—	○	○
映像	MPEG-4	.avi	—	—	—	○
		.mp4/.m4v	—	—	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	—	—	○
	WMV	.wmv	—	—	—	○

○：対応 —：非対応

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードできます。
- MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術の標準フォーマットです。
- AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術の標準フォーマットです。
- WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下のとおりです。

■対応音声コーデック一覧

	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz	MPEG1: 32 kHz ~ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ~ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 12 kHz	8 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps Bitrate based VBR: 48 kbps ~ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ~ 98 kbps	MPEG1: 32 kbps ~ 320 kbps MPEG2: 8 kbps ~ 160 kbps MPEG2.5: 8 kbps ~ 160 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	—
量子化ビット数	16	16	16	16

メモ

- ・エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ・本機では、Windows Media Player Ver.7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- ・下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice
- ・ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン (v1, v2) のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- ・m3uのプレイリストには対応していません。
- ・MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ・本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- ・画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ・AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンにより、正しく再生されないことがあります。
- ・本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- ・表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

■対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264 /AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度 (ピクセル) @ 最大フレームレート	720×480@30 fps	720×480@30 fps	720×480@30 fps
最大ビットレート (平均値/ピーク値)※1	4 Mbps/8 Mbps	2.5 Mbps/8 Mbps	768 kbps/-

※1 再生可/不可は、平均ビットレートで判断します。

メモ

- ・作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下のとおりです。

		映像ファイルフォーマット		
		AVI (.avi)	MP4 (.mp4/.m4v)	ASF (.wmv)
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	LPCM	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○

○：対応 —：非対応

ナビゲーションのしくみ

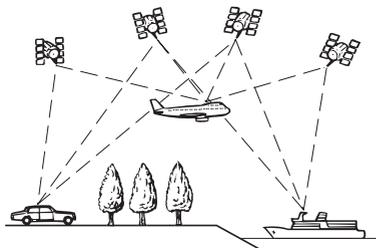
ナビゲーションのしくみについて説明します。

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくる場合があります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS

測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

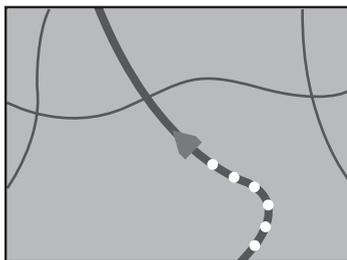
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなる場合があります。

■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



- 本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが動くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

☑メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

■GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

— 車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信している。

— GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

■GPS衛星自体による誤差

- 捕捉(受信)できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

■有料・高架道路での誤差について

有料道乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正をします。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

■低速時の自車位置精度について

車種により時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場(地下駐車場など)で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

■駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、位置精度が確保できない(上り下りの測位ができないなど)ため、正常に動作しません。

- 以下のような走行状況では、駐車場マップに切り換わらないことがあります。

—しばらく右左折せずに長距離走行したあとに進入した場合

—Uターンするような方向で進入した場合

—バック信号が接続されていない場合

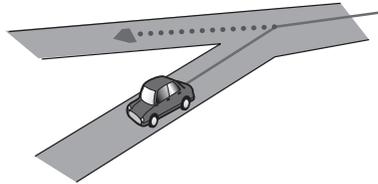
—時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合

—収録されていない駐車場経由で進入した場合

—新設された入口から入場した場合

■その他の誤差について

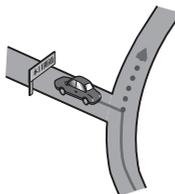
- 角度の小さなY字路を走った場合。



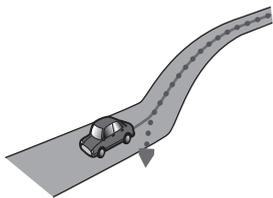
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



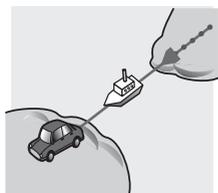
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



- ヘアピンカーブが続いた場合。



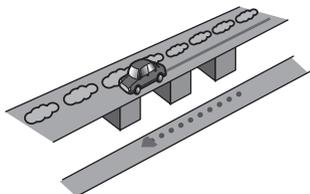
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



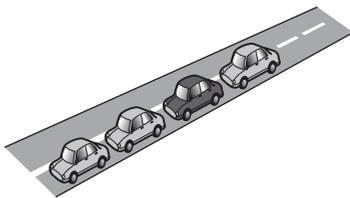
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



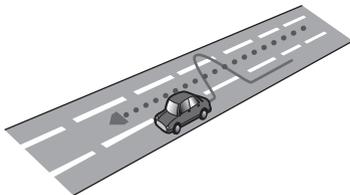
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



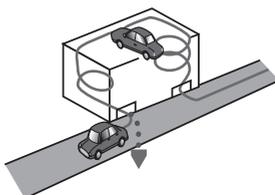
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



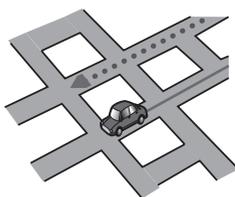
- 蛇行運転をした場合。



- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



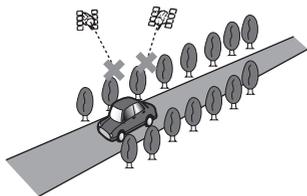
- 碁盤の目状の道路を走った場合。



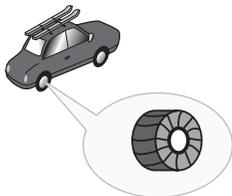
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



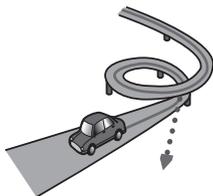
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



- ループ橋などを通った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行しはじめた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

その他の情報

本機に収録されたデータベースやルート探索時の注意点について説明します。

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータにより、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

■タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

■自然物に関するデータについて

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

■季節の味覚スポット検索のデータについて

実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

■電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「タウンページ」のデータと、訪問宅(個人宅)のデータが収録されています。
- 訪問宅(個人宅)の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村レベルの代表地点が表示されます。

■ロゴマーク表示について

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

■営業時間考慮周辺検索について

営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

■ルート探索の仕様

①注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口により、乗降IC(インターチェンジ)指定の操作ができない場合があります。

付録

■ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。

- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路(100 mスケールでグレー表示の細い道)以外の道どうしの交差点です。

■ ルートの道塗りについて

- 道路形状により、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

■ 音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内をします。
- 有料道のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点により行わない場合があります。

■ 交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状により、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

■ ルート候補選択画面での有料料金について

- ETC利用による各種料金割引サービスには対応していません。
- 特殊な料金体系の有料道では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合、「不明」と表示されます。
- 一般有料道に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道上およびランプ上からルートを探したときや、有料道上に目的地や出発地を設

定したときは、有料道を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。

- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安として使ってください。

■ オートリルートについて

目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するかどうかの確認メッセージが表示されます。新しいルートを引くまで、規制は無視されます。

VICS情報に関する注意事項

■ FM多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

■ ビーコンについて

- 有料道の高架下の一般道を走行中に、有料道のビーコンを受信することがあります。
- ビーコンアンテナの前に金属などの遮蔽物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどは、ビーコンを受信できないことがあります。

■ VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送・ビーコンにより提供されるVICS情報に関することは、VICSセンター(一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター)へお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719(全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報は下記のホームページに掲載されています。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

■整備面積95%以上(458都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、神栖市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、栃木市、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、鴨街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、大網白里市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新瀨市、聖籠町、射水市、舟橋村、野々市市、川北町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、豊

橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、草津市、守山市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西市、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大川町、大木町、糸田町、大任町、刈田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

■整備面積80%以上(70都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、宇都宮市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、越生町、小川町、長瀬町、寄居町、いすみ市、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊川市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、野洲市、愛荘町、岸和田市、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北市、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

■整備面積50%以上(160都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、若沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、瀧上町、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、美浦村、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、ときがわ町、神川町、271

匝瑳市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ヶ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菟野町、大津市、彦根市、近江八幡市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、淡路市、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、河内市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

■整備面積50%未満(646 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、土別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、若手町、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高島町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜

多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、棚田代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、若美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、

尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神崎市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつま町、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補充するため、乗継券を受け取り、一般道を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細については、以下をご覧ください。

- 3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）
- 4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）
- 3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）
- 16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

収録データベースについて

■地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。「©2009-2015一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2015年3月発行を使用したものです。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものです。（承認番号）小田原市指令第52号平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものです。平成12年養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものです。（承認番号）平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものです。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度知都発第170号）
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。（承認番号 15大木建第734号）
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。（承認番号 16堀第5417号）
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものです。（承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。（承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認）
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものです。（承認番号:18東都共041号）
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものです。（承認番号）18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画（1/2,500）を使用して調製したものです。（承認番号 平成17年津山市使用承認第5号）

- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。(承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。(承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものです。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものです。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものです。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものです。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものです。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものです。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものです。(承認番号 18林第492号(平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号林18-1 平成18年12月5日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものです。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成

したものです。(承認番号 笛まち第 12-25号 平成 19年 12月 13日承認)

- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第 334号)を使用したものです。(承認番号 情企第 590号 平成 20年 3月 24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものです。(承認番号 平成 19年 2月 14日付け 18高森推第 568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平 19 林振第 404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19年度臨港道路竣工平面図を複製したものです。(承認番号) 平 21 樽港事第 33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の 5000分の1の森林基本図を複製したものです。(承認番号) 平成 21年 森計第 477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平 18 林振第 497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものです。(承認番号 東建収第 8号 平成 21年 5月 27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の 2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものです。(承認番号) H22 幕都計第 185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものです。(承認番号 国地企調第 180号 平成 22年 9月 28日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。(承認番号 平 19 林振第 246号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものです。(承認番号) 23田街第 55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5千分1国土基本図を使用したものです。(承認番号 平 26情使、第 74号-10号)
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成 26年 12月 10日撮影)」を利用して作成したものです。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画

基図を使用したものです。(承認番号 平 27情使、第 199号)

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものです。(承認番号 平 27情使、第 308号-10号)

■道路データについて

- 本製品の道路データは調査時点の情報を収録しています。調査後に開通期日などが変更になることにより、実際の道路と異なる場合がありますのでご注意ください。

■交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2015年 3月までに独自収集した情報、及び、警察庁交通規制情報管理システム出力データの情報に基づき、制作したものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれていません。あらかじめご了承ください。

■有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2015年 6月に道路管理者から受領した情報に基づき、制作したものです。
- 首都高速道路・阪神高速道路において 2012年 1月 1日より導入された距離別料金制につきましては、ETC料金には非対応となり、現金車両専用料金のみ対応しております。

■ハイウェイモード対象路線

- ハイウェイモードは、下記の有料道路が対象です。

道央自動車道、札幌自動車道、道東自動車道、道東自動車道(足寄線)、東北自動車道、青森自動車道、八戸自動車道、八戸自動車道(八戸北線)、釜石自動車道、秋田自動車道、秋田自動車道(大館区間)、山形自動車道、山形自動車道(酒田区間)、東北中央自動車道、磐城自動車道、日本海東北自動車道(新潟区間)、日本海東北自動車道(秋田区間)、日本海東北自動車道(山形区間)、常磐自動車道、東関東自動車道、東関東自動車道(水戸線)、新空港自動車道、館山自動車道、館山自動車道(木更津南線)、東京外環自動車道、関越自動車道、北関東自動車道(群馬栃木区間)、北関東自動車道(栃木茨城区間)、中央自動車道、中央自動車道(河口湖線)、中部横断自動車道、中部横断自動車道(長野区間)、長野自動車道、上信越自動車道、東名高速道路、新東名高速道路、新東名高速道路 275

路(清水連絡路)、新東名高速道路(浜松連絡路)、名神高速道路、新名神高速道路、伊勢湾岸自動車道、東名阪自動車道、伊勢自動車道、紀勢自動車道、東北北陸自動車道、北陸自動車道、近畿自動車道、阪和自動車道、阪和自動車道(田辺線)、関西空港自動車道、西名阪自動車道、舞鶴若狭自動車道、名古屋第二環状自動車道、名古屋第二環状自動車道(連絡線)、中国自動車道、山陽自動車道、山陽自動車道(神戸西線)、山陽自動車道(早島支線)、山陽自動車道(宇部下関線)、播磨自動車道、岡山自動車道、米子自動車道、松江自動車道、広島自動車道、浜田自動車道、山陰自動車道、徳島自動車道、高松自動車道、高松自動車道(坂出支線)、松山自動車道、松山自動車道(宇和線)、高知自動車道、高知自動車道(須崎四万十区間)、鳥取自動車道、鳥取自動車道(兵庫岡山區間)、尾道自動車道、関門橋、九州自動車道、長崎自動車道、大分自動車道、宮崎自動車道、東九州自動車道(福岡区間)、東九州自動車道(大分宮崎区間)、東九州自動車道(宮崎区間)、鹿児島自動車道(鹿児島区間)、東九州自動車道(福岡大分区間)、沖縄自動車道、九州中央自動車道、神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道、西瀬戸自動車道、中央自動車道、東名高速道路、東名高速道路、名神高速道路、長崎自動車道、伊勢湾岸自動車道、旭川紋別自動車道、深川留萌自動車道、日高自動車道、帯広尾自動車道、百石道路、第二みちのく有料道路、湯沢横手道路、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路、三陸自動車道、日立有料道路、東水戸道路、常陸那珂有料道路、日光宇都宮道路、八戸久慈自動車道、圏央道、圏央道(茨城千葉区間)、圏央道(千葉区間)、圏央道(埼玉茨城区間)、京葉道路、千葉東金道路、東京湾アクアライン、東京湾アクアライン連絡道、富津館山道路、銚子連絡道路、第三京浜道路、横浜新道、横浜横須賀道路、横浜横須賀道路(金沢支線)、逗葉新道、本町山中有料道路、三浦縦貫道路、新湘南バイパス、西湘バイパス、西湘バイパス(石橋支線)、小田原厚木道路、東富士五湖道路、三遠南信自動車道(静岡区間)、能越自動車道(富山区間)、中部縦貫自動車道(油坂峠道路)、中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)、伊勢二見鳥羽ライン、名古屋瀬戸道路、猿投グリーンロード、東海環状自動車道、東海環状自動車道(大垣区間)、知多半島道路、南知多道路、セントレアライン、京都縦貫自動車道、京滋バイパス、第二京阪道路、京奈和自動車道、第二阪奈有料道路、南阪奈道路、堺泉北有料道路、関西国際空港連絡橋、湯浅御坊道路、第二神明道路、第二神明道路(北線)、播但連絡道路、ハーバーハイウェイ、六甲北有料道路、北近畿豊岡自動車道、北近畿豊岡自動車道(遠阪トンネル)、山麓バイパス、海田大橋、広島呉道路、山陰道(安来道路)、山陰道(江津道路)、今治小松自動車道、若戸大橋、西九州

自動車道(武雄佐世保区間)、西九州自動車道(福岡前原道路)、長崎バイパス、川平有料道路、ながさき出島道路、日出バイパス、一ツ葉有料道路(北線)、一ツ葉有料道路(南線)、南九州自動車道(熊本区間)、南九州自動車道(鹿児島区間)、指宿スカイライン、若戸トンネル、第二神明道路、首都高速1号羽田線、首都高速2号目黒線、首都高速3号渋谷線、首都高速4号新宿線、首都高速5号池袋線、首都高速6号向島線、首都高速7号小松川線、首都高速9号深川線、首都高速10号晴海線、首都高速11号台場線、首都高速11号上野線、首都高速6号三郷線、首都高速湾岸線、首都高速八重洲線、東京高速道路KK線、首都高速都心環状線、首都高速中央環状線、首都高速中央環状線(山手トンネル)、首都高速川口線、首都高速大宮線、首都高速埼玉新都心線、首都高速神奈川1号横羽線、首都高速神奈川2号三ツ沢線、首都高速神奈川3号狩場線、首都高速神奈川5号大黒線、首都高速神奈川6号川崎線、首都高速5号池袋線、首都高速6号向島線、阪神高速1号環状線、阪神高速2号淀川左岸線、阪神高速3号神戸線、阪神高速4号湾岸線、阪神高速5号湾岸線、阪神高速5号湾岸(垂水)線、阪神高速6号大和川線、阪神高速7号北神戸線、阪神高速7号北神戸線(北線)、阪神高速8号京都線、阪神高速11号池田線、阪神高速12号守口線、阪神高速13号東大阪線、阪神高速14号松原線、阪神高速15号堺線、阪神高速16号大阪港線、阪神高速17号西大阪線、阪神高速31号神戸山手線、阪神高速32号新神戸トンネル、名古屋高速1号楠線、名古屋高速2号東山線、名古屋高速3号大高線、名古屋高速4号東海線、名古屋高速5号万場線、名古屋高速6号清須線、名古屋高速11号小牧線、名古屋高速16号一宮線、名古屋高速都心環状線、福岡都市高速1号香椎線、福岡都市高速2号太宰府線、福岡都市高速3号空港線、福岡都市高速4号粕屋線、福岡都市高速環状線、北九州都市高速1号線、北九州都市高速2号線、北九州都市高速3号線、北九州都市高速4号線、北九州都市高速5号線、広島高速1号線、広島高速2号線、広島高速3号線、広島高速4号線

■ VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象です。

北海道(北見方面)(旭川方面)(札幌方面)(釧路方面)(函館方面)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐

賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

■放送局リストのデータについて

- 放送局名リストは2015年5月調査時点のものです。

■訪問宅(個人宅)電話番号データについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データは、日本ソフト販売(株)「Bellemax®」(2015年3月現在)のデータを使用しております。訪問宅(個人宅)電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。

■渋滞予測データについて

- 渋滞予測機能の情報は、インクリメントP株式会社からの提供です。

■ボトルネック踏切データについて

- ボトルネック踏切は、国土交通省鉄道局が2006年～2007年に行った踏切交通実態総点検の結果を基に、2015年3月に独自調査を行ったものを使用しています。2015年9月末までに廃止される踏切の情報を反映しています。

■冠水注意地点データについて

- 一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の2015年6月データを収録しております。収録されている冠水注意地点は、実際に冠水する可能性のある、全ての地点を保証するものではありません。

■一時停止データについて

- 2015年5月までの独自調査の結果、及び警察庁交通規制情報管理システム出力データの情報に基づいて反映しています。本データが現場の標識の有無と異なる場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。

■ゾーン30エリアデータについて

- 本製品に使用しているゾーン30エリアデータは、警察庁交通規制情報管理システム月次出力データの2013年11月版から2015年1月版の情報に基づいて制作したものです。

■その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2015年3月現在のタウンページデータ)
- 公益財団法人交通事故総合分析センター(ITARDA)(1999年度の高速度路事故多発地帯データ)
- (株)アイ・エム・ジェイ(2014年9月現在の駐車場データ)

☑メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

索引

五十音順

あ行

アイドリングアッテネーター	225
開かずの踏切	42
アクティブインフォ	28
アップリンク	233
アローガイド	68, 69, 124
アングル	180
暗証番号	185
安全運転支援情報	231
案内音量	106
案内開始画面	56
イコライザーカーブ	220
一時停止	168, 174, 178, 191, 199, 209, 215
一方通行表示	34
入口ポイント	100
イルミネーション	144
インジケーター	15
インテリジェントリルート	60
右左折専用レーン案内	40
上書き読み込み	239
営業時間考慮	269
映像出力	200
エコステータス	43, 58, 143
エコブースト	79
エコ優先	64
エコー	236
エリアプリセット	148, 152, 153
音楽CD	166
音楽ファイル	195
音声案内	39
音声言語	179, 192
音声出力	181
音声多重	161, 192
音量	127
オーディオ設定	219
オートアングルチェンジ	33
オートサイレント	71
オートハイウェイモード	41
オートパーキングメモリー	73
オートフリーズーム	69
オートプレイ	186

オートリルート	60
オート録音モード	171
オープニング画像	119

か行

回転速度計	144
外部映像機器	217
学習ルート	123
学習ルート探索	65
過去プランリスト	86
画質調整	130
カスタム機能	226
簡易図形	133
簡易ハイブリッドシステム	265
漢字変換	22
幹線優先	64
カード有効期限	145
規制表示	137
機能設定	121, 164
基本音声	183
基本字幕	182
緊急情報	135
禁止マーク	261
区間旅行時間	138
グラフィックイコライザー	220
グループ	96
傾斜計	144
携帯電話	236
言語コード表	187
検索データ	146
高音質	171
効果音	94
高精度3Dハイブリッドシステム	265
交通規制データ	275
交通情報	151
誤差	266
コピーガード機能付きCD	260
コピーコントロールCD	170
コマ送り再生	177, 190
再生	175, 188
再探索	79
サイドマップリスト	16, 36
サイレントガイド	60
サイレントガイドアングル	71
残響音	236
自局番号	239
自転車位置修正	129

自宅	89
視聴制限	185
視聴予約	156
シティマップ	32
シティマップ境界	33
字幕言語	179, 191
車載器管理番号	145
車速信号	143
車速パルス	144
シャッフル再生	209
ジャンル	49
渋滞オートガイド	126, 139
渋滞情報	65, 123
渋滞情報表示	136
渋滞情報表示対象道路	135
渋滞チェック親切案内	134
渋滞末尾情報	231
渋滞予測	277
主音声	192
受信感度	142
出発地	82
受話音量	106
順調表示	136
消音	127
消音タイミング	128
消音レベル	128
詳細情報	54
情報ウィンドウ	42
情報メニュー	18
自立航法	265
信号機ジャスト案内	70
振動ジャイロセンサー	265
シンプルガイド	59, 70
新ルート	79
スカイシティマップ	32
スケール	29
スケールゲージ	30
スピーカー出力設定	223
スマートIC	66
スロー再生	177, 190
接続解除	216
接続状態	144
設定初期化	120
設定・編集メニュー	19
前後G	144
センサー学習	143, 258
センサー学習状況	143
セントラルメニュー	17
前方障害物情報	231
前方状況情報	231
セーフティインフォメーション	39
走行軌跡	27, 104

操作音	106
測位状態	145
速度	143
ソース別設定	19
ソースレベルアジャスター	223

た行

滞在時間	82
タイトル情報	205
タイトル表示	170
タイムアライメント	221
タイムブースト	79
ダイレクトスケールキー	30
ダイレクトタッチ	178
タウンページデータ	269
立寄地	80
タッチパネル調整	131
探索条件	56
地図色	27
地図スケール	35
地図データ	146
地点	89
着信音量	106
着信履歴	240
チャンネルスキャン	159
駐車場情報マーク	137
駐車場ポイントリンク	47
駐車場履歴	73
追加読み込み	239
ツインビュー左画面アングル	30
Bluetooth機器	114
Bluetooth接続設定	114
通話中メニュー	238
停止	178, 191, 199
ディスク	260
ディスクメニュー操作キー	176
出口情報	45
デジタルテレビ放送	152
デモ走行	76
テレビ	152
テレビアスペクト	184, 194
電源電圧	144
電子番組表	154
点滅表示	136
電話を受ける	236
データ放送	160
到着予想時刻	67
登録地マーク簡易表示	92
道路データ	275
時計表示	147

ドライバーズビュー		プライベートマッピング	93
サイドマップアングル	31	プランリスト	86
ドライブプラン	86	プレイリスト	188
取付位置	145	プログラムバージョン (ナビゲーション)	146
トリップ	143	プログラムリスト	188
な行		別道路	227
ナビから接続	216	ヘディングアップ	34
ナビスタンバイ	14	方向指定	95
日時	83	放送局リスト	277
燃費推定	106	方面案内	41
ノースアップ	34	ポップアップメニュー	15
		ボトルネック踏切	42
は行		ま行	
ハイウェイサイドマップ	31	マイミックス	195, 199
ハイウェイモード	44, 275	マップクリップ	55
ハイウェイモードサイド マップアングル	31	マップマッチング	265
バックカメラユニット	241	マルチアングル	180, 184
バック信号	145	マルチ音声	179, 192
発信者番号通知サービス	236	マルチ言語	183
発信履歴	240	マルチ言語字幕	182
発着信履歴	237	マルチ字幕	179, 191
早送り	166, 174, 178, 191, 198, 209, 215	道塗り	58, 76, 77
早戻し	166, 174, 178, 191, 198, 209, 215	ミュージック サーバー (MSV)	30
パラメーター設定	106, 109, 111	メニュー言語	183
パルス数	143	メモリダイヤル	238
パレンタルロック	185	メモリダイヤルを消去	239
番組情報	158	文字の入力	20
番組表	154	元ルート	79
阪神高速道路	273	モード切換	189
ハンズフリー通話	236	や行	
バンド	149, 161	有料道注意地点・県境案内	39
汎用バックカメラ	241	有料道料金データ	275
バージョン情報	146	ユーザープリセット	148, 152, 153
ビデオフォーマット	260	予測変換	22
ビューメニュー	18	ヨミ	90
ビーコン情報	138, 142	ら行	
ビーコン即時表示	138	ライト点灯案内	40
ファクトリーカーブ	220	ラジオ	148
フェーダー / バランス	219	ランダム再生	168, 174, 198, 214
フォーマット	146	リセット	58, 258, 259
副音声	192	リピート再生	167, 173, 175, 189, 197, 208, 214
不在着信	240		
ブックマーク	182		
踏切案内	39		

リフレッシュ案内	40
リアモニター	245
履歴情報	141
ルートアドバイザー	72
ルートを消去	63
ルート情報	63
ルートスクロール	75
ルート探索基準	57, 123
ルート探索条件	64
ルート地図	76
ルートプロフィール	75
ルート編集	63
ルート誘導	71, 125
録音	169
録音音質	171
録音設定	171
録音の制限	170
ロゴマーク	34
ロゴマーク表示スケール	35

わ行

ワイドモード	162, 179, 193, 210, 217
割り込み表示	14

数字・アルファベット順

数字

2Dマーク	92
2カ国語放送	192
2次元測位	265
3Dマーク	93
3次元測位	265
4点調整	131
4倍速録音	171
5.8 GHzVICSサービス	231
8倍速録音	171
16点調整	131

A

A2DP	212
ATOK	20
AUX	217
AVCHD	261
AVCREC	261
AVRCP	212
AVサイドビューアングル	32
AVプロファイル	212
AVメニュー	17

B

Bluetooth Audio	212
Bluetoothプロファイル	114

C

CD	166
----	-----

D

DDCD	260
DRM	195, 263
DualDisc	261
DVD-VR	188
DVD-VRの初期設定	194
DVDビデオ	175
DVDビデオの初期設定	182

E

EPG	154
ETC2.0対応ユニット	132, 231
ETC一体型クレジットカード	232
ETCカード	232
ETCユニット	234
ETC利用履歴	234
ETCレーン案内表示	62

G

GPS	265
GPSアンテナ	145
Gracenote音楽認識サービス	170, 205

I

iPod	207
------	-----

M

m3u	264
MPEG2	263
MPEG4	263
MSV(ミュージックサーバー)	166

N

NAVIメニュー	17
No Title表示	205
NTSC	260

R

ROM-Audio	172
-----------	-----

S

SD	195
SDの初期設定	200
SDカード	195

U

USB	195
USBメモリー	195

V

VICSサービスエリア	276
VICS情報	44
VICS情報の表示	133
VICSセンター	270
VICSマーク	135

W

Windows Media Player	263
----------------------	-----

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

< KMZZ15K > < CXX8593-A >